

庄内町
こども計画策定に係る
アンケート調査

—調査結果報告書—

令和8年3月

庄内町役場 子育て応援課

<目 次>

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回答状況	1
6 調査結果の見方	2
7 こどもの生活実態に関する調査における集計区分について	2
II こどもの生活実態に関する調査 調査結果	4
A 保護者調査結果	4
1 世帯のことについて	4
1-1 回答者	4
1-2 家族の人数	5
1-3 同居家族	6
1-4 17歳以下の人数	7
1-5 婚姻状況	8
2 保護者の就労状況等について	9
2-1 就労状況	9
2-2 働いていない主な理由	11
3 お子さんとの関わり、教育について	12
3-1 こどもとの関わり方	12
3-2 こどもにしていること	17
3-3 希望の進学先	22
3-4 進学先を選んだ理由	23
3-5 進学について心配なこと	24
3-6 こどもが相談できると思う人	25
3-7 頼っている事柄と頼り先	26
4 暮らしや家計の状況について	29
4-1 現在の暮らしの状況	29
4-2 世帯全体の年間収入	30
4-3 支出で負担が大きいもの	32
4-4 食料が買えなかったことの有無	33
4-5 衣服が買えなかったことの有無	34
4-6 経済的な理由による未払いの経験の有無	35
4-7 最近の生活の満足度	39
5 支援制度等の利用状況について	40

5-1	公的支援制度の利用経験の有無・利用したことがない理由	40
5-2	子育て支援・生活支援の充実に必要だと思うこと	51
5-3	現在のこどもの人数	52
5-4	理想のこどもの人数	53
5-5	現在と理想のこどもの人数差を解消するために必要なサポート	54
5-6	夫婦での家事の役割分担	55
5-7	子育てに関する不安や悩みごとなど（自由意見）	60
B	こども調査結果	61
1	あなたのことについて	61
1-1	性別	61
1-2	同居家族	62
1-3	居住学区	63
2	ふだんの生活や勉強について	64
2-1	一日の勉強時間	64
2-2	授業の理解度	65
2-3	一週間のうち何日朝食を食べるか	66
2-4	朝食を食べない日がある理由	67
2-5	一週間のうちこどもだけで食事をする回数	68
2-6	こどもだけで食事をする日がある理由	69
2-7	家族とどれくらい会話をしているか	70
2-8	仲が良い友達の有無	70
3	ふだん考えていることについて	71
3-1	最近の生活の満足度	71
3-2	今の自分が好きか	72
3-3	自分には「自分らしさ」があると思うか	73
3-4	将来の夢や目標	74
3-5	庄内町は夢や目標をかなえられる場所だと思うか	75
3-6	将来の夢や目標がない理由	76
3-7	希望の進学先	77
3-8	進学先を選んだ理由	78
3-9	普段悩んだり不安に感じていること	79
3-10	困ったり悩んでいる時に相談できる相手	80
4	家や学校以外の居場所について	81
4-1	家や学校以外の居場所が欲しいか	81
4-2	家や学校以外の居場所があるか	82
4-3	自分にとっての居場所	83
4-4	居場所に求めること	84
4-5	家や学校以外に居場所がない理由	85
4-6	自分が社会人になっても生活していけると思うか	86
4-7	将来の定住意向	87

5	家族のお世話について	88
5-1	家族のお世話が必要な人	88
5-2	自分がお世話をしている人	89
5-3	お世話の内容	90
5-4	お世話の頻度	91
5-5	お世話によってやりたいけどできていないこと、やりたくないけどしていること	92
5-6	お世話について周りの大人にしてほしいこと	93
6	不安や悩み、町に伝えたいことなどについて	94
6-1	不安や悩み、町に伝えたいことなど（自由意見）	94

Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果..... 95

1	あなたご自身について	95
1-1	性別	95
1-2	年齢	96
1-3	居住地区	97
1-4	同居の状況	98
1-5	最終学歴または現在の在学状況	99
2	就労状況について	100
2-1	現在の仕事または就学状況	100
2-2	現在、働いていない理由	101
2-3	就労に関して利用してみたい支援	102
3	あなたの日頃の意識と生活について	103
3-1	最近の生活の満足度	103
3-2	自分らしさというものがあると思うか	105
3-3	今の自分が好きか	106
3-4	今、悩んだり困ったりしていること	107
3-5	悩みや心配事の相談先	108
3-6	今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているか	109
3-7	孤独や孤立を感じる頻度	115
3-8	家族・親族は困ったときに助けてくれるか	119
3-9	学校で出会った友人は困ったときに助けてくれるか	120
3-10	職場・アルバイト関係の人は困ったときに助けてくれるか	121
3-11	地域の人困ったときに助けてくれるか	122
3-12	インターネット上における人やグループは困ったときに助けてくれるか	124
4	結婚について	125
4-1	結婚状況	125
4-2	将来結婚したいと思うか	126
4-3	結婚したくない理由	127
4-4	結婚につながると思う出会いのシーン	128
4-5	結婚に対して持っているイメージ	129
5	子育てや家族のケア等について	135

5-1	理想的と思うこどもの人数.....	135
5-2	実際に持つと思うこどもの人数.....	136
5-3	こどもが欲しくない理由、理想よりも少なくなると思う理由.....	137
5-4	プレコンセプションケアの認知度.....	138
5-5	プレコンセプションケアの認知度を上げるために必要と思うこと.....	139
6	普段の生活について.....	140
6-1	普段の外出頻度.....	140
6-2	外出の頻度が現在のようになってからの期間.....	141
6-3	外出頻度が現在のようになったきっかけ.....	142
7	まちや社会について.....	143
7-1	庄内町に今後も住みたいと思うか.....	143
7-2	庄内町に住み続けるために重要なこと.....	145
7-3	日頃感じていることなど（自由意見）.....	148
IV	資料編	149
1	使用した調査票（こどもの生活実態に関する調査／保護者）.....	149
2	WEB調査画面（こどもの生活実態に関する調査／こども）.....	161
3	WEB調査画面（若者の意識に関する調査）.....	179

I 調査概要

1 調査の目的

本町では、令和6年度に子ども・子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進するため、子ども・子育て支援法第61条に基づく令和7年度から令和11年度までの5箇年間の「第3期庄内町子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

一方、令和5年4月に「こども基本法」が施行され、同法第10条第2項において、市町村は、こども大綱及び都道府県こども計画を勘案して、市町村こども計画を定めるよう努めるものとするされています。

そのため、本町では、「第3期庄内町子ども・子育て支援事業計画」を包含した令和9年度から令和11年度までの庄内町こども計画を策定するため、こどもの生活実態や若者の意識等を把握するアンケート調査を実施しました。

2 調査期間

こどもの生活実態に関する調査 保護者：令和7年9月10日（水）～令和7年9月24日（水）

こどもの生活実態に関する調査 子ども：令和7年9月10日（水）～令和7年9月30日（火）

若者の意識に関する調査 : 令和7年9月10日（水）～令和7年9月24日（水）

3 調査対象

こどもの生活実態に関する調査：小学5年生・中学2年生とその保護者各287名

若者の意識に関する調査 : 一般町民15～39歳の方600名

4 調査方法

こどもの生活実態に関する調査 保護者：学校を通じて配布・回収（WEB回答併用）

こどもの生活実態に関する調査 子ども：学校でWEB回答

若者の意識に関する調査 : 郵送配布・WEB回答

5 回答状況

	配布数①	有効回答数②	有効回答率 ②/①
こどもの生活実態に関する調査	574件	514件	89.5%
保護者	287件	241件	84.0%
子ども	287件	273件	95.1%
若者の意識に関する調査	600件	201件	33.5%

6 調査結果の見方

- 図表内のn (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無(0件)であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。
- 調査数(n)が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

7 こどもの生活実態に関する調査における集計区分について

① 集計区分の定義

子育て世帯の生活実態の差を比較するため、保護者票の「問2 家族の人数」、「問16 令和6年の世帯全体の年間収入」の回答をもとに、厚生労働省の「令和4年 国民生活基礎調査」に基づき、世帯の所得に応じて次のとおり分類し、クロス集計を行いました。

A世帯	等価可処分所得 ^{※1} が127万円 ^{※2} 未満の世帯
B世帯	等価可処分所得 ^{※1} が127万円 ^{※2} 以上の世帯

※1：等価可処分所得…世帯の可処分所得(所得税、住民税、社会保険料及び固定資産税を差し引いた後のいわゆる手取り収入)を家族の人数の平方根($\sqrt{\quad}$)で割った所得

※2：127万円…厚生労働省の「令和4年 国民生活基礎調査」において算出された「貧困線」の額(「貧困線」とは、等価可処分所得の中央値(254万円)の半分の額(127万円)であり、貧困線に満たない世帯員の割合が「貧困率」とされています。)

※本調査では、世帯の所得について、回答者の負担を考慮し、「500~550万円」といった数値の幅を持たせた選択肢で把握したため、選択肢の上限値と下限値の平均値を世帯の所得とみなして算出しています。

(例) 問16で世帯の所得を「500~550万円」、問2で家族の人数を「5人」と回答した場合
世帯の所得： $(500万円 + 550万円) \div 2 = 525万円$
等価可処分所得： $525万円 \div \sqrt{5} = 234.78万円$

【等価可処分所得127万円(貧困線)未満の世帯所得の目安】

- ・2人世帯：179万円以下 ($1,790,000円 \div \sqrt{2} = 1,265,721円$)
- ・3人世帯：219万円以下 ($2,190,000円 \div \sqrt{3} = 1,264,397円$)
- ・4人世帯：253万円以下 ($2,530,000円 \div \sqrt{4} = 1,265,000円$)
- ・5人世帯：283万円以下 ($2,830,000円 \div \sqrt{5} = 1,265,614円$)

② 集計区分の分類結果

集計区分の具体的な内訳は以下の通りです。

回収世帯数		241 世帯
集計区分	A世帯	27 世帯 (11.2%)
	B世帯	209 世帯 (86.7%)
	集計区分の把握が困難（問 2 または問 16 に回答が無かった世帯）	5 世帯 (2.1%)

※「集計区分の把握が困難」の世帯は、調査数（n）が少数のため図表及びコメントの掲載を省略しています。

II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

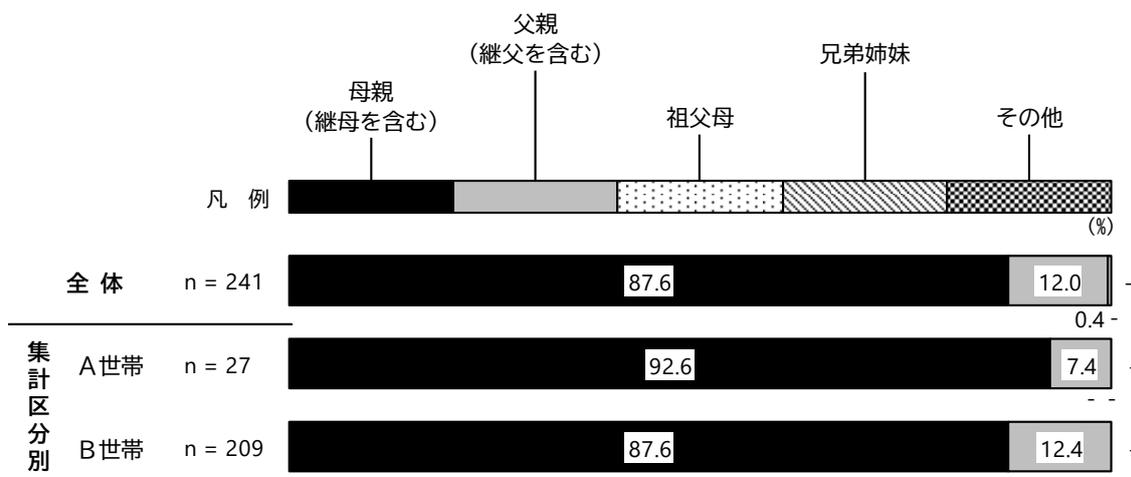
A 保護者調査結果

1 世帯のことについて

1-1 回答者

問1 この調査はどなたが回答されていますか。お子さんからみた続柄でお答えください。
(○印は1つ)

- ▶ 回答者については、「母親（継母を含む）」が87.6%と最も高く、次いで、「父親（継父を含む）」(12.0%)、「祖父母」(0.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「母親（継母を含む）」(92.6%)がやや高く、「父親（継父を含む）」(7.4%)がやや低くなっています。



1-2 家族の人数

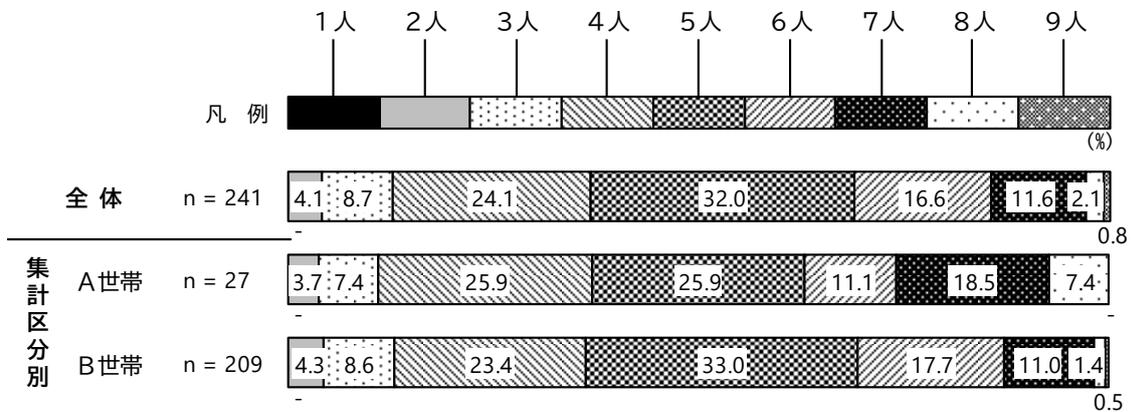
問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。

※生計が同一であれば、同居していない方

(例：学業等で世帯を離れているお子さんなど) も人数に含めてください。

※あなたとお子さんを含めた家族の人数を回答してください。

- ▶ 家族の人数については、「5人」が32.0%と最も高く、次いで、「4人」(24.1%)、「6人」(16.6%)、「7人」(11.6%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「7人」(18.5%)、「8人」(7.4%)がやや高く、「5人」(25.9%)、「6人」(11.1%)がやや低くなっています。



1-3 同居家族

問3 問2で回答したご家族の人数には、お子さんから見てどの関係の人が含まれますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- ▶ 同居家族については、「母親（継母を含む）」が92.1%と最も高く、次いで、「兄弟姉妹」（80.1%）、「父親（継父を含む）」（79.3%）、「祖父母」（39.0%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「祖父母」（51.9%）が15.1ポイント高く、「父親（継父を含む）」（66.7%）が14.2ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では「その他」（25.9%）も19.7ポイント高くなっています。
『A世帯』における「その他」の具体的な内容としては、「曾祖母」が多くなっています。

(%)

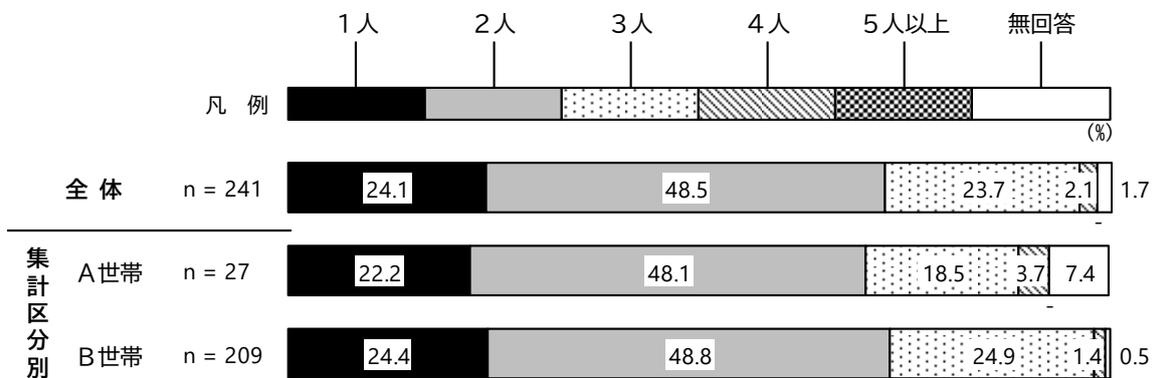
		n	母親 (継母を含む)	兄弟 姉妹	父親 (継父を含む)	祖 父母	そ の 他
全体		241	92.1	80.1	79.3	39.0	8.7
区 集 分 計	A世帯	27	85.2	74.1	66.7	51.9	25.9
	B世帯	209	93.3	80.9	80.9	36.8	6.2

1-4 17歳以下の人数

問4 問2で回答したご家族の人数のうち、令和7年4月1日現在、17歳以下の人の人数をお答えください。

※調査票をお配りしたお子さんを含めた人数を回答してください。

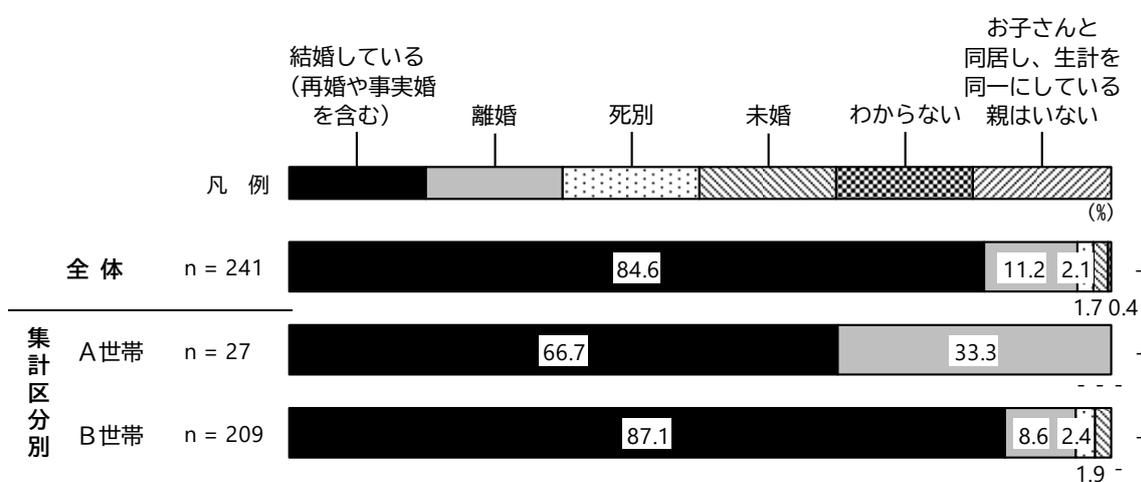
- ▶ 17歳以下の人数については、「2人」が48.5%と最も高く、次いで、「1人」(24.1%)、「3人」(23.7%)、「4人」(2.1%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「3人」(18.5%)がやや低くなっています。



1-5 婚姻状況

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。
(○印は1つ)

- ▶ 婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が84.6%と最も高く、次いで、「離婚」（11.2%）、「死別」（2.1%）、「未婚」（1.7%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「離婚」（33.3%）が24.7ポイント高く、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」（66.7%）が20.4ポイント低くなっています。



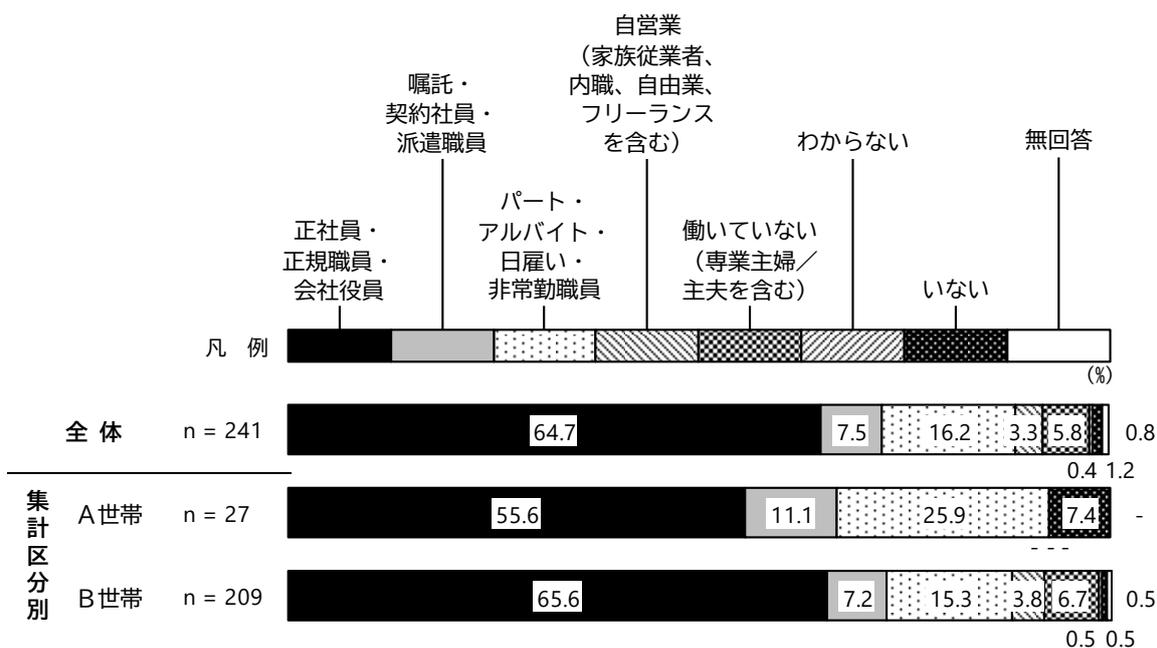
2 保護者の就労状況等について

2-1 就労状況

問6 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。
(ア、イそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

■ア 母親

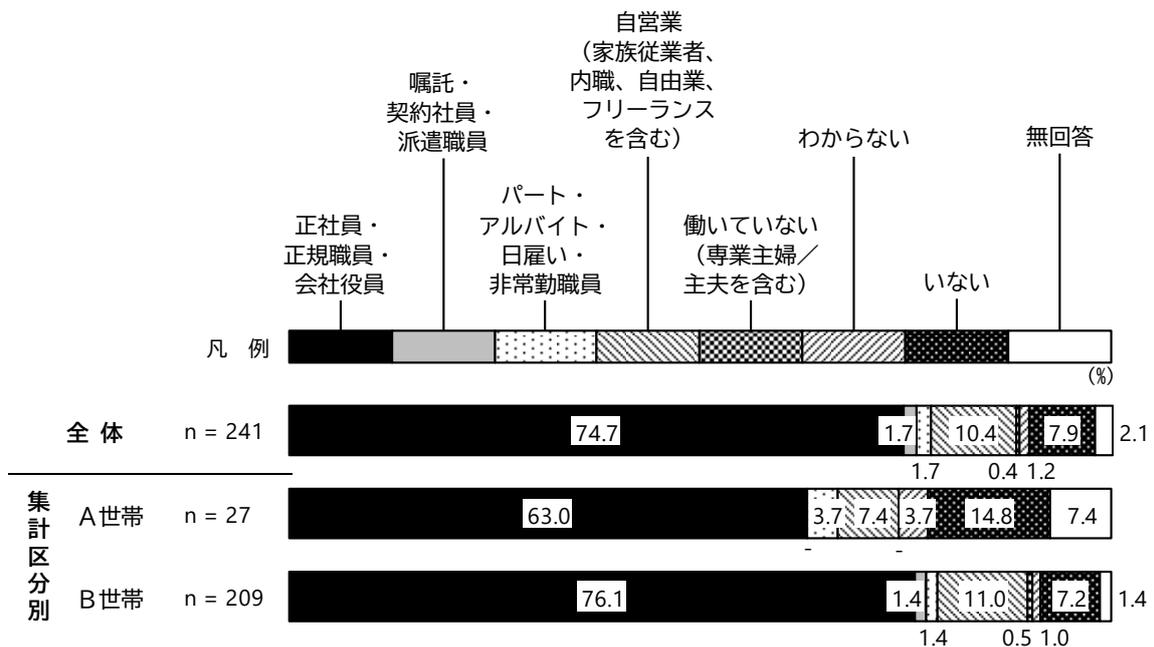
- ▶ 就労状況について、【ア 母親】では、「正社員・正規職員・会社役員」が64.7%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(16.2%)、「嘱託・契約社員・派遣職員」(7.5%)、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」(5.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(25.9%)が10.6ポイント高く、「正社員・正規職員・会社役員」(55.6%)が10.0ポイント低くなっています。
なお、『A世帯』では『B世帯』と比べて「いない」(7.4%)がやや高くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

■イ 父親

- ▶ 就労状況について、【イ 父親】では、「正社員・正規職員・会社役員」が74.7%と最も高く、次いで、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」（10.4%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（いずれも1.7%）となっています。なお、「いない」が7.9%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「正社員・正規職員・会社役員」（63.0%）が13.1ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では『B世帯』と比べて「いない」（14.8%）がやや高くなっています。



2-2 働いていない主な理由

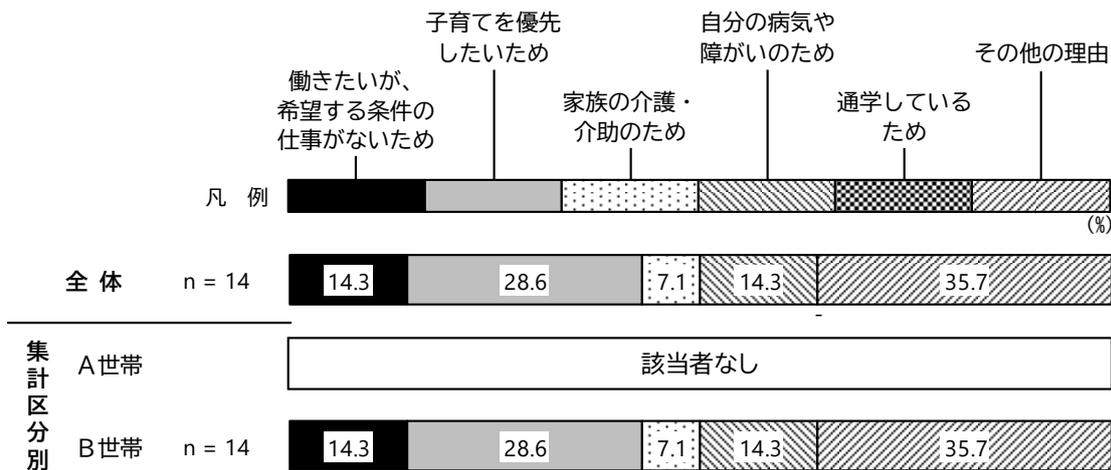
【問6で、母親・父親のいずれかが「5 働いていない」とお答えになった方にお聞きします。それ以外の方は問8にお進みください】

問7 働いていない最も主な理由をお答えください。

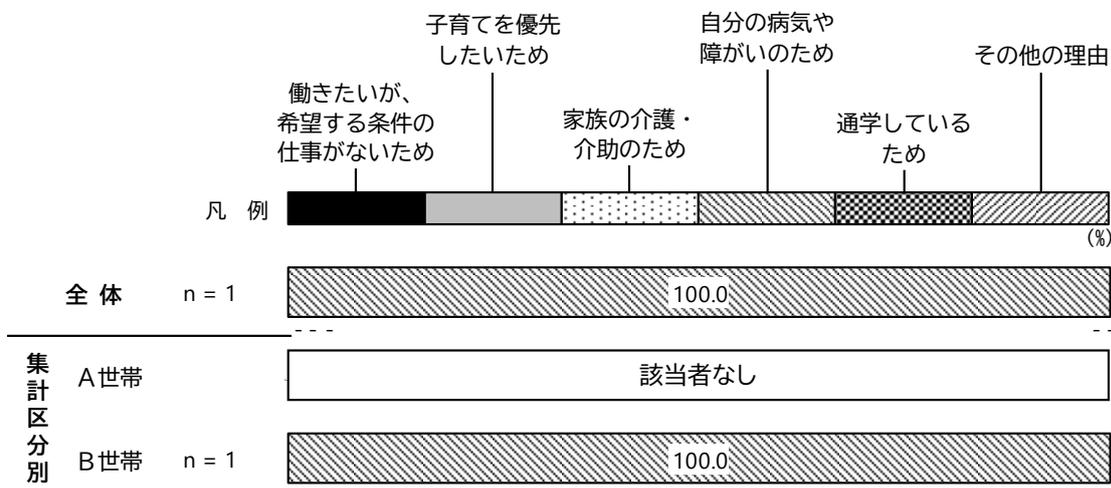
(ア、イそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

■ア 母親

- ▶ 働いていない主な理由について、【ア 母親】では、「その他の理由」が35.7%と最も高く、次いで、「子育てを優先したいため」(28.6%)、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障がいのため」(いずれも14.3%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、【ア 母親】では、『A世帯』では問6で「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」との回答がなかったため、働いていない主な理由については『B世帯』の回答のみとなっています。



■イ 父親



※【イ 父親】については調査数が極めて少ないため、コメントは非掲載としています。

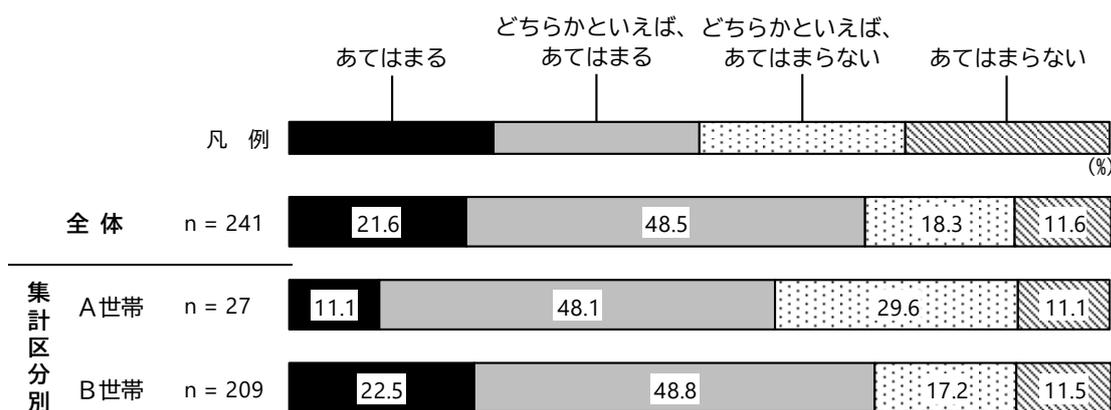
3 お子さんとの関わり、教育について

3-1 こどもとの関わり方

問8 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(ア～オそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

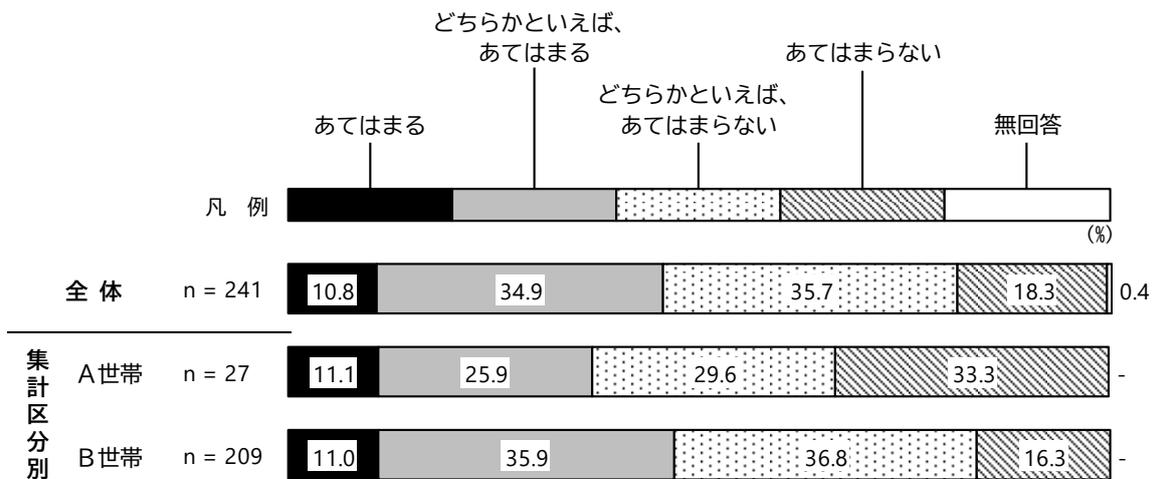
■ア テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

- ▶ こどもとの関わり方について、【ア テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている】では、「どちらかといえば、あてはまる」が48.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」(21.6%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(18.3%)、「あてはまらない」(11.6%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえば、あてはまらない」(29.6%)が12.4ポイント高く、「あてはまる」(11.1%)が11.4ポイント低くなっています。



■イ お子さんに本や新聞を読むように勧めている

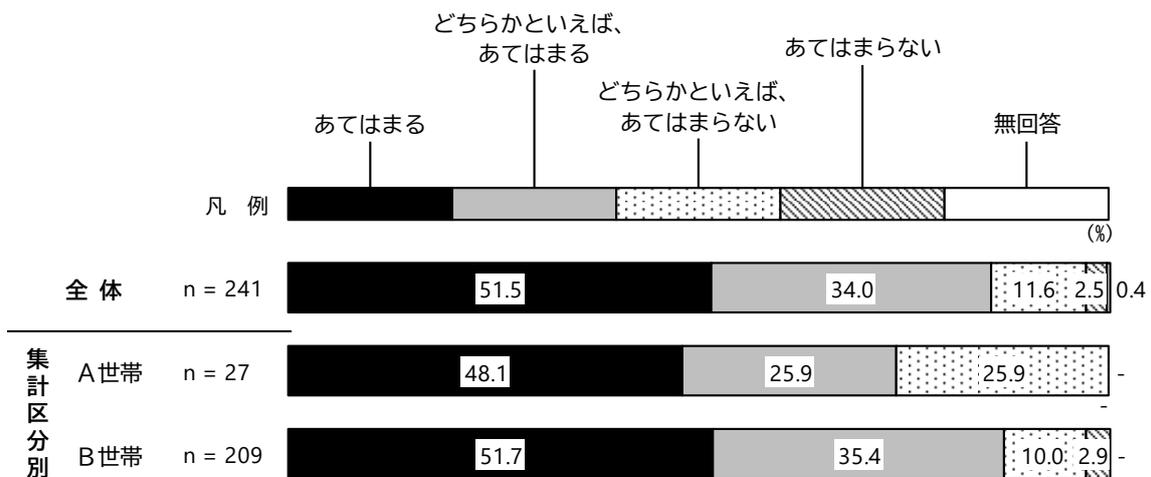
- ▶ こどもとの関わり方について、【イ お子さんに本や新聞を読むように勧めている】では、「どちらかといえば、あてはまらない」が35.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(34.9%)、「あてはまらない」(18.3%)、「あてはまる」(10.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「あてはまらない」(33.3%)が17.0ポイント高く、「どちらかといえば、あてはまる」(25.9%)が10.0ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

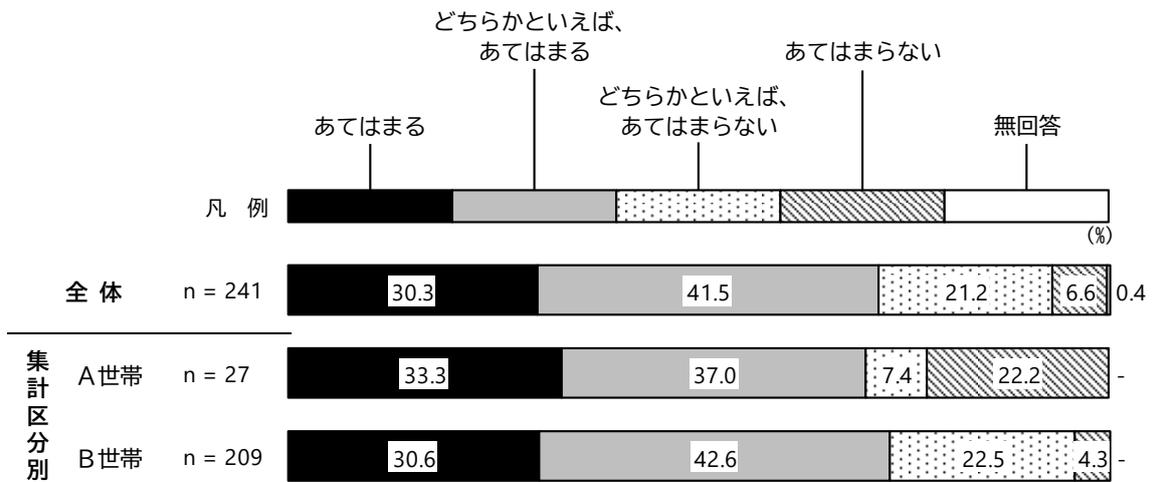
■ウ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

- ▶ こどもとの関わり方について、【ウ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた】では、「あてはまる」が51.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(34.0%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(11.6%)、「あてはまらない」(2.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえば、あてはまらない」(25.9%)が15.9ポイント高く、「どちらかといえば、あてはまる」(25.9%)が約10ポイント低くなっています。



■エ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

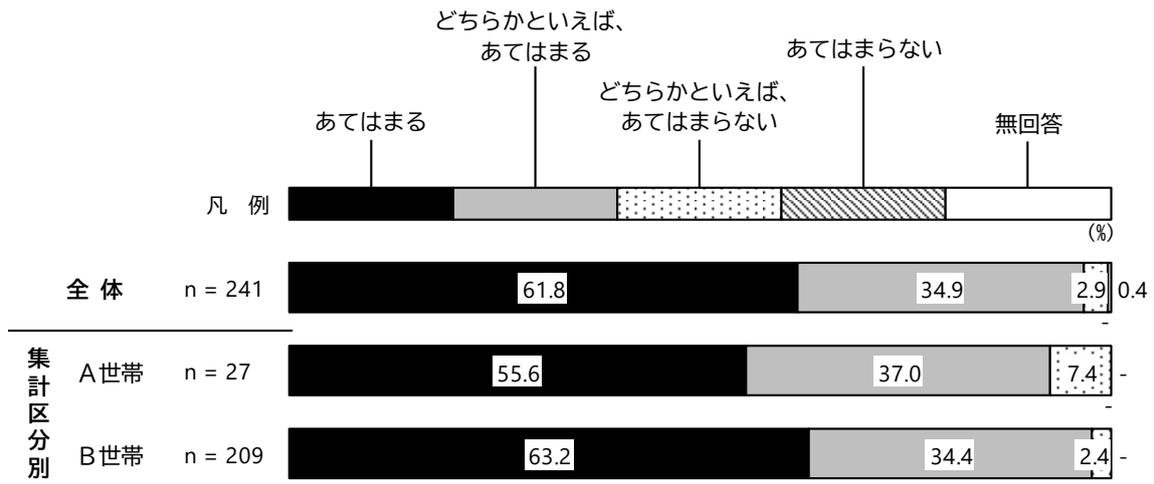
- ▶ こどもとの関わり方について、【エ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる】では、「どちらかといえば、あてはまる」が41.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」(30.3%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(21.2%)、「あてはまらない」(6.6%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「あてはまらない」(22.2%)が17.9ポイント高く、「どちらかといえば、あてはまらない」(7.4%)が15.1ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

■オ お子さんとはよく話をしている

- ▶ こどもとの関わり方について、【オ お子さんとはよく話をしている】では、「あてはまる」が61.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(34.9%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(2.9%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「あてはまる」(55.6%) がやや低くなっています。

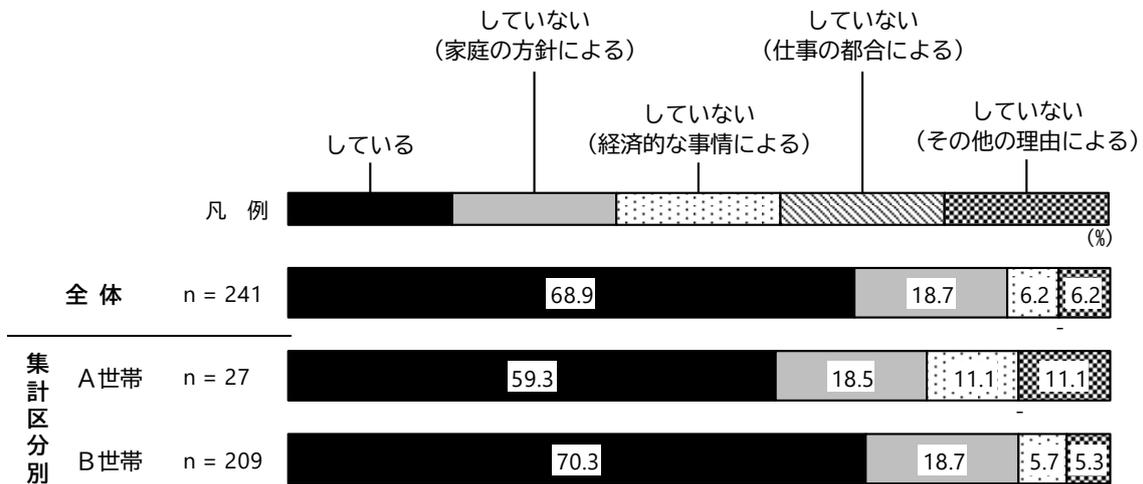


3-2 こどもにしていること

問9 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。
 (ア～オそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

■ア 毎月又は必要な時におこづかいを渡す

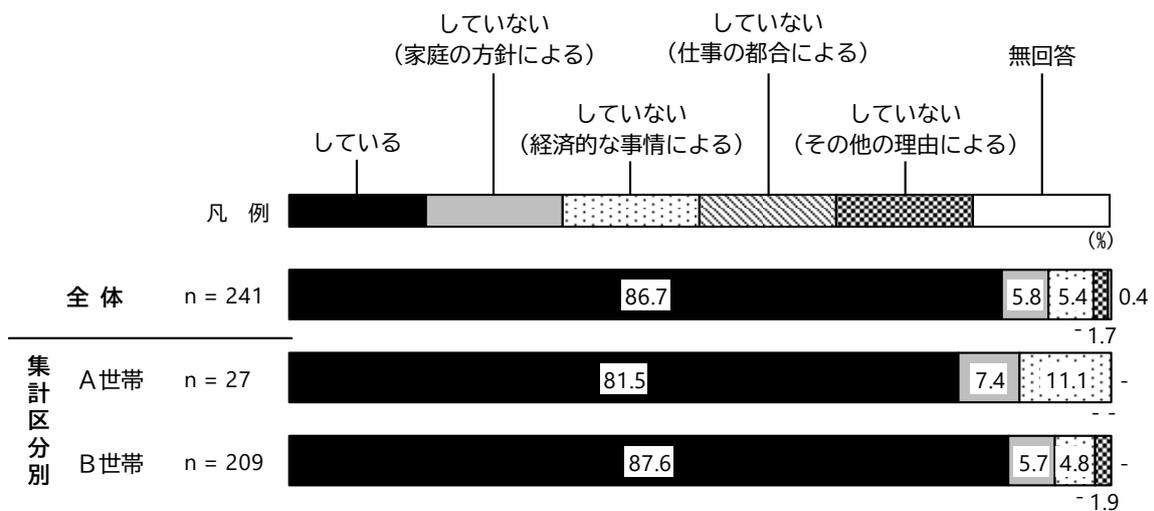
- ▶ こどもにしていることについて、【ア 毎月又は必要な時におこづかいを渡す】では、「している」が68.9%と最も高く、次いで、「していない(家庭の方針による)」(18.7%)、「していない(経済的な事情による)」、「していない(その他の理由による)」(いずれも6.2%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「している」(59.3%)が11.0ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

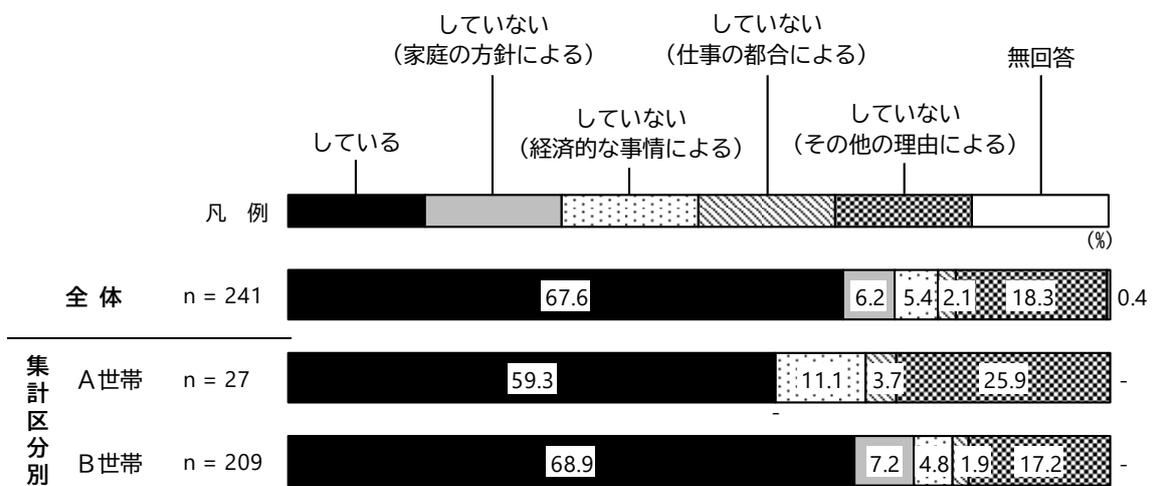
■イ 毎年新しい服や靴を買う

- ▶ こどもにしていることについて、【イ 毎年新しい服や靴を買う】では、「している」が86.7%と最も高く、次いで、「していない（家庭の方針による）」（5.8%）、「していない（経済的な事情による）」（5.4%）、「していない（その他の理由による）」（1.7%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「していない（経済的な事情による）」（11.1%）がやや高く、「している」（81.5%）がやや低くなっています。



■ウ 塾や習い事に通わせる

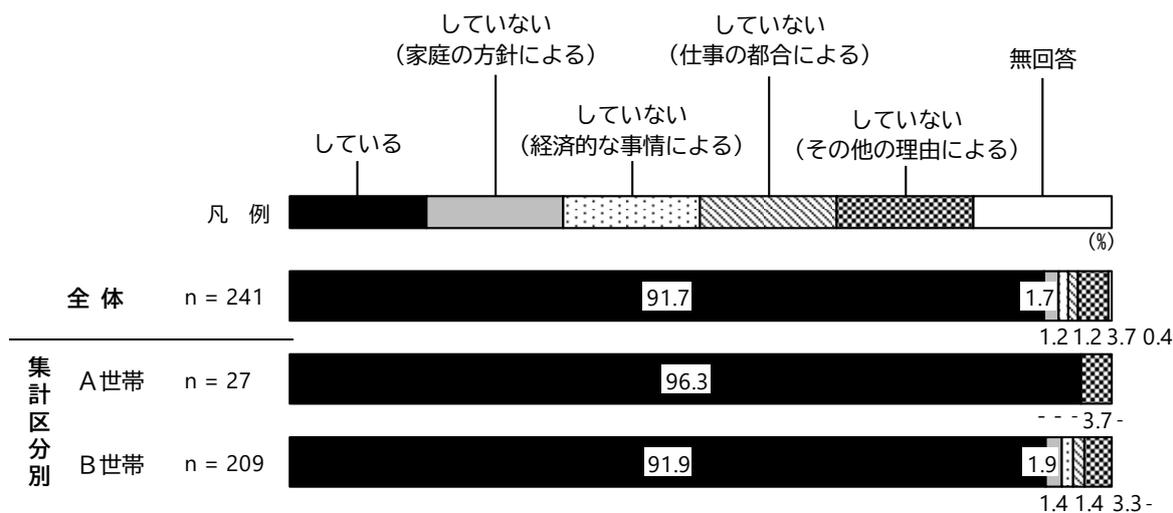
- ▶ こどもにしていることについて、【ウ 塾や習い事に通わせる】では、「している」が67.6%と最も高く、次いで、「していない（その他の理由による）」（18.3%）、「していない（家庭の方針による）」（6.2%）、「していない（経済的な事情による）」（5.4%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「している」（59.3%）が約10ポイント低くなっています。また、「していない（経済的な事情による）」（11.1%）がやや高く、「していない（家庭の方針による）」（回答なし）がやや低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

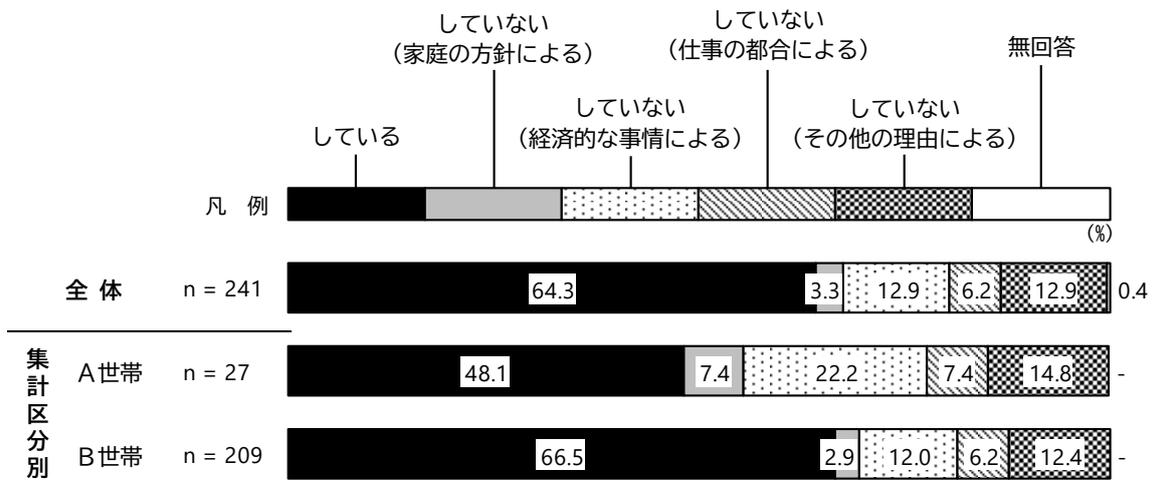
■エ 一緒に買い物に行く

- ▶ こどもにしていることについて、【エ 一緒に買い物に行く】では、「している」が91.7%と最も高く、次いで、「していない（その他の理由による）」（3.7%）、「していない（家庭の方針による）」（1.7%）、「していない（経済的な事情による）」、「していない（仕事の都合による）」（いずれも1.2%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、「している」との回答は、唯一『A世帯』が『B世帯』を上回っています。



■オ 家族旅行に行く（過去1年程度の間）

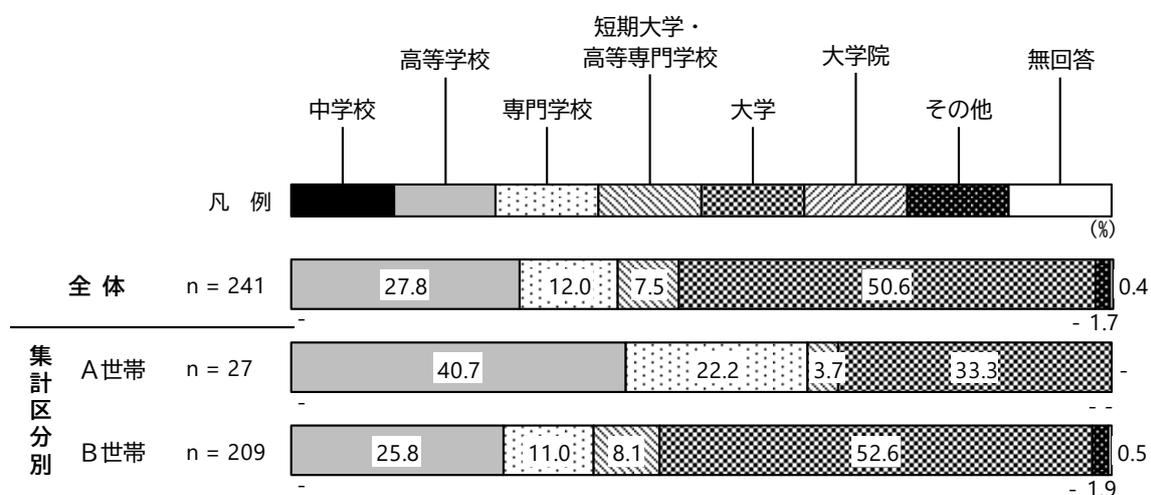
- ▶ こどもにしていることについて、【オ 家族旅行に行く（過去1年程度の間）】では、「している」が64.3%と最も高く、次いで、「していない（経済的な事情による）」、「していない（その他の理由による）」（いずれも12.9%）、「していない（仕事の都合による）」（6.2%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「していない（経済的な事情による）」（22.2%）が10.2ポイント高く、「している」（48.1%）が18.4ポイント低くなっています。



3-3 希望の進学先

問10 あなたは、お子さんにどの程度まで進学してほしいと考えていますか。あなた自身の考えにもっとも近いものをお答えください。(○印は1つ)

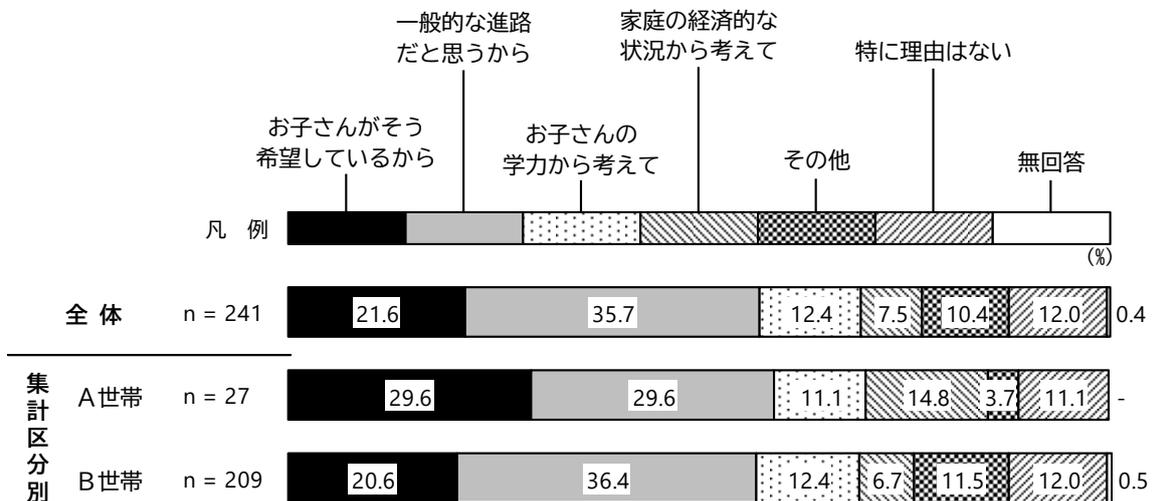
- ▶ 希望の進学先については、「大学」が50.6%と最も高く、次いで、「高等学校」(27.8%)、「専門学校」(12.0%)、「短期大学・高等専門学校」(7.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「高等学校」(40.7%)、「専門学校」(22.2%)が約11~15ポイント高く、「大学」(33.3%)が19.3ポイント低くなっています。



3-4 進学先を選んだ理由

問11 問10で回答した学校まで進学してほしい主な理由は何ですか。(○印は1つ)

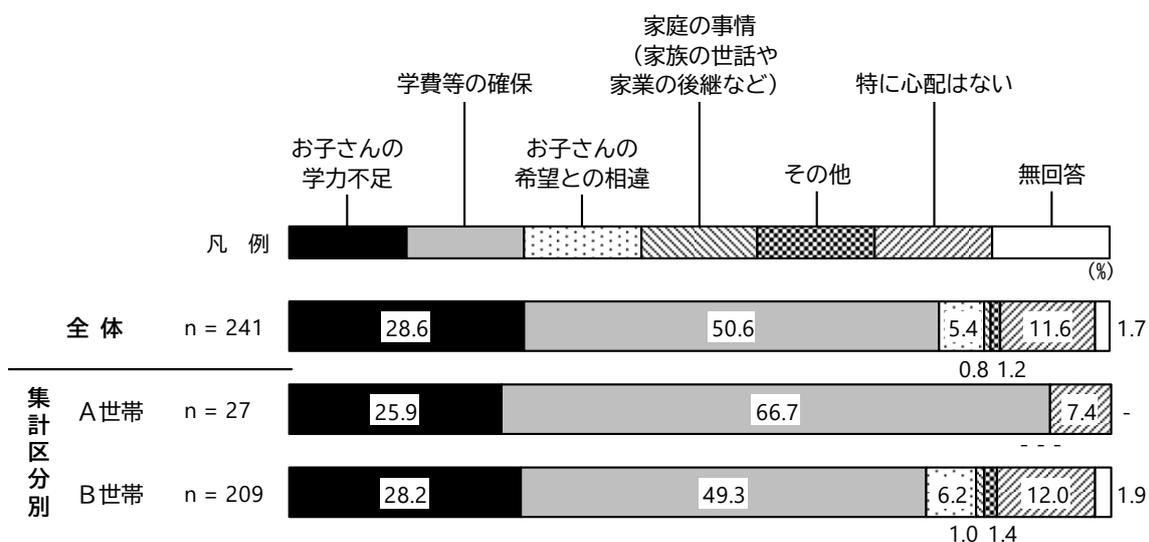
- ▶ 進学先を選んだ理由については、「一般的な進路だと思うから」が35.7%と最も高く、次いで、「お子さんがそう希望しているから」(21.6%)、「お子さんの学力から考えて」(12.4%)、「家庭の経済的な状況から考えて」(7.5%)となっています。なお、「特に理由はない」が12.0%、「その他」が10.4%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「お子さんがそう希望しているから」(29.6%)、「家庭の経済的な状況から考えて」(14.8%) がやや高く、「一般的な進路だと思うから」(29.6%) がやや低くなっています。



3-5 進学について心配なこと

問12 お子さんの進学について心配なことはありますか。(○印は1つ)

- ▶ 進学について心配なことについては、「学費等の確保」が50.6%と最も高く、次いで、「お子さんの学力不足」(28.6%)、「お子さんの希望との相違」(5.4%)、「家庭の事情(家族の世話や家業の後継など)」(0.8%)となっています。なお、「特に心配はない」が11.6%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「学費等の確保」(66.7%)が17.4ポイント高くなっています。



3-6 こどもが相談できると思う人

問 13 お子さんが困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○印)

- ▶ こどもが相談できると思う人については、「母親」が 87.1%と最も高く、次いで、「父親」(57.3%)、「友達」(53.1%)、「兄弟姉妹」(32.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「祖父母」(44.4%)が13.8ポイント高く、「父親」(44.4%)、「友達」(37.0%)が約15~20ポイント低くなっています。

		(%)										
		n	母親	父親	友達	兄弟姉妹	祖父母	学校の先生	親戚	保健室の先生	学習塾や習い事、スポーツ少年団などの先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
全体		241	87.1	57.3	53.1	32.8	32.0	26.6	10.0	7.5	4.1	2.9
区 分 集 計	A世帯	27	81.5	44.4	37.0	33.3	44.4	33.3	3.7	7.4	3.7	3.7
	B世帯	209	88.5	59.3	56.5	33.5	30.6	26.3	11.0	7.7	4.3	2.9

※上位10項目を抜粋して掲載しています。

3-7 頼っている事柄と頼り先

問 14 次に挙げる事柄について、あなたが頼っている人はだれですか。
(ア～ウそれぞれについてあてはまるものすべてに○印)

■ア 子育てに関する相談

- ▶ 頼っている事柄と頼り先について、【ア 子育てに関する相談】では、「家族・親族」が88.8%と最も高く、次いで、「友人・知人」(63.1%)、「職場の人」(37.3%)、「公的な相談窓口」(4.6%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「友人・知人」(48.1%)が17.0ポイント低くなっています。

		n	家族・親族	友人・知人	職場の人	公的な相談窓口	近所の人	その他	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体		241	88.8	63.1	37.3	4.6	3.7	0.8	1.7	-	0.4
区 集 分 別	A世帯	27	81.5	48.1	44.4	-	-	-	3.7	-	-
	B世帯	209	90.0	65.1	36.8	5.3	4.3	1.0	1.4	-	-

■イ 重要な事柄の相談

- ▶ 頼っている事柄と頼り先について、【イ 重要な事柄の相談】では、「家族・親族」が93.8%と最も高く、次いで、「友人・知人」(25.7%)、「職場の人」(9.5%)、「公的な相談窓口」(2.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「家族・親族」(85.2%)が10.0ポイント低くなっています。

(%)

		n	家族・親族	友人・知人	職場の人	公的な相談窓口	近所の人	その他	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体		241	93.8	25.7	9.5	2.5	-	1.2	3.3	-	0.4
区 分 別 集 計	A世帯	27	85.2	22.2	11.1	-	-	-	11.1	-	-
	B世帯	209	95.2	26.3	9.6	2.9	-	1.4	2.4	-	-

II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

■ウ いざという時のお金の援助

- ▶ 頼っている事柄と頼り先について、【ウ いざという時のお金の援助】では、「家族・親族」が73.0%と最も高く、次いで、「公的な相談窓口」(3.7%)、「友人・知人」(1.2%)となっています。なお、「いない」が13.3%、「そのことでは人に頼らない」が11.6%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「家族・親族」(81.5%)が約10ポイント高くなっています。『B世帯』で12.9%となった「そのことでは人に頼らない」は『A世帯』では回答がありませんでした。

(%)

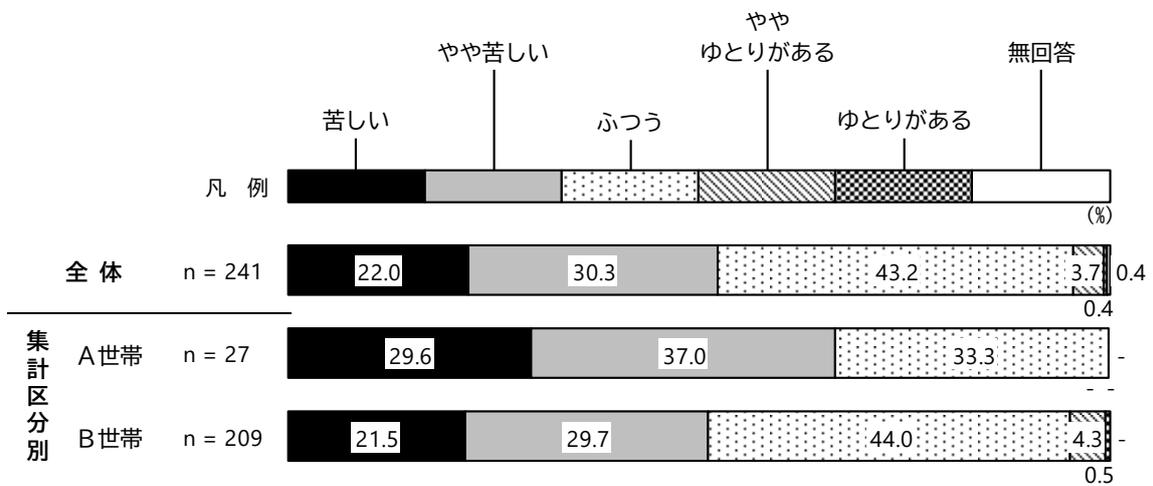
		n	家族・親族	公的な相談窓口	友人・知人	近所の人	職場の人	その他	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体		241	73.0	3.7	1.2	-	-	-	13.3	11.6	0.4
区 集 分 別 計	A世帯	27	81.5	3.7	-	-	-	-	18.5	-	-
	B世帯	209	72.2	3.8	1.4	-	-	-	12.9	12.9	-

4 暮らしや家計の状況について

4-1 現在の暮らしの状況

問15 現在の暮らしの状況を、どのように感じていますか。(○印は1つ)

- ▶ 現在の暮らしの状況については、「ふつう」が43.2%と最も高く、次いで、「やや苦しい」(30.3%)、「苦しい」(22.0%)、「ややゆとりがある」(3.7%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ふつう」(33.3%)が10.7ポイント低くなっています。一方、『A世帯』では「苦しい」(29.6%)、「やや苦しい」(37.0%)が約7~8ポイント高くなっています。



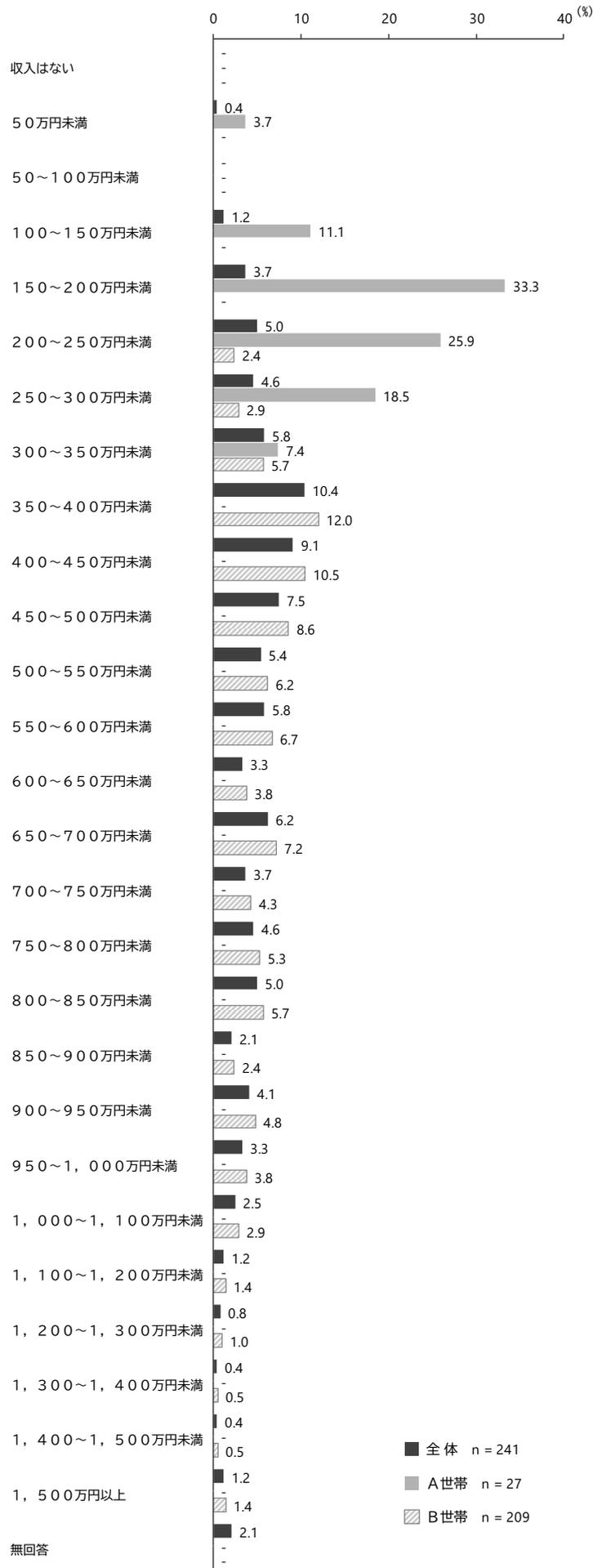
4-2 世帯全体の年間収入

問16 昨年（令和6年1月～12月）の世帯全体の年間収入（税金や社会保険料等を差し引いた、いわゆる手取り収入）はどのくらいですか。

なお、ここでいう収入には仕事で得た収入のほか、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的な手当・給付金、養育費等を含みます。（○印は1つ）

- ▶ 世帯全体の年間収入については、「350～400万円未満」が10.4%と最も高く、次いで、「400～450万円未満」（9.1%）、「450～500万円未満」（7.5%）、「650～700万円未満」（6.2%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では「150～200万円未満」（33.3%）が最も高く、次いで、「200～250万円未満」（25.9%）、「250～300万円未満」（18.5%）、「100～150万円未満」（11.1%）となっています。

Ⅱ こどもの生活実態に関する調査 調査結果



4-3 支出で負担が大きいもの

問 17 家計の支出の中で、特に負担が大きいと感じるものは何ですか。3つまで選んでください。

- ▶ 支出で負担が大きいものについては、「食費」が84.2%と最も高く、次いで、「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」(66.0%)、「衣類など身の回りの物の購入費」(32.8%)、「学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用」(32.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「衣類など身の回りの物の購入費」(51.9%)が22.2ポイント、「学校の部活動にかかる費用」(25.9%)が13.9ポイント高く、「学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用」(22.2%)が12.2ポイント低くなっています。

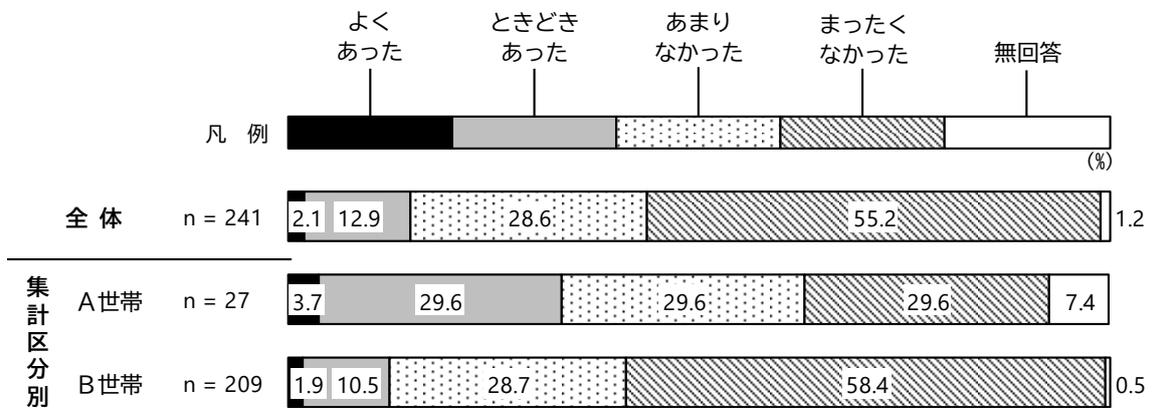
		(%)										
		n	食費	家賃や光熱水費等、住居にかかる費用	衣類など身の回りの物の購入費	学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用	保育料、給食費など、学校等に及ぶ費用	学校の部活動にかかる費用	趣味やレジャー等の遊興費	医療費	その他	特に大きな負担は感じない
全体		241	84.2	66.0	32.8	32.4	19.5	13.7	7.1	2.5	4.1	1.2
区 分 集 計	A世帯	27	81.5	59.3	51.9	22.2	18.5	25.9	-	7.4	-	-
	B世帯	209	85.2	67.9	29.7	34.4	19.6	12.0	8.1	1.9	4.8	1.4

※「無回答」を除いて掲載しています。

4-4 食料が買えなかったことの有無

問18 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(○印は1つ)

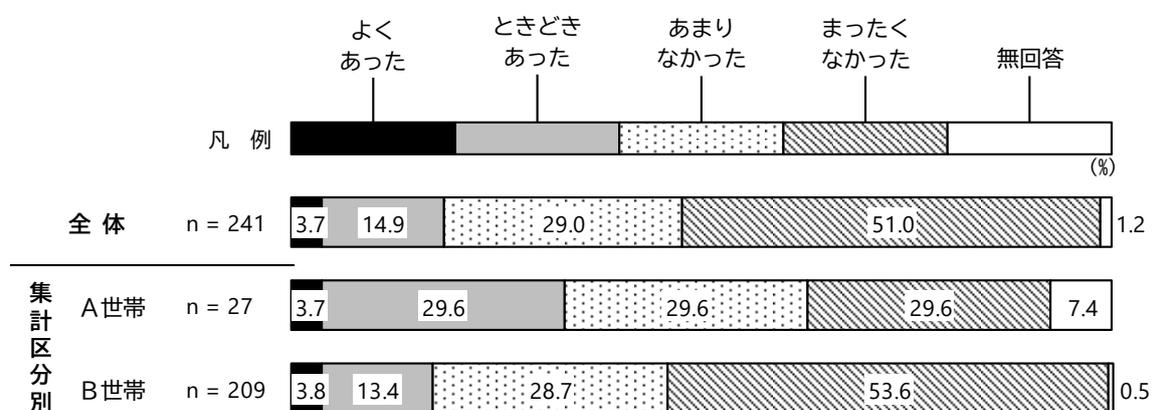
- ▶ 食料が買えなかったことの有無については、「まったくなかった」が55.2%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(28.6%)、「ときどきあった」(12.9%)、「よくあった」(2.1%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ときどきあった」(29.6%)が19.1ポイント高く、「まったくなかった」(29.6%)が28.8ポイント低くなっています。



4-5 衣服が買えなかったことの有無

問19 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(○印は1つ)

- ▶ 衣服が買えなかったことの有無については、「まったくなかった」が51.0%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(29.0%)、「ときどきあった」(14.9%)、「よくあった」(3.7%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ときどきあった」(29.6%)が16.2ポイント高く、「まったくなかった」(29.6%)が24.0ポイント低くなっています。



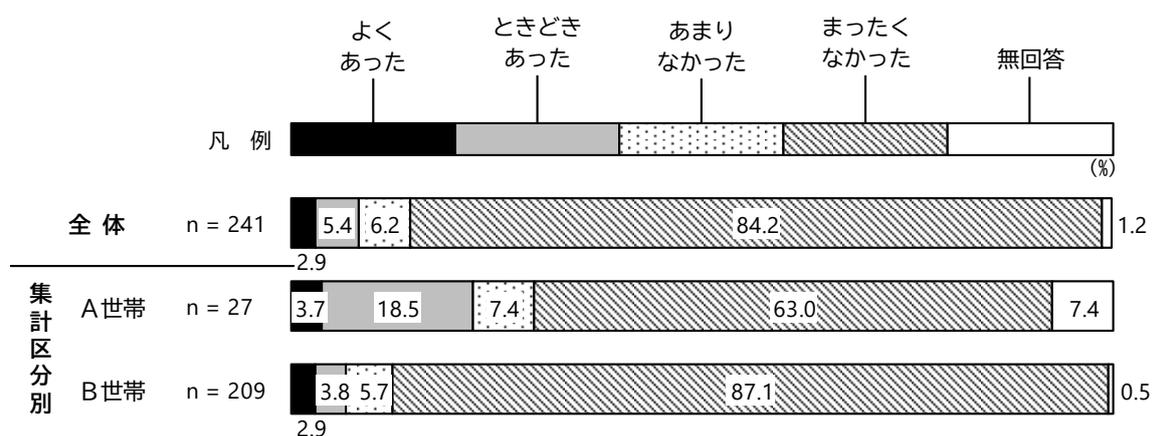
4-6 経済的な理由による未払いの経験の有無

問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払い又は出来なかったことがありましたか。

(ア～キそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

■ア 電気料金又はガス料金・水道料金を滞納した

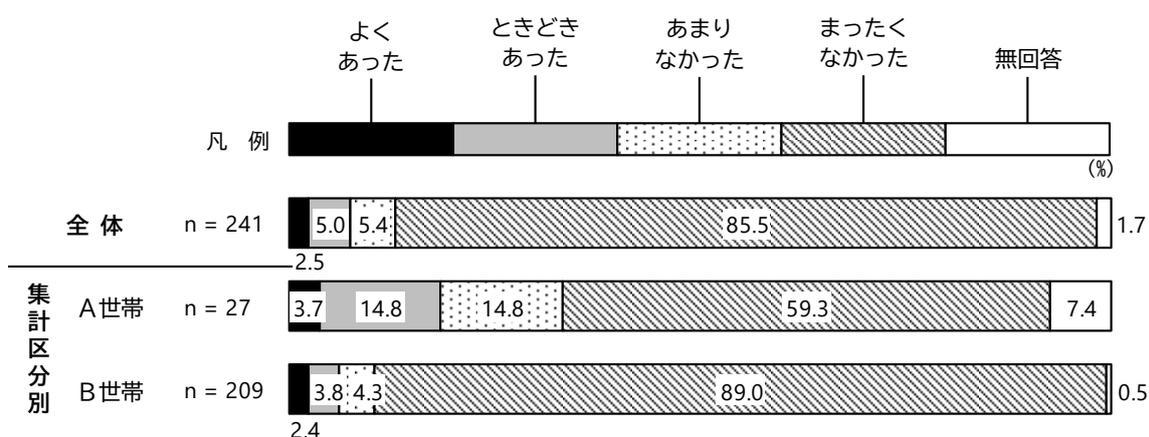
- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【ア 電気料金又はガス料金・水道料金を滞納した】では、「まったくなかった」が84.2%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(6.2%)、「ときどきあった」(5.4%)、「よくあった」(2.9%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ときどきあった」(18.5%)が14.7ポイント高く、「まったくなかった」(63.0%)が24.1ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

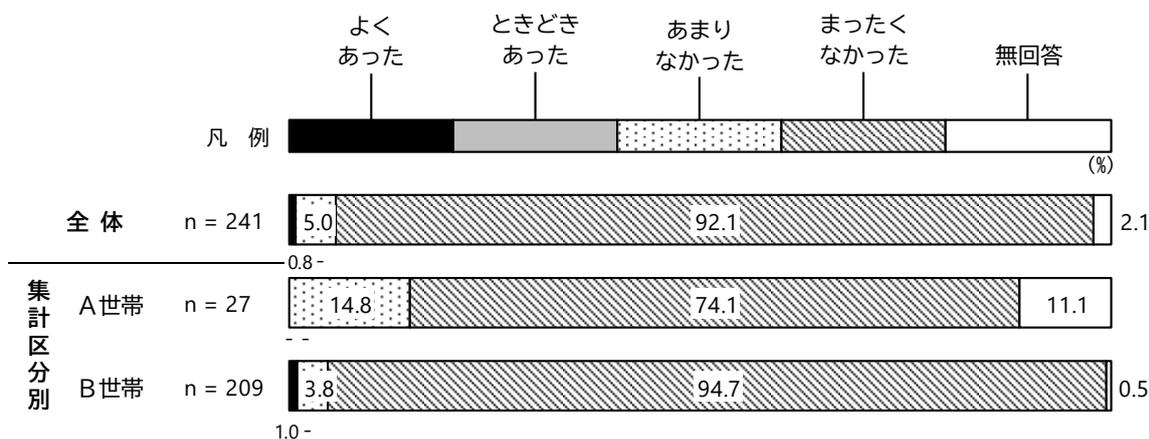
■イ 電話料金やインターネット等の通信料金を滞納した

- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【イ 電話料金やインターネット等の通信料金を滞納した】では、「まったくなかった」が85.5%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(5.4%)、「ときどきあった」(5.0%)、「よくあった」(2.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ときどきあった」(14.8%)、「あまりなかった」(14.8%)が約11ポイント高く、「まったくなかった」(59.3%)が29.7ポイント低くなっています。



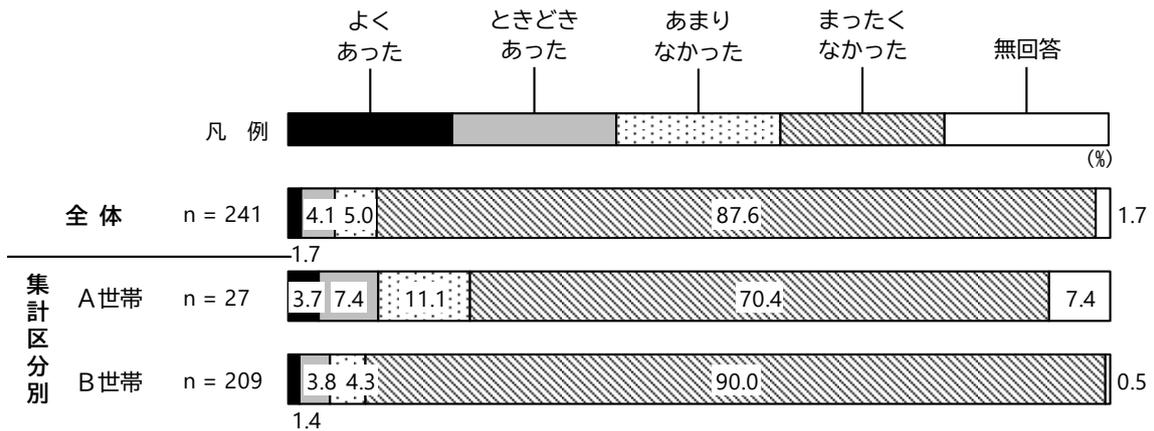
■ウ 家賃や住宅ローンを滞納した

- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【ウ 家賃や住宅ローンを滞納した】では、「まったくなかった」が92.1%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(5.0%)、「よくあった」(0.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「あまりなかった」(14.8%)が11.0ポイント高く、「まったくなかった」(74.1%)が20.6ポイント低くなっています。



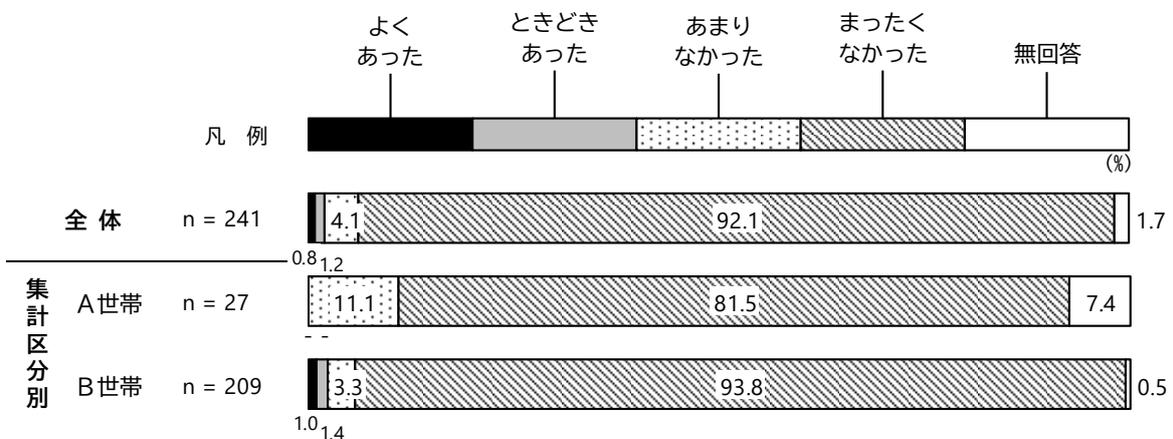
■工 保険料や授業料を滞納した

- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【工 保険料や授業料を滞納した】では、「まったくなかった」が87.6%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(5.0%)、「ときどきあった」(4.1%)、「よくあった」(1.7%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「まったくなかった」(70.4%)が19.6ポイント低くなっています。



■オ 給食費を滞納した

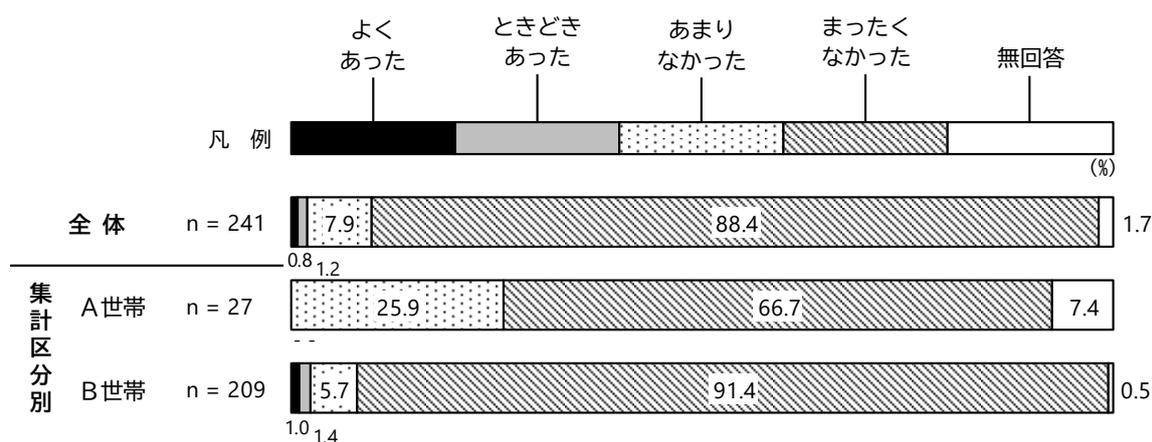
- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【オ 給食費を滞納した】では、「まったくなかった」が92.1%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(4.1%)、「ときどきあった」(1.2%)、「よくあった」(0.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「まったくなかった」(81.5%)が12.3ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

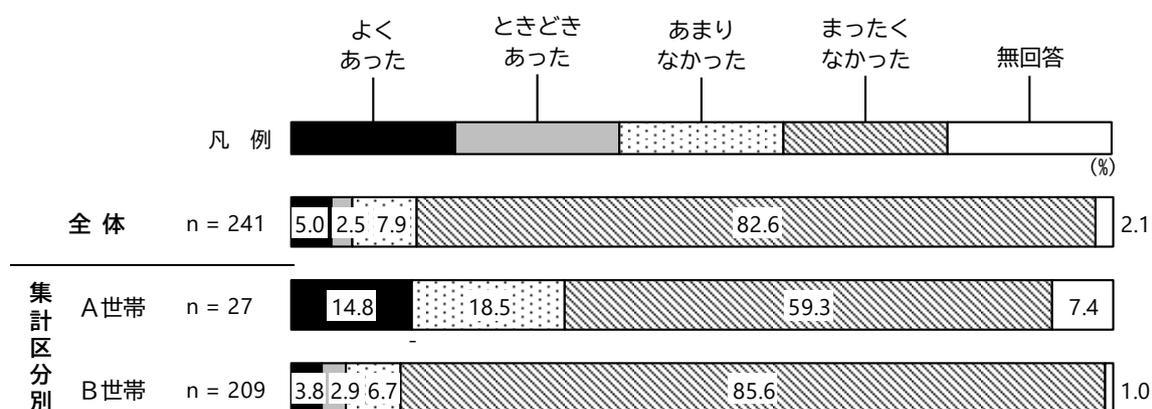
■カ こどもの文房具等が買えなかった

- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【カ こどもの文房具等が買えなかった】では、「まったくなかった」が 88.4%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(7.9%)、「ときどきあった」(1.2%)、「よくあった」(0.8%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「あまりなかった」(25.9%)が 20.2 ポイント高く、「まったくなかった」(66.7%)が 24.7 ポイント低くなっています。



■キ こどもを塾や習い事に通わせられなかった

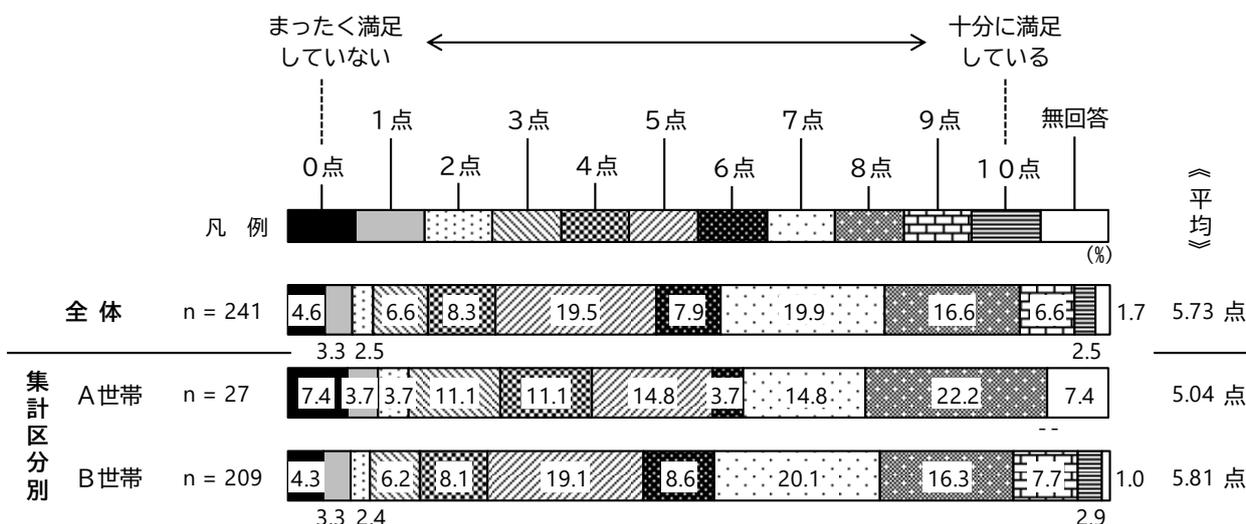
- ▶ 経済的な理由による未払いの経験の有無について、【キ こどもを塾や習い事に通わせられなかった】では、「まったくなかった」が 82.6%と最も高く、次いで、「あまりなかった」(7.9%)、「よくあった」(5.0%)、「ときどきあった」(2.5%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「よくあった」(14.8%)、「あまりなかった」(18.5%)が約 11~12 ポイント高く、「まったくなかった」(59.3%)が 26.3 ポイント低くなっています。



4-7 最近の生活の満足度

問21 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない) から「10点」(十分に満足している) の数字でお答えください。
(○印は1つ)

- ▶ 最近の生活の満足度については、「7点」が19.9%と最も高く、次いで、「5点」(19.5%)、「8点」(16.6%)、「4点」(8.3%)となっています。なお、平均点は5.73点となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』、『B世帯』はともに「5点」、「7点」及び「8点」との回答が多くなっています。一方、「0点」から「4点」との回答は、『A世帯』が『B世帯』を上回っています。平均点については、『A世帯』が5.04点、『B世帯』が5.81点となっています。



5 支援制度等の利用状況について

5-1 公的支援制度の利用経験の有無・利用したことがない理由

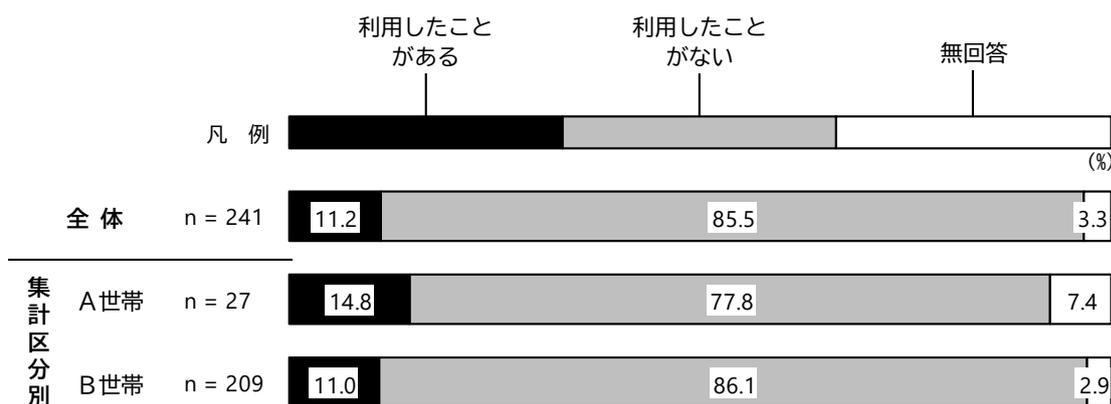
問 22 あなたの世帯では、以下の公的支援制度を利用したことがありますか。また、「2.利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(ア～キそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

【支援制度の利用状況】

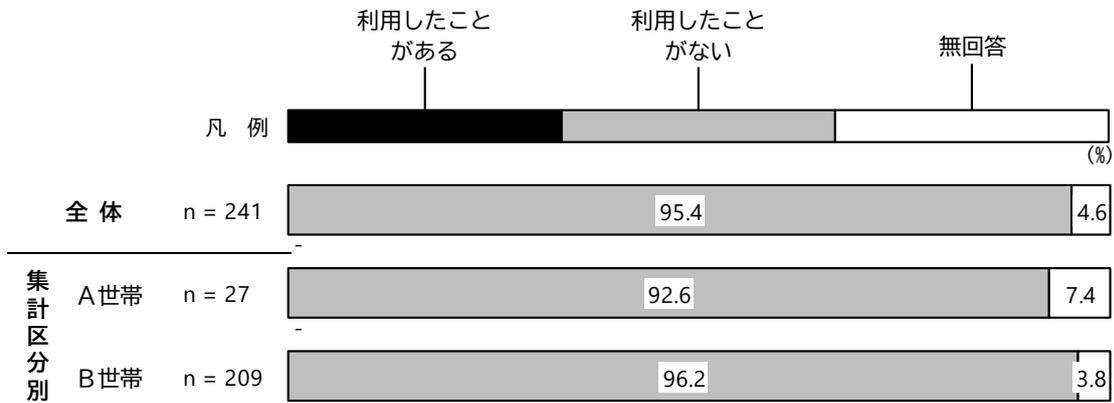
■ア 就学援助

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【ア 就学援助】では、「利用したことがある」が11.2%、「利用したことがない」が85.5%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用したことがない」(77.8%)がやや低くなっています。



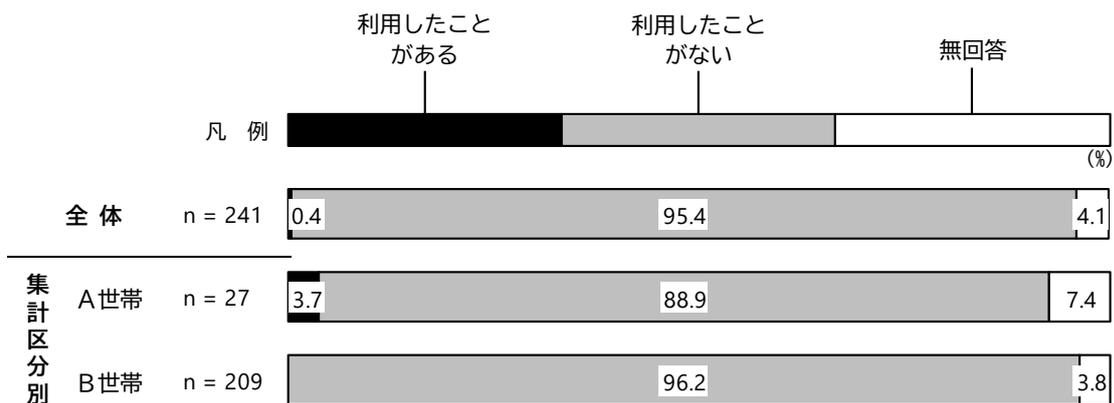
■イ 生活保護

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【イ 生活保護】では、「利用したことがない」が95.4%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



■ウ 生活困窮者自立支援制度

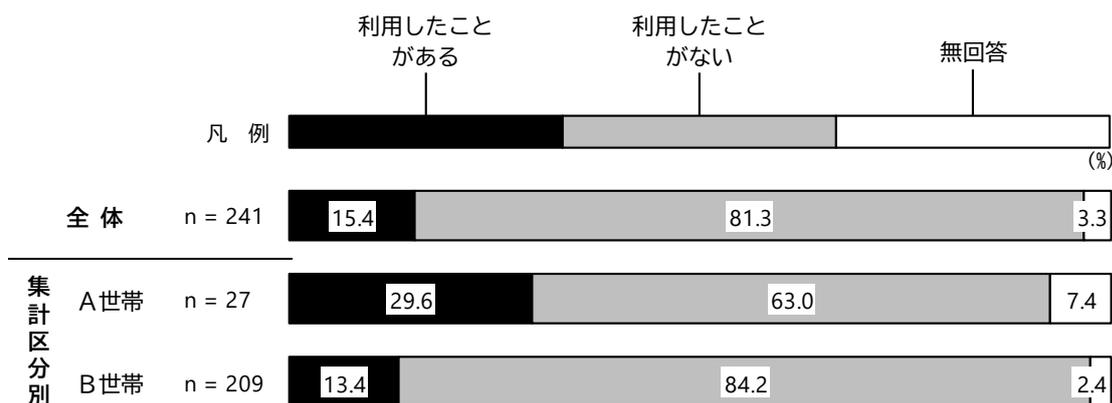
- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【ウ 生活困窮者自立支援制度】では、「利用したことがある」が0.4%、「利用したことがない」が95.4%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用したことがない」(88.9%)がやや低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

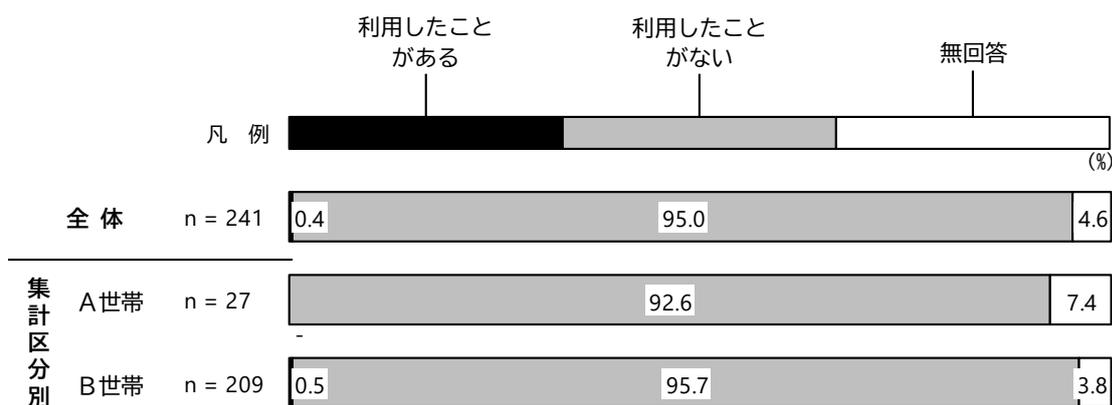
■工 児童扶養手当

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【工 児童扶養手当】では、「利用したことがある」が15.4%、「利用したことがない」が81.3%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用したことがある」(29.6%)が16.2ポイント高く、「利用したことがない」(63.0%)が21.2ポイント低くなっています。



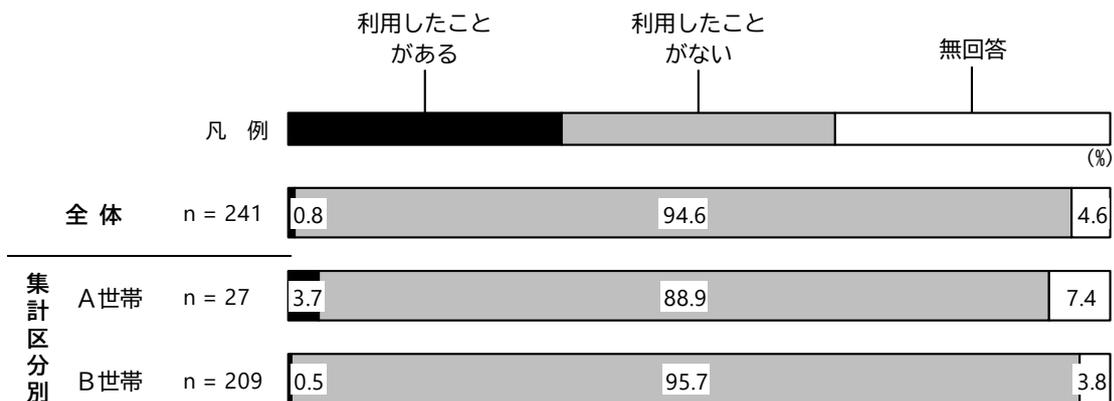
■オ 母子父子寡婦福祉資金貸付

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【オ 母子父子寡婦福祉資金貸付】では、「利用したことがある」が0.4%、「利用したことがない」が95.0%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



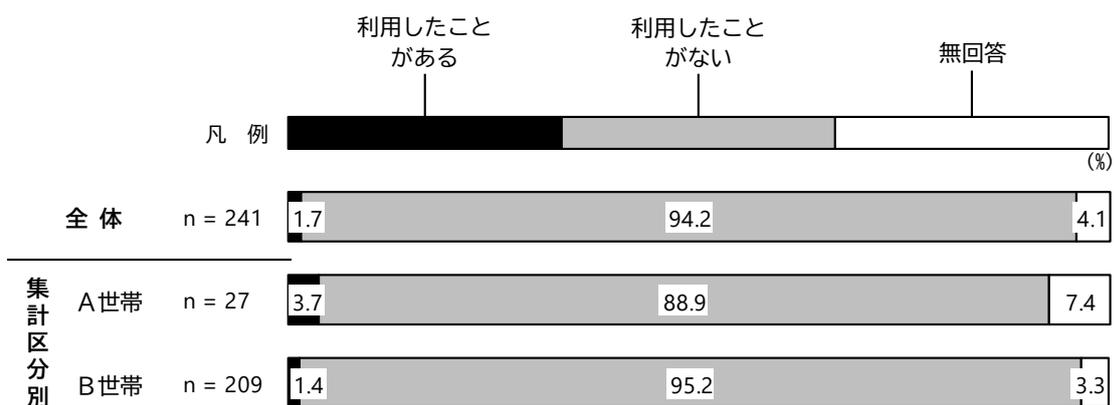
■カ 生活福祉資金貸付

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【カ 生活福祉資金貸付】では、「利用したことがある」が0.8%、「利用したことがない」が94.6%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用したことがない」(88.9%)がやや低くなっています。



■キ フードバンク

- ▶ 公的支援制度の利用経験の有無について、【キ フードバンク】では、「利用したことがある」が1.7%、「利用したことがない」が94.2%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用したことがない」(88.9%)がやや低くなっています。

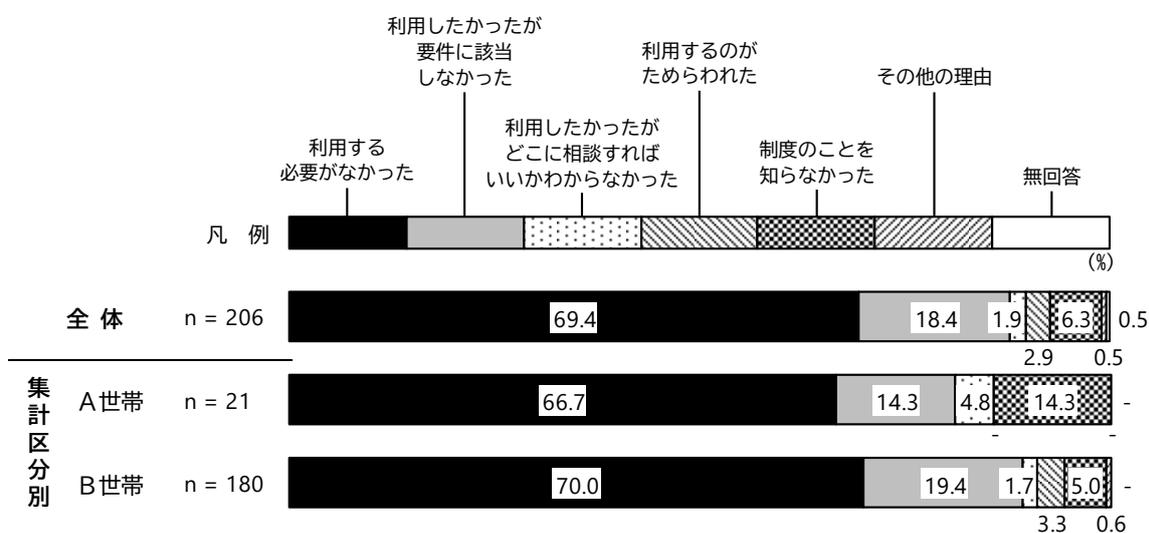


II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

【利用したことがない理由】 ※特に該当するもの1つに○

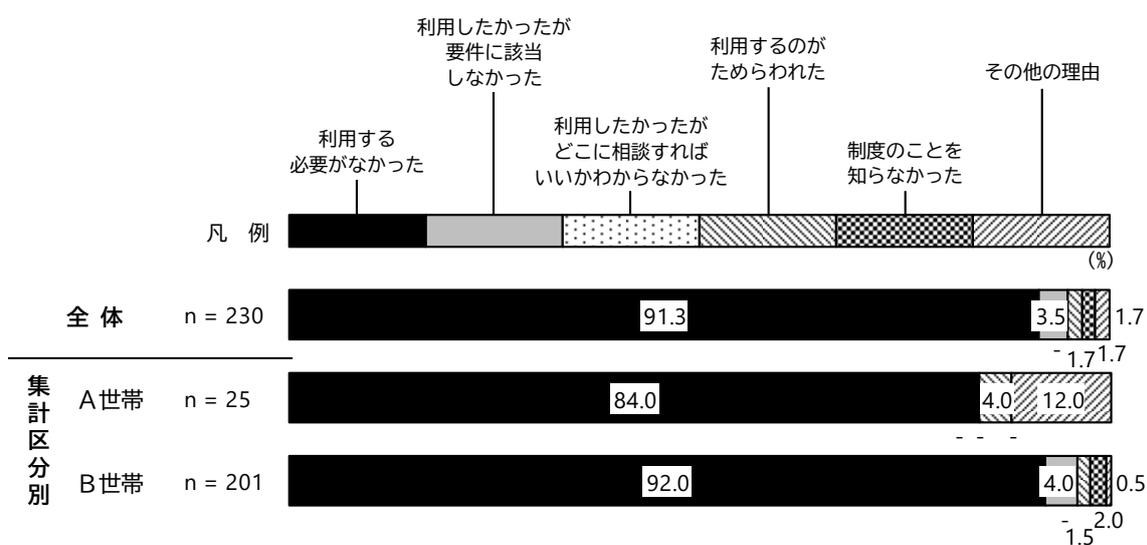
■ア 就学援助

- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【ア 就学援助】では、「利用する必要がなかった」が69.4%と最も高く、次いで、「利用したかったが要件に該当しなかった」(18.4%)、「制度のことを知らなかった」(6.3%)、「利用するのがためらわれた」(2.9%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「制度のことを知らなかった」(14.3%)がやや高く、「利用したかったが要件に該当しなかった」(14.3%)がやや低くなっています。



■イ 生活保護

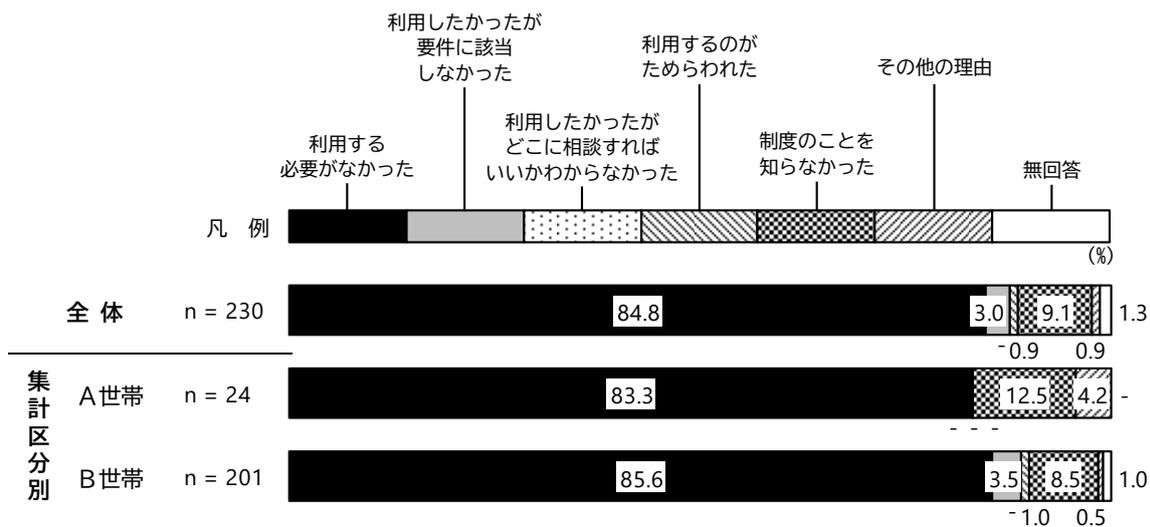
- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【イ 生活保護】では、「利用する必要がなかった」が91.3%と最も高く、次いで、「利用したかったが要件に該当しなかった」(3.5%)、「利用するのがためらわれた」、「制度のことを知らなかった」(いずれも1.7%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用する必要がなかった」(84.0%) がやや低くなっています。なお、『A世帯』では『B世帯』と比べて「その他の理由」(12.0%) が11.5ポイント高くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

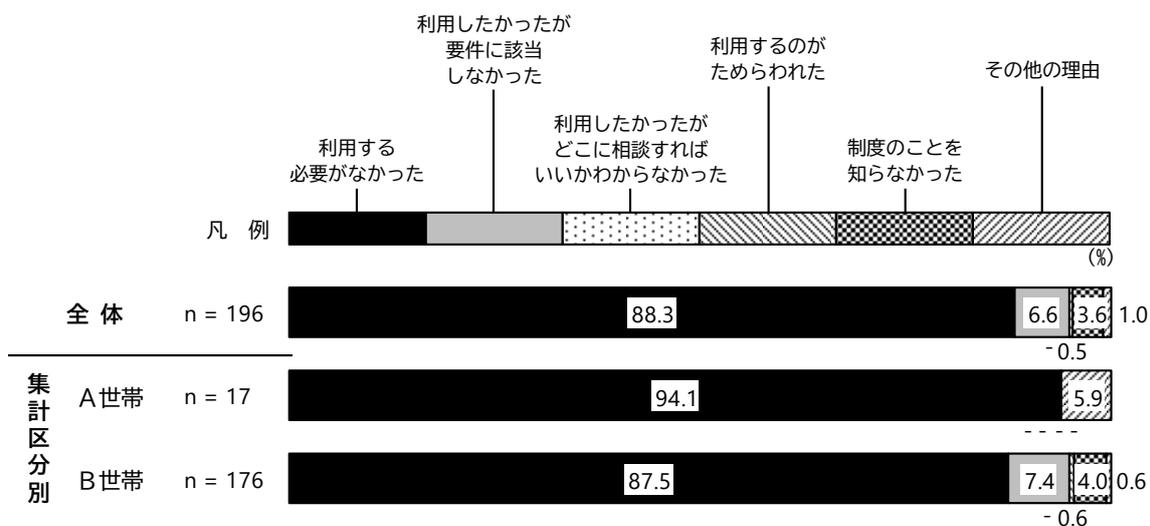
■ウ 生活困窮者自立支援制度

- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【ウ 生活困窮者自立支援制度】では、「利用する必要がなかった」が84.8%と最も高く、次いで、「制度のことを知らなかった」(9.1%)、「利用したかったが要件に該当しなかった」(3.0%)、「利用するのがためらわれた」(0.9%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



■工 児童扶養手当

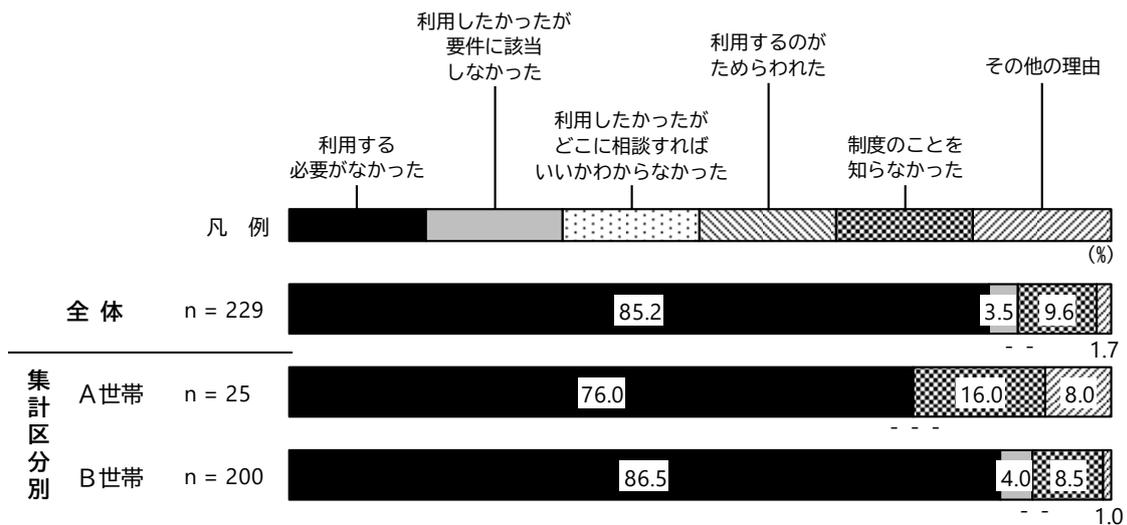
- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【工 児童扶養手当】では、「利用する必要がなかった」が88.3%と最も高く、次いで、「利用したかったが要件に該当しなかった」(6.6%)、「制度のことを知らなかった」(3.6%)、「利用するのがためらわれた」(0.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用する必要がなかった」(94.1%)がやや高く、『B世帯』で7.4%となった「利用したかったが要件に該当しなかった」は回答がありませんでした。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

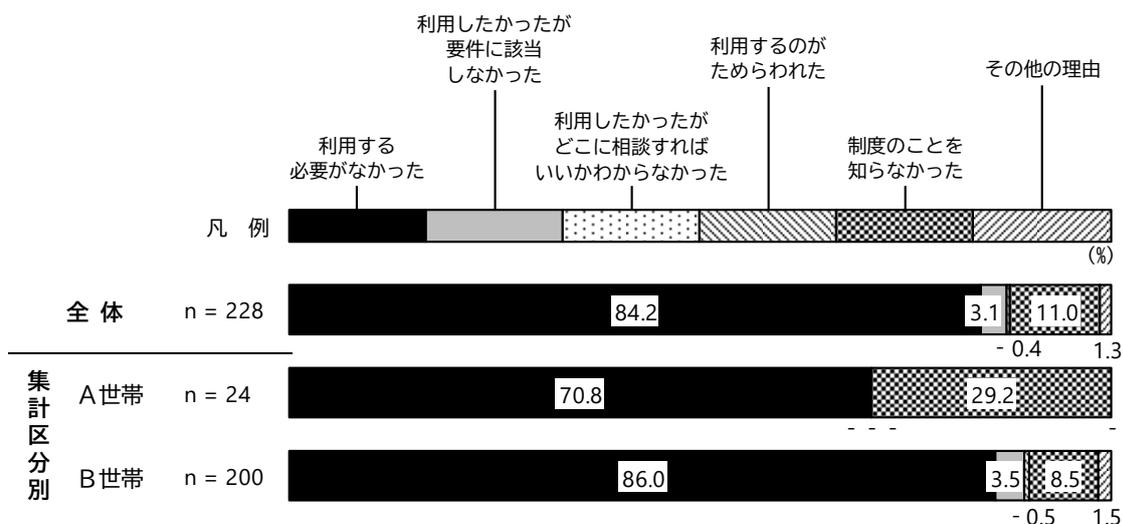
■オ 母子父子寡婦福祉資金貸付

- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【オ 母子父子寡婦福祉資金貸付】では、「利用する必要がなかった」が85.2%と最も高く、次いで、「制度のことを知らなかった」(9.6%)、「利用したかったが要件に該当しなかった」(3.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「利用する必要がなかった」(76.0%)が10.5ポイント低くなっています。



■カ 生活福祉資金貸付

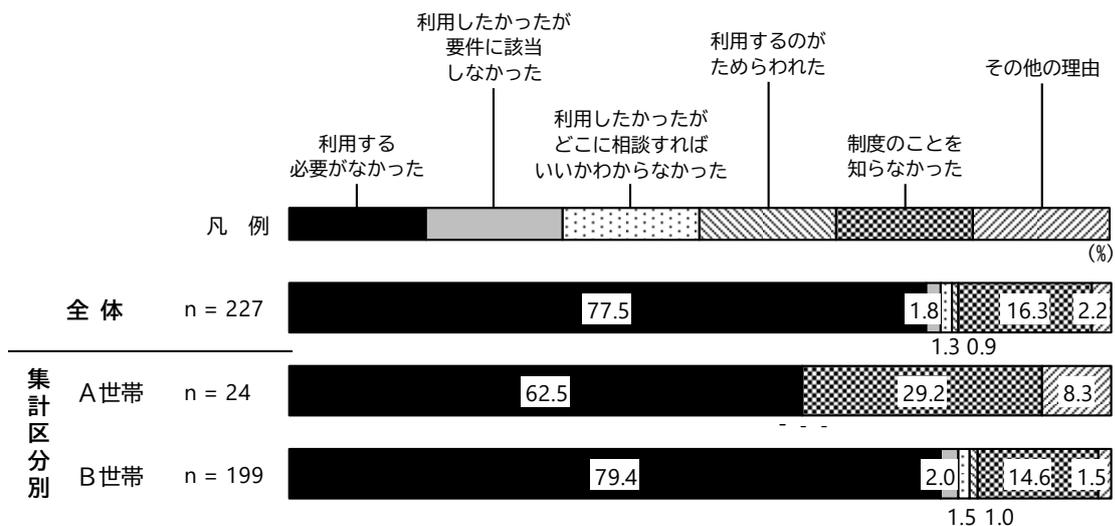
- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【カ 生活福祉資金貸付】では、「利用する必要がなかった」が84.2%と最も高く、次いで、「制度のことを知らなかった」(11.0%)、「利用したかったが要件に該当しなかった」(3.1%)、「利用するのがためらわれた」(0.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「制度のことを知らなかった」(29.2%)が20.7ポイント高く、「利用する必要がなかった」(70.8%)が15.2ポイント低くなっています。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

■キ フードバンク

- ▶ 公的支援制度を利用したことがない理由について、【キ フードバンク】では、「利用する必要がなかった」が 77.5%と最も高く、次いで、「制度のことを知らなかった」(16.3%)、「利用したかったが要件に該当しなかった」(1.8%)、「利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった」(1.3%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「制度のことを知らなかった」(29.2%)が14.6ポイント高く、「利用する必要がなかった」(62.5%)が16.9ポイント低くなっています。



5-2 子育て支援・生活支援の充実に必要だと思うこと

問 23 あなたは、子育て支援や生活支援について、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- ▶ 子育て支援・生活支援の充実に必要だと思うことについては、「大学進学にかかる費用の負担軽減」が72.6%と最も高く、次いで、「児童手当の拡充」(67.2%)、「進学のための奨学金等の充実」(64.3%)、「医療費等の負担軽減」(32.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「大学進学にかかる費用の負担軽減」(59.3%)、「医療費等の負担軽減」(18.5%)、「出産等の経済負担の軽減」(11.1%)が約11~16ポイント低くなっています。

(%)

		n	大学進学にかかる費用の負担軽減	児童手当の拡充	進学のための奨学金等の充実	医療費等の負担軽減	就学援助の充実	住宅支援の充実	職場の理解促進	出産等の経済負担の軽減	や仕事で勤務が遅くなる場合の保育	病児・病後児保育の充実
全体		241	72.6	67.2	64.3	32.4	32.0	24.9	24.9	21.2	19.1	18.7
区 集 分 計	A世帯	27	59.3	66.7	63.0	18.5	33.3	22.2	25.9	11.1	11.1	14.8
	B世帯	209	75.1	67.9	65.1	33.5	31.6	25.4	24.9	22.5	20.1	19.1

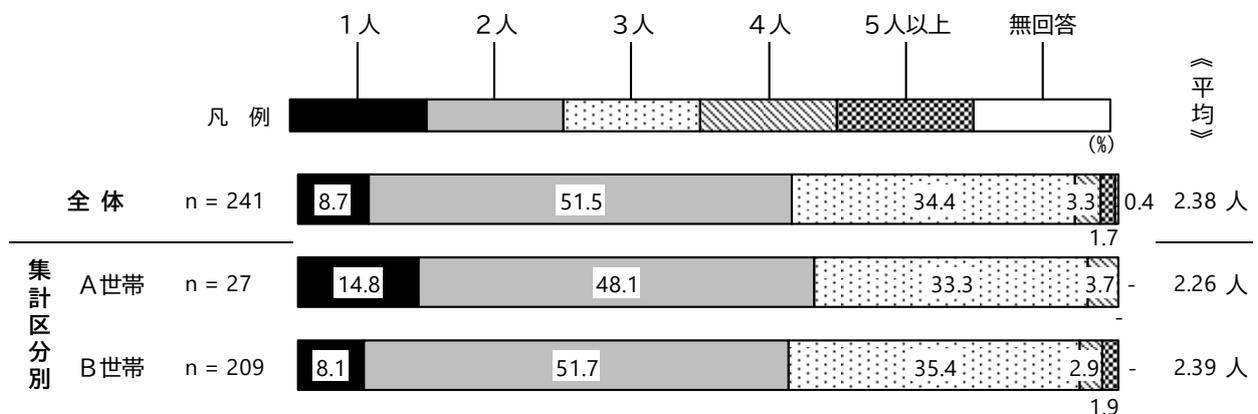
※上位10項目を抜粋して掲載しています。

5-3 現在のこどもの人数

問 24 現在のこどもの人数をお答えください。

※生計を同一にしていない子どもを含めた人数を回答してください。

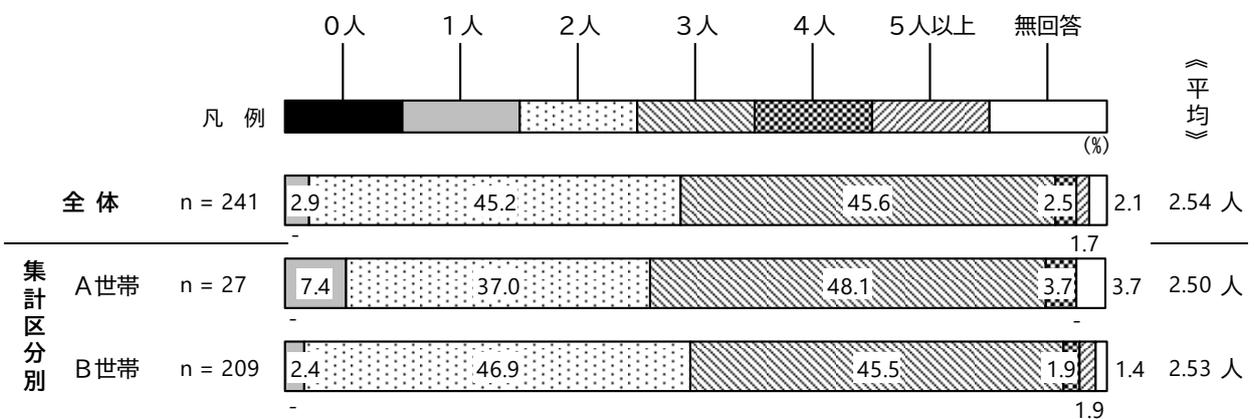
- ▶ 現在のこどもの人数については、「2人」が51.5%と最も高く、次いで、「3人」(34.4%)、「1人」(8.7%)、「4人」(3.3%)となっています。なお、平均人数は2.38人となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「1人」(14.8%)がやや高くなっています。平均人数については、『A世帯』が2.26人、『B世帯』が2.39人となっています。



5-4 理想のこどもの人数

問 25 あなたにとっての、理想のこどもの人数をお答えください。

- ▶ 理想のこどもの人数については、「3人」が45.6%と最も高く、次いで、「2人」(45.2%)、「1人」(2.9%)、「4人」(2.5%)となっています。なお、平均人数は2.54人となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「2人」(37.0%)が約10ポイント低くなっています。また、「1人」(7.4%)がやや高くなっています。平均人数については、『A世帯』が2.50人、『B世帯』が2.53人となっています。



5-5 現在と理想のこどもの人数差を解消するために必要なサポート

【現在のこどもの人数（問 24）が理想のこどもの人数（問 25）よりも少ない方にお聞きします。それ以外の方は問 27 にお進みください】

問 26 現在のこどもの人数と、理想のこどもの人数の差を解消するために、どのようなサポートが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

- ▶ 現在と理想のこどもの人数差を解消するために必要なサポートについては、「子育てや教育に関する経済的負担の解決」が 44.2%と最も高く、次いで、「健康上の理由や年齢の問題で持てない」(38.5%)、「職場の理解や子育てに柔軟な働き方の促進」(34.6%)、「自分の時間がとれるような子育てへの手助け支援の充実」(30.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「気軽に遊べる場所の充実」(28.6%)が 14.6 ポイント高く、「子育てや教育に関する経済的負担の解決」(28.6%)、「健康上の理由や年齢の問題で持てない」(28.6%)、「職場の理解や子育てに柔軟な働き方の促進」(14.3%)、「家庭内での男性の子育て参加」(14.3%)が約 11~25 ポイント低くなっています。
『A世帯』における「その他」の具体的な内容としては、「病児・病後児の保育支援、仕事で帰宅が遅い場合の保育支援の充実」、「不妊治療費用の支援」などとなっています。

(%)

		n	的子育てや教育に関する経済的負担の解決	で健康上の理由や年齢の問題	な職場の理解や子育てに柔軟な働き方の促進	実子育てへの時間の手助け支援の充実	加家庭内での男性の子育て参加	気軽に遊べる場所の充実	の隣居、近居のための住宅への支援	その他	無回答
全体		52	44.2	38.5	34.6	30.8	23.1	15.4	5.8	7.7	13.5
区 集 分 別 計	A世帯	7	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	-	28.6	28.6
	B世帯	43	48.8	39.5	39.5	32.6	25.6	14.0	4.7	2.3	11.6

5-6 夫婦での家事の役割分担

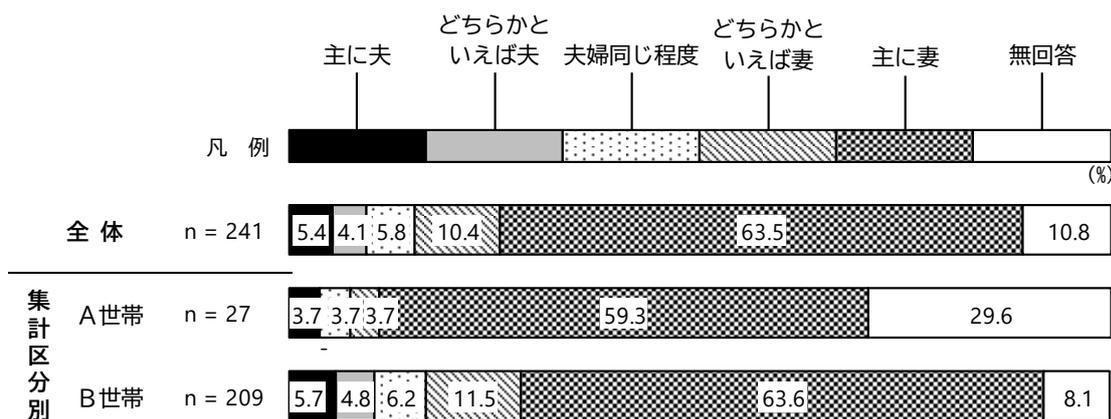
問 27 あなたのご家庭では、夫婦で以下のような家事はどのように役割分担されていますか。

※ご家庭の状況により、回答が難しい場合は空欄のままで差し支えありません。

(ア～キそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

■ア 朝食づくり

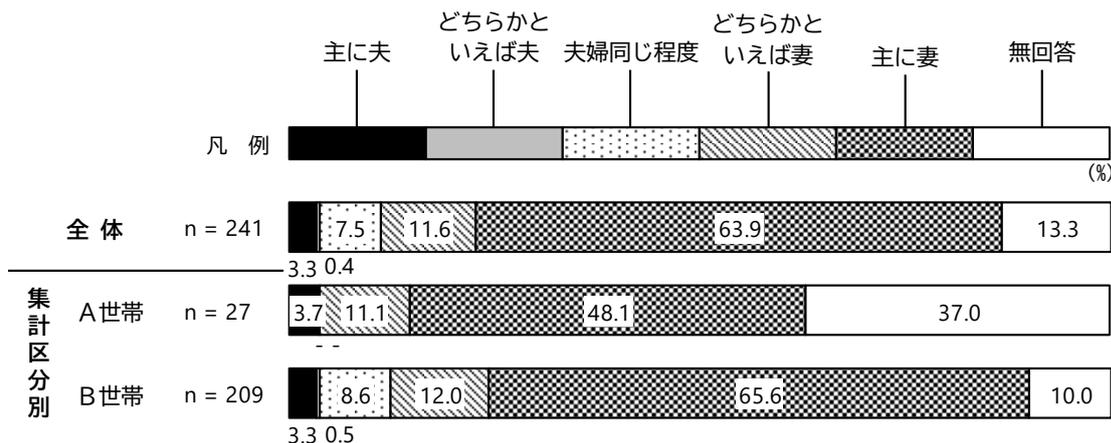
- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【ア 朝食づくり】では、「主に妻」が63.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば妻」(10.4%)、「夫婦同じ程度」(5.8%)、「主に夫」(5.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえば妻」(3.7%)がやや低くなっています。なお、『A世帯』では「無回答」が29.6%となりました。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

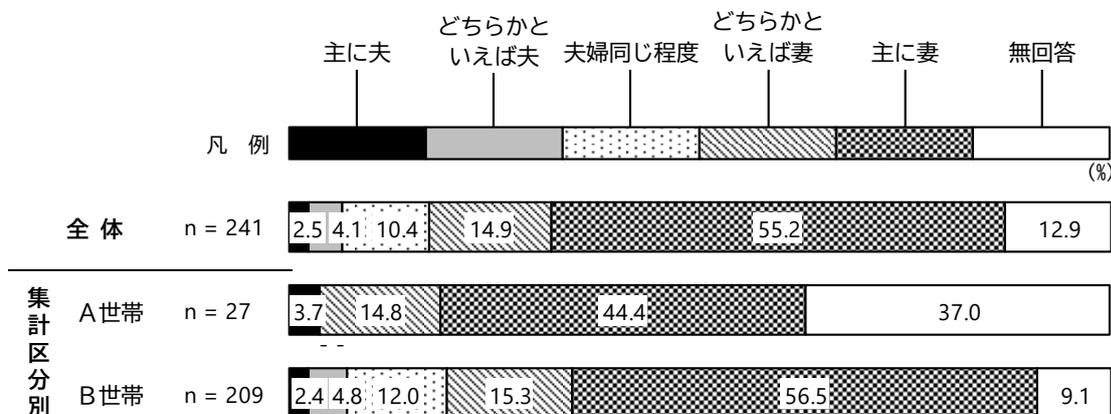
■イ 昼食づくり（弁当含む）

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【イ 昼食づくり（弁当含む）】では、「主に妻」が63.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば妻」（11.6%）、「夫婦同じ程度」（7.5%）、「主に夫」（3.3%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「主に妻」（48.1%）が17.5ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では「無回答」が37.0%となりました。



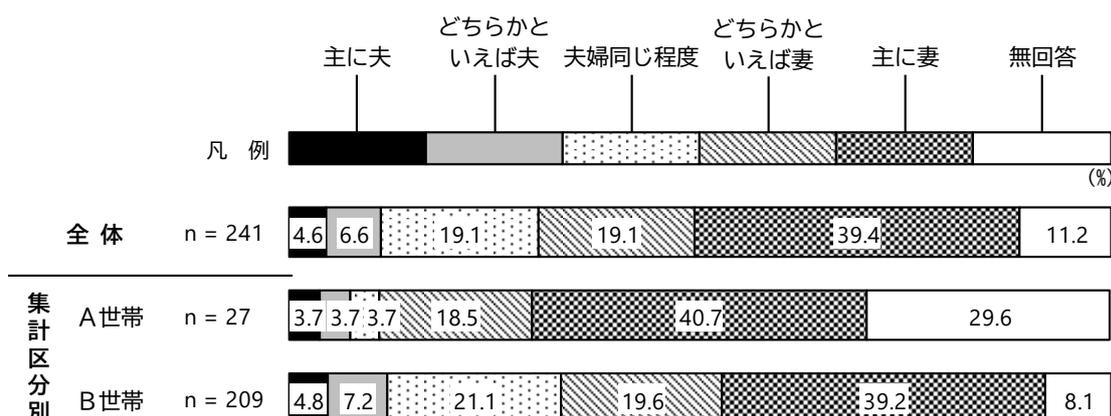
■ウ 夕食づくり

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【ウ 夕食づくり】では、「主に妻」が55.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば妻」（14.9%）、「夫婦同じ程度」（10.4%）、「どちらかといえば夫」（4.1%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「主に妻」（44.4%）が12.1ポイント低く、『B世帯』で12.0%となった「夫婦同じ程度」は回答がありませんでした。なお、『A世帯』では「無回答」が37.0%となりました。



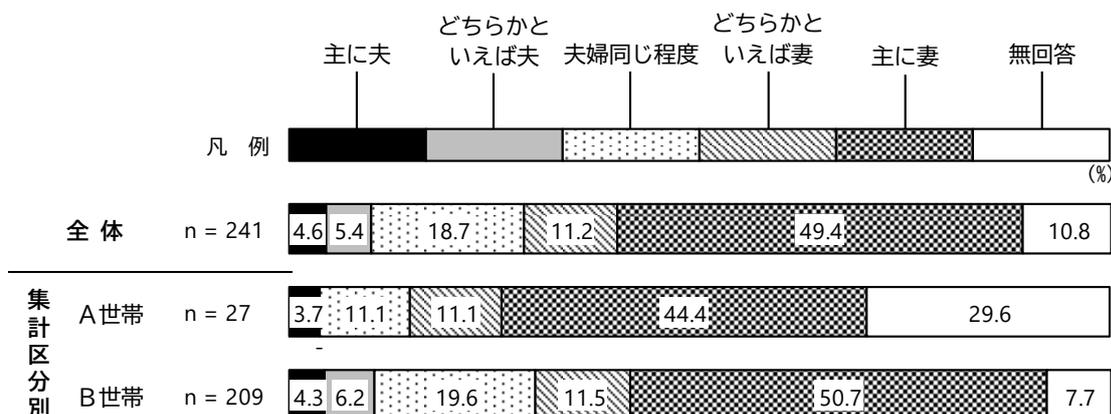
■工 食事の片付け、食器洗い

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【工 食事の片付け、食器洗い】では、「主に妻」が39.4%と最も高く、次いで、「夫婦同じ程度」、「どちらかといえば妻」（いずれも19.1%）、「どちらかといえば夫」（6.6%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「夫婦同じ程度」（3.7%）が17.4ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では「無回答」が29.6%となりました。



■オ 洗濯

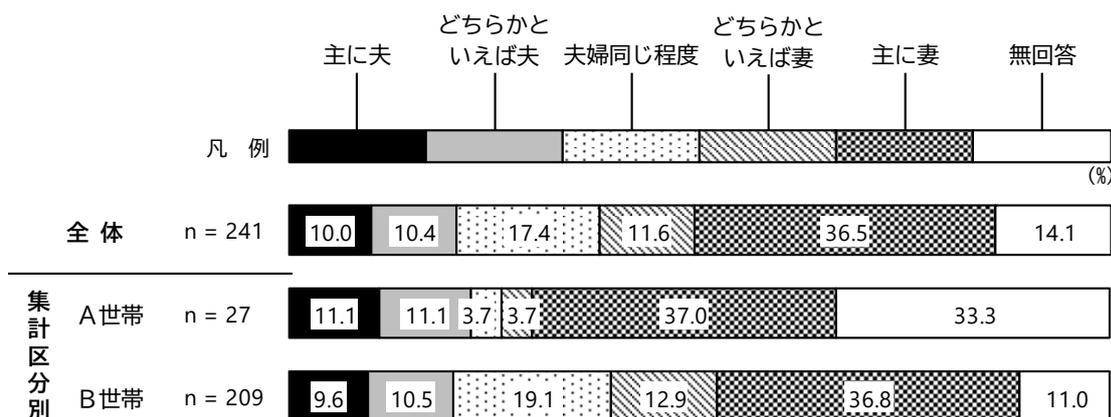
- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【オ 洗濯】では、「主に妻」が49.4%と最も高く、次いで、「夫婦同じ程度」（18.7%）、「どちらかといえば妻」（11.2%）、「どちらかといえば夫」（5.4%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「夫婦同じ程度」（11.1%）、「主に妻」（44.4%）がやや低く、『B世帯』で6.2%となった「どちらかといえば夫」は回答がありませんでした。なお、『A世帯』では「無回答」が29.6%となりました。



II こどもの生活実態に関する調査 調査結果

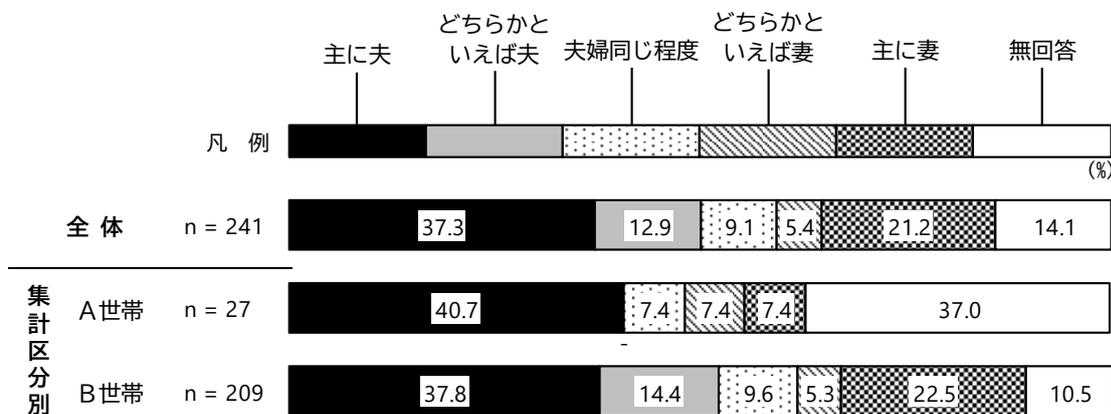
■カ お風呂の準備・掃除

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【カ お風呂の準備・掃除】では、「主に妻」が36.5%と最も高く、次いで、「夫婦同じ程度」(17.4%)、「どちらかといえば妻」(11.6%)、「どちらかといえば夫」(10.4%)となっています。
- ▶ 集計区別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「夫婦同じ程度」(3.7%)が15.4ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では「無回答」が33.3%となりました。



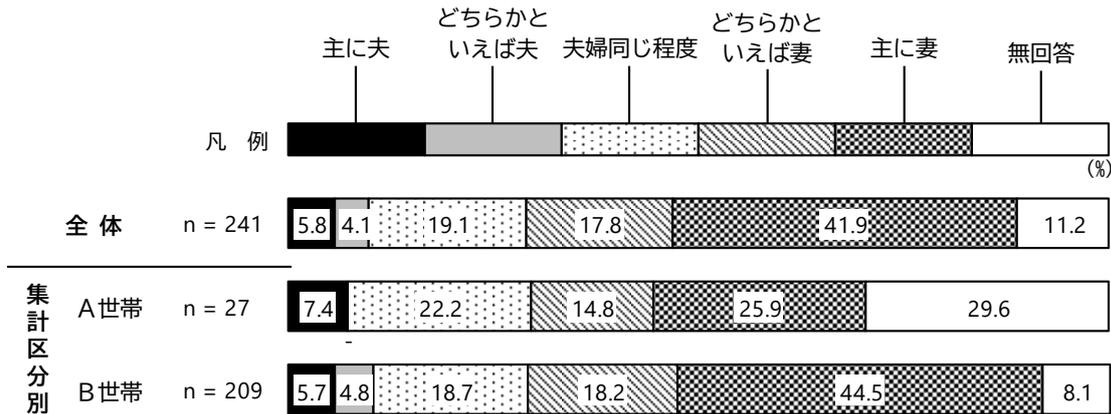
■キ ゴミ出し

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【キ ゴミ出し】では、「主に夫」が37.3%と最も高く、次いで、「主に妻」(21.2%)、「どちらかといえば夫」(12.9%)、「夫婦同じ程度」(9.1%)となっている。
- ▶ 集計区別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「主に妻」(7.4%)が15.1ポイント低く、『B世帯』で14.4%となった「どちらかといえば夫」は回答がありませんでした。なお、『A世帯』では「無回答」が37.0%となりました。



■ク 屋内の掃除

- ▶ 夫婦での家事の役割分担について、【ク 屋内の掃除】では、「主に妻」が41.9%と最も高く、次いで、「夫婦同じ程度」(19.1%)、「どちらかといえば妻」(17.8%)、「主に夫」(5.8%) となっている。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「主に妻」(25.9%) が18.6ポイント低くなっています。なお、『A世帯』では「無回答」が29.6%となりました。



5-7 子育てに関する不安や悩みごとなど（自由意見）

問 28 子育てに関する不安や悩みごとなど、ご意見がございましたら自由にご記入ください。

- ▶ 回答いただいた 43 件について、記述内容に応じて以下の項目に分類したところ、各項目の意見の合計件数は 68 件となりました。
- ▶ 『家計・教育費について』が 23 件と最も多く、物価高騰による家計の厳しさのほか、高校でかかる授業料以外の費用が高いことや、大学進学のためにかかる学費や生活費を心配する意見が多くなっています。次いで、『自身の子どもについて』が 11 件（こどもの学力不足を心配する意見など）、『学校について』が 9 件（学校生活や登下校時の交通手段についての意見など）となっています。

項目	件数	
家計・教育費について	23	
自身の子どもについて	11	
学校について	9	
家族・家庭について	8	
教育について	8	
子育てについて	6	
特にない	3	
意見数計	68	

※2つ以上の項目にまたがる意見はそれぞれの項目に分類しています。

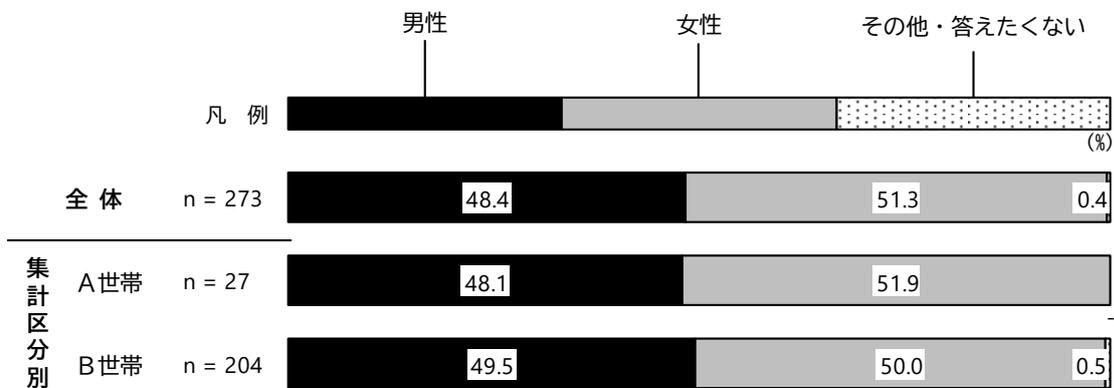
B こども調査結果

1 あなたのことについて

1-1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

- ▶ 性別については、「男性」が48.4%、「女性」が51.3%、「その他・答えたくない」が0.4%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



1-2 同居家族

問2 あなたが、いっしょに住んでいる人はだれですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 同居家族については、「お母さん」が97.1%と最も高く、次いで、「お父さん」(86.4%)、「兄弟姉妹」(84.2%)、「おじいさん・おばあさん」(45.8%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「おじいさん・おばあさん」(55.6%)が10.5ポイント高く、「お父さん」(74.1%)が12.7ポイント低くなっています。

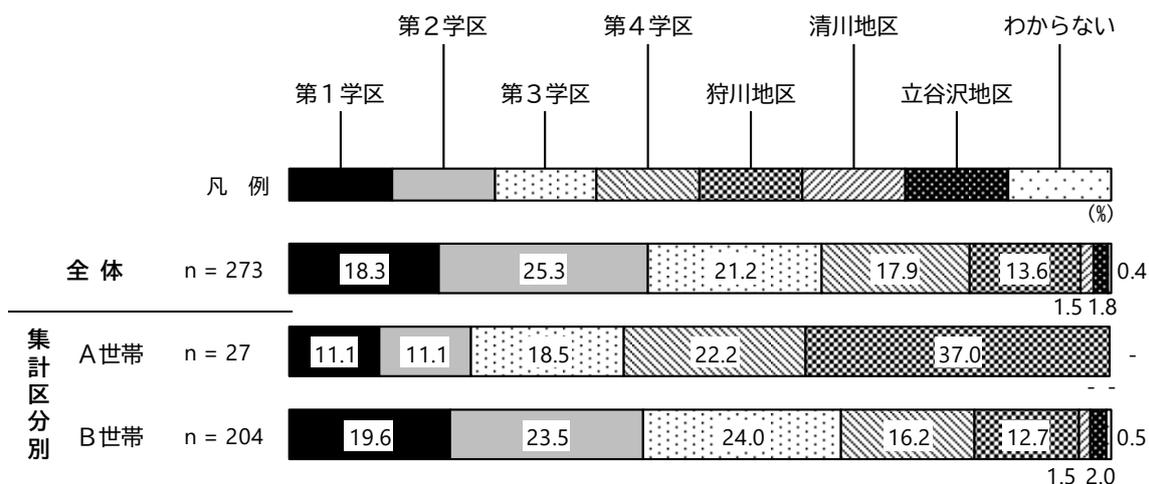
(%)

		n	お母さん	お父さん	兄弟姉妹	おじいさん・おばあさん	その他
全体		273	97.1	86.4	84.2	45.8	8.4
区 分 別 集 計	A世帯	27	92.6	74.1	85.2	55.6	7.4
	B世帯	204	98.0	86.8	83.8	45.1	7.8

1-3 居住学区

問3 あなたの学区はどこですか。

- ▶ 居住学区については、「第2学区」が25.3%と最も高く、次いで、「第3学区」(21.2%)、「第1学区」(18.3%)、「第4学区」(17.9%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「狩川地区」(37.0%)が24.3ポイント高く、「第2学区」(11.1%)が12.4ポイント低くなっています。



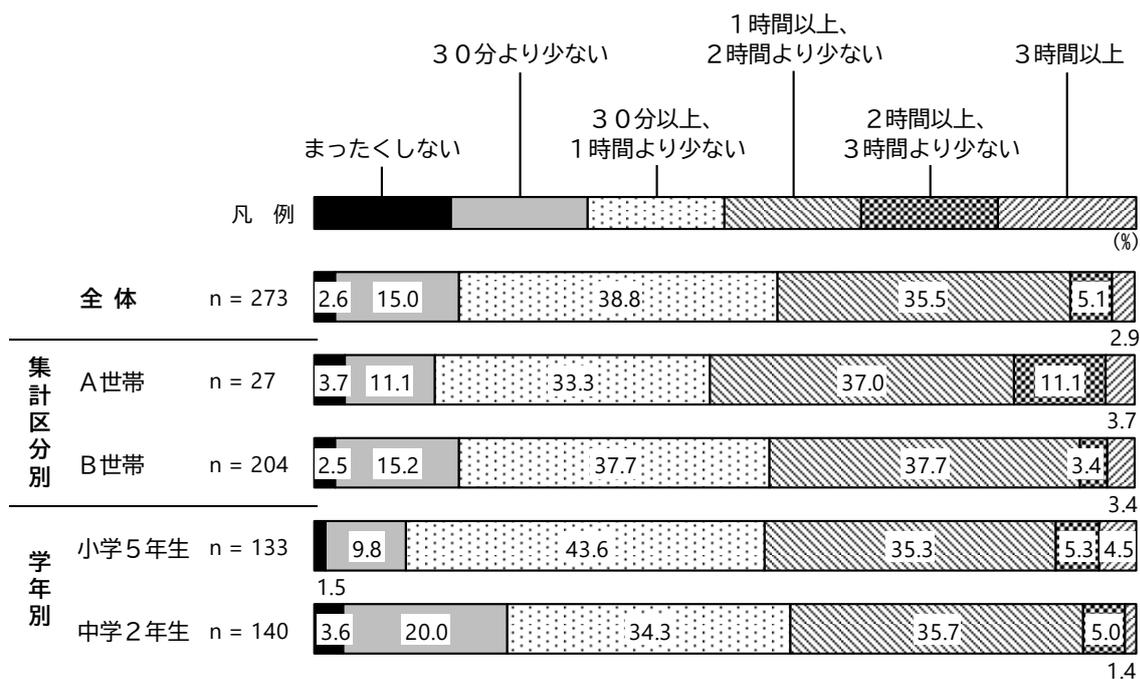
2 ふだんの生活や勉強について

2-1 一日の勉強時間

問4 あなたは学校がある日（月～金曜日）、学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

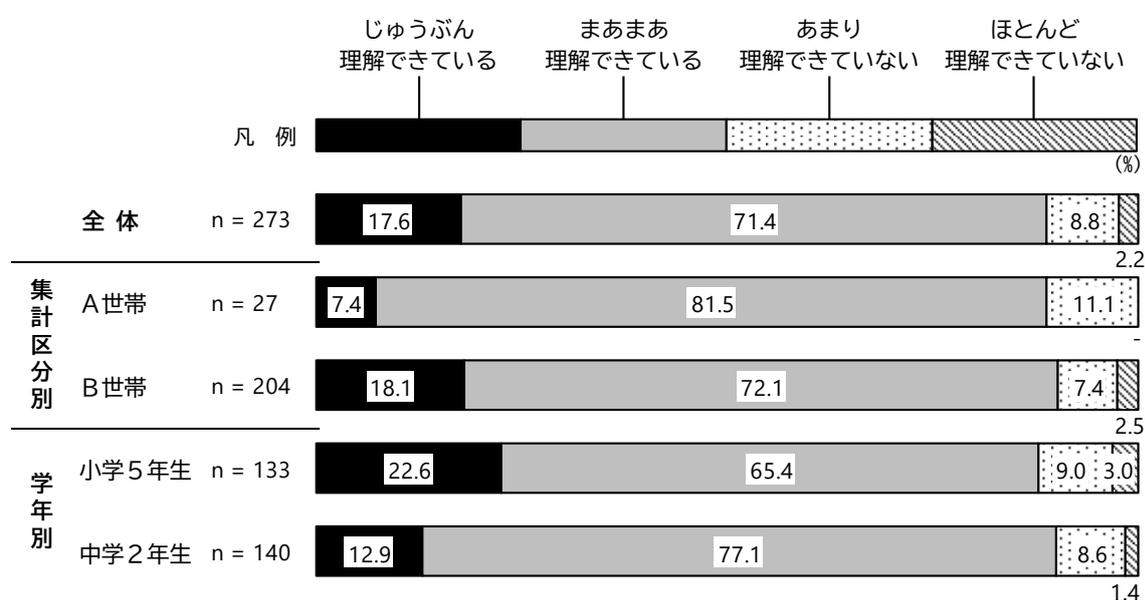
- ▶ 一日の勉強時間については、「30分以上、1時間より少ない」が38.8%と最も高く、次いで、「1時間以上、2時間より少ない」(35.5%)、「30分より少ない」(15.0%)、「2時間以上、3時間より少ない」(5.1%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「2時間以上、3時間より少ない」(11.1%)がやや高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「30分より少ない」(20.0%)が10.2ポイント高くなっています。



2-2 授業の理解度

問5 あなたは、学校の授業がわからないことはありますか。

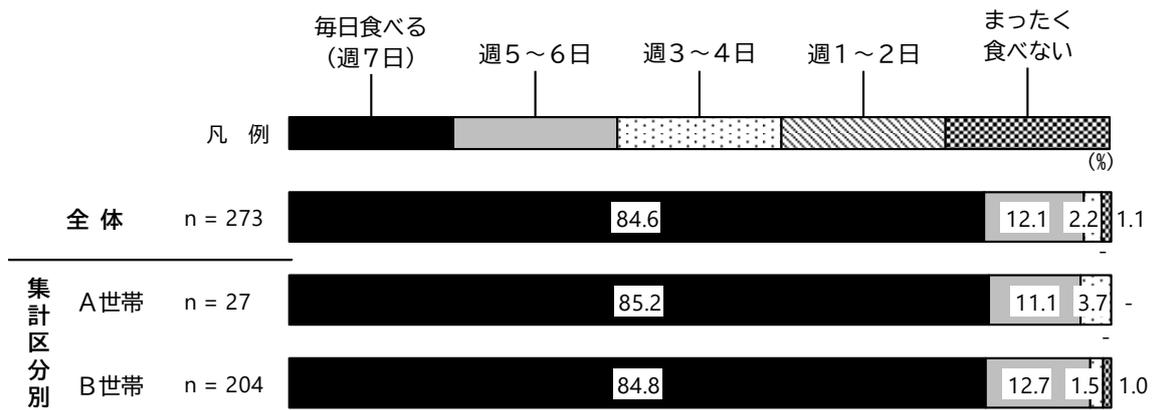
- ▶ 授業の理解度については、「まあまあ理解できている」が71.4%と最も高く、次いで、「じゅうぶん理解できている」(17.6%)、「あまり理解できていない」(8.8%)、「ほとんど理解できていない」(2.2%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「じゅうぶん理解できている」(7.4%)が10.7ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『小学5年生』では「じゅうぶん理解できている」(22.6%)が、『中学2年生』では「まあまあ理解できている」(77.1%)が、もう一方の学年と比べてやや高くなっています。



2-3 一週間のうち何日朝食を食べるか

問6 1週間のうち、朝食を食べる日は何日くらいありますか。

- ▶ 一週間のうち何日朝食を食べるかについては、「毎日食べる（週7日）」が84.6%と最も高く、次いで、「週5～6日」（12.1%）、「週3～4日」（2.2%）、「まったく食べない」（1.1%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



2-4 朝食を食べない日がある理由

【問6で、朝食を食べる日が週6日以下とお答えになった方にお聞きします。】

問7 1週間のうち、朝食を食べない日がある理由を教えてください。

(あてはまるものをすべて選んでください)

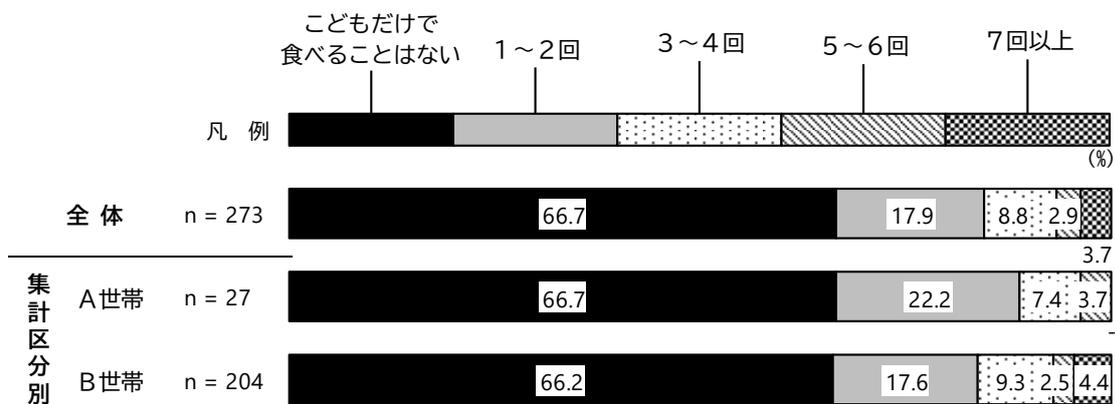
- ▶ 朝食を食べない日がある理由については、「食べる時間がないから」が54.8%と最も高く、次いで、「おなかがすいていないから」(42.9%)、「ダイエットをしているから」、「朝食が用意されていないから」、「食べる習慣がないから」(いずれも2.4%)となっています。なお、「その他」が14.3%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『A世帯』では『B世帯』で58.1%となった「食べる時間がないから」は回答がありませんでした。『A世帯』における「その他」の具体的な内容としては、「休日は起床時間が遅いから」となっています。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「おなかがすいていないから」(50.0%)が11.5ポイント高くなっています。

		n	食べる時間がないから	おなかがすいていないから	ダイエットをしているから	朝食が用意されていないから	食べる習慣がないから	その他	わからない
全体		42	54.8	42.9	2.4	2.4	2.4	14.3	4.8
区 分 集 計	A世帯	4	-	50.0	-	-	-	25.0	25.0
	B世帯	31	58.1	41.9	3.2	3.2	-	9.7	3.2
学 年 別	小学5年生	16	56.3	50.0	6.3	6.3	-	12.5	6.3
	中学2年生	26	53.8	38.5	-	-	3.8	15.4	3.8

2-5 一週間のうち子どもだけで食事をする回数

問8 1週間のうち、子どもだけで食事（朝食・夕食など）をする回数は何回くらいありますか。

- ▶ 一週間のうち子どもだけで食事をする回数については、「子どもだけで食べることはない」が66.7%と最も高く、次いで、「1～2回」(17.9%)、「3～4回」(8.8%)、「7回以上」(3.7%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



2-6 こどもだけで食事をする日がある理由

【問8で、こどもだけで食事をする回数が1回以上とお答えになった方にお聞きします。】

問9 1週間のうち、こどもだけで食事をする日がある理由を教えてください。

(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ こどもだけで食事をする日がある理由については、「大人が仕事などで家にいないから」が42.9%と最も高く、次いで、「自分が塾や習い事、または部活動やスポーツ少年団などで帰りがおそくなるから」(34.1%)、「大人がほかの家事や仕事でいそがしく、いっしょに食べる時間がないから」(22.0%)、「他の人といっしょに食事をしたくないから」(1.1%)となっています。なお、「その他」が13.2%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「大人がほかの家事や仕事でいそがしく、いっしょに食べる時間がないから」(33.3%)が10.1ポイント高く、「大人が仕事などで家にいないから」(33.3%)が10.2ポイント低くなっています。

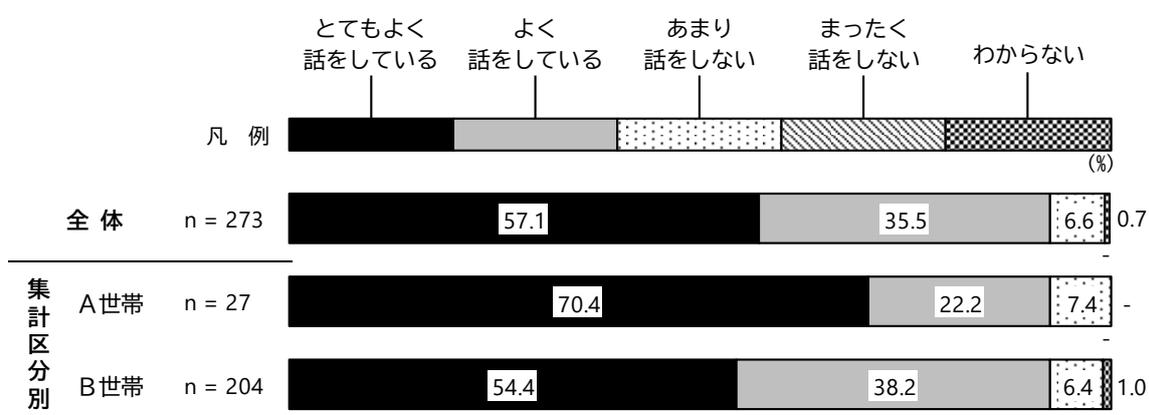
(%)

		n	大人が仕事などで家にいないから	自分が塾や習い事、または部活動やスポーツ少年団などで帰りがおそくなるから	自分が塾や習い事、または部活動やスポーツ少年団などで帰りがおそくなるから	大人がほかの家事や仕事でいそがしく、いっしょに食べる時間がないから	他の人といっしょに食事をしたくないから	その他	わからない
全体		91	42.9	34.1	22.0	1.1	13.2	2.2	
区 分 集 計	A世帯	9	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
	B世帯	69	43.5	31.9	23.2	1.4	15.9	2.9	

2-7 家族とどれくらい会話をしているか

問10 あなたはふだん、ご家族（いっしょに住んでいる人）とどれくらい会話をしますか。

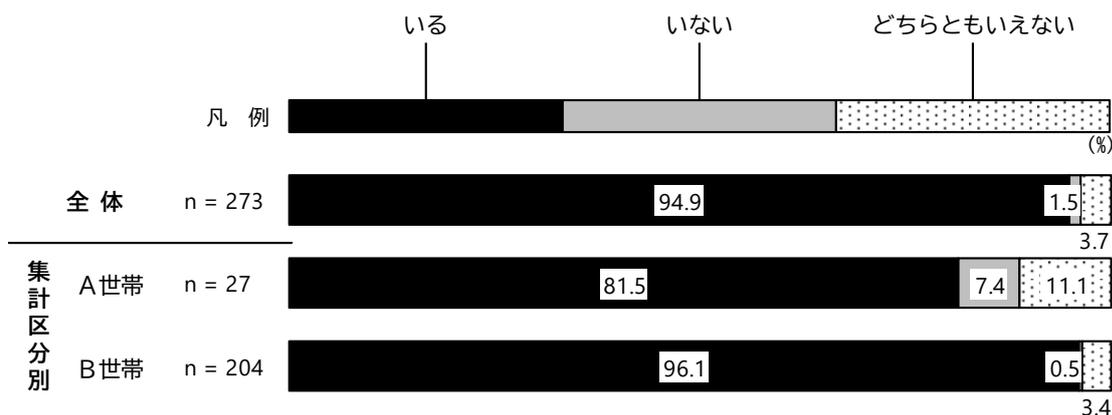
- ▶ 家族とどれくらい会話をしているかについては、「とてもよく話している」が57.1%と最も高く、次いで、「よく話している」(35.5%)、「あまり話をしない」(6.6%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「とてもよく話している」(70.4%)が16.0ポイント高く、「よく話している」(22.2%)が16.0ポイント低くなっています。



2-8 仲が良い友達の有無

問11 あなたは、自分には仲が良い友達がいると思いますか。

- ▶ 仲が良い友達の有無については、「いる」が94.9%、「いない」が1.5%、「どちらともいえない」が3.7%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「いる」(81.5%)が14.6ポイント低くなっています。

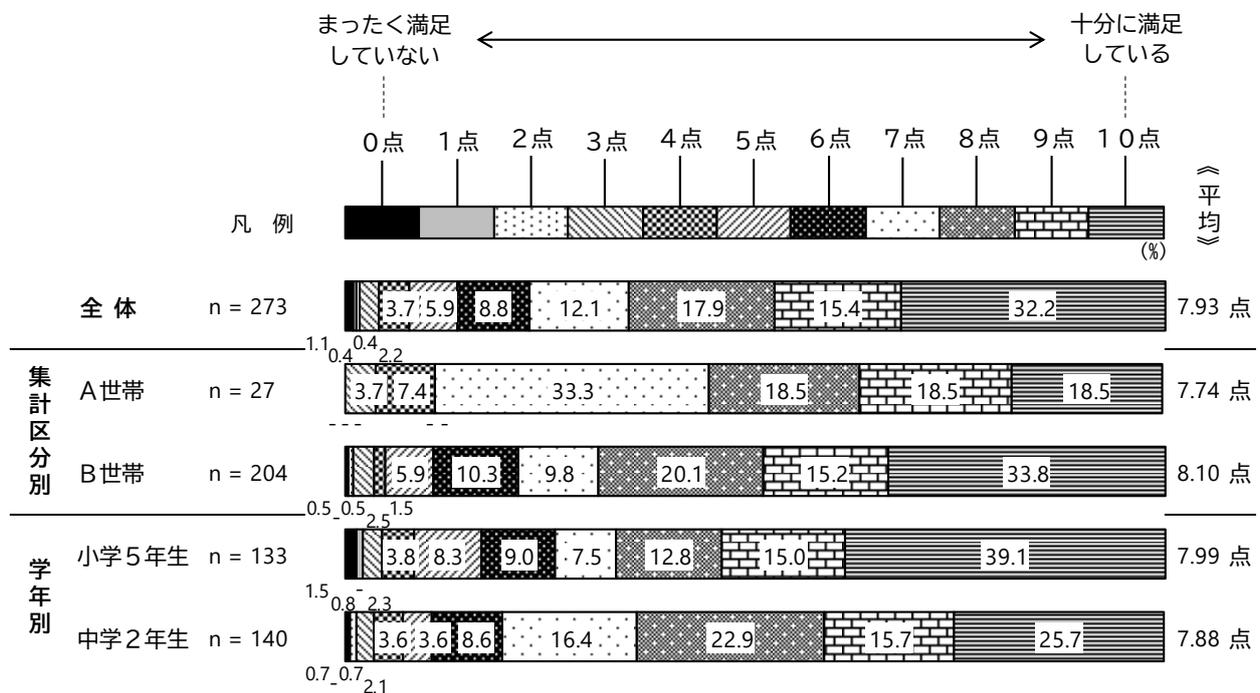


3 ふだん考えていることについて

3-1 最近の生活の満足度

問12 あなたは最近の生活に、どれくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない)から「10点」(十分に満足している)の間で、あてはまる数字を選んでください。

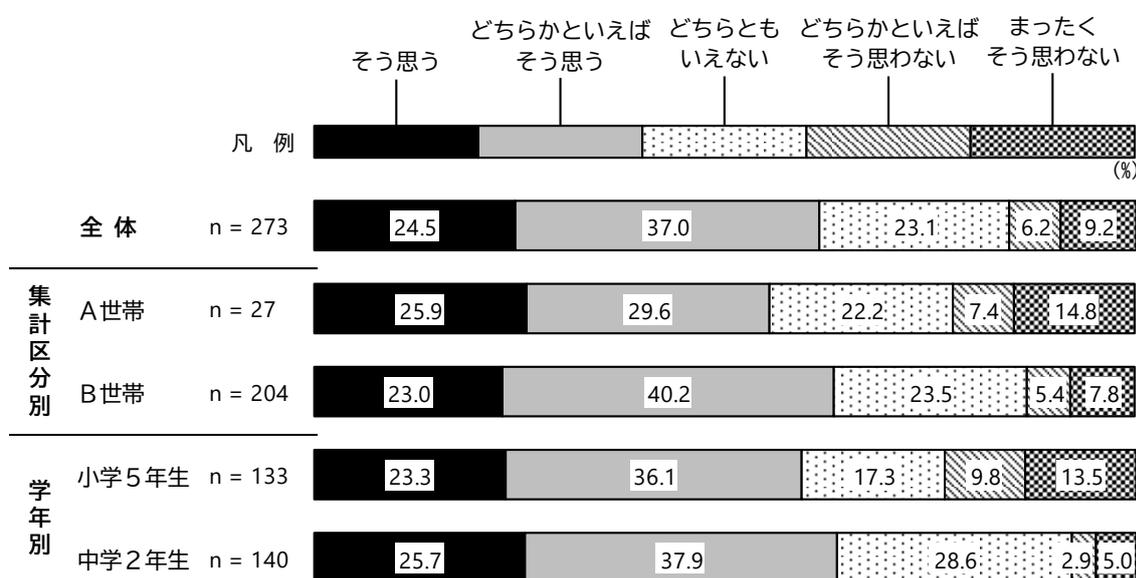
- ▶ 最近の生活の満足度については、「10点(十分に満足している)」が32.2%と最も高く、次いで、「8点」(17.9%)、「9点」(15.4%)、「7点」(12.1%)となっています。なお、平均点は7.93点となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「7点」(33.3%)が23.5ポイント高く、「10点」(18.5%)が15.3ポイント低くなっています。『A世帯』では『B世帯』で10.3%となった「6点」は回答がありませんでした。平均点については、『A世帯』が7.74点、『B世帯』が8.10点となっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では「8点」(22.9%)が10.1ポイント、『小学5年生』では「10点」(39.1%)が13.4ポイント、もう一方の学年と比べて高くなっています。平均点については、『小学5年生』が7.99点、『中学2年生』が7.88点となっています。



3-2 今の自分が好きか

問13 あなたは、今の自分を好きだと思いますか。

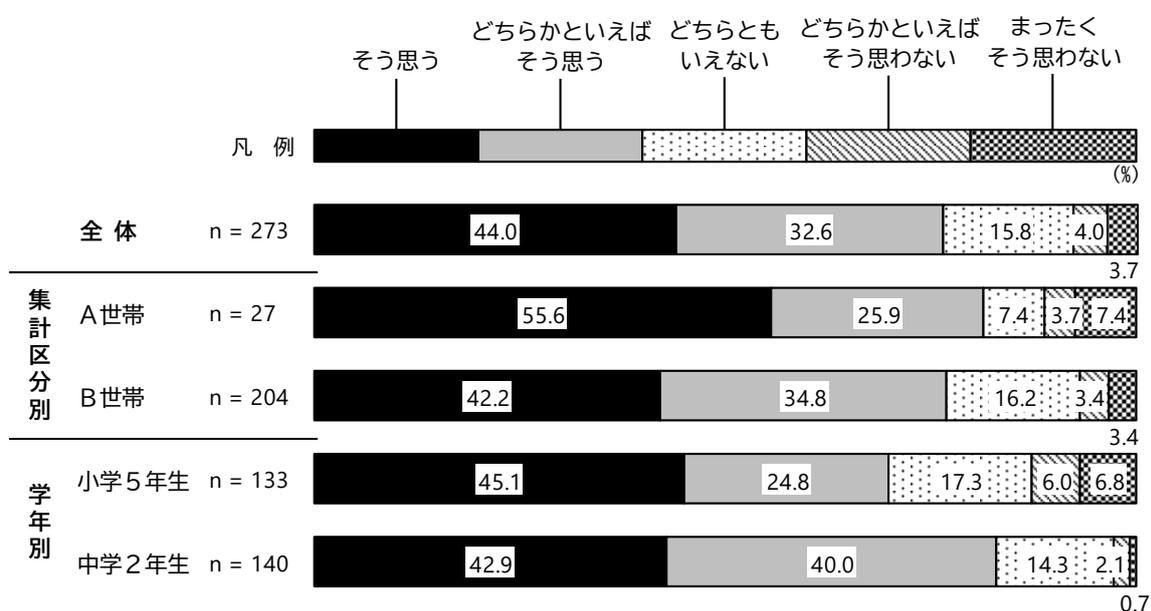
- ▶ 今の自分が好きかについては、「どちらかといえばそう思う」が37.0%と最も高く、次いで、「そう思う」(24.5%)、「どちらともいえない」(23.1%)、「まったくそう思わない」(9.2%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえばそう思う」(29.6%)が10.6ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「どちらともいえない」(28.6%)が11.3ポイント高くなっています。



3-3 自分には「自分らしさ」があると思うか

問14 あなたは、あなたに「自分らしさ」があると思いますか。

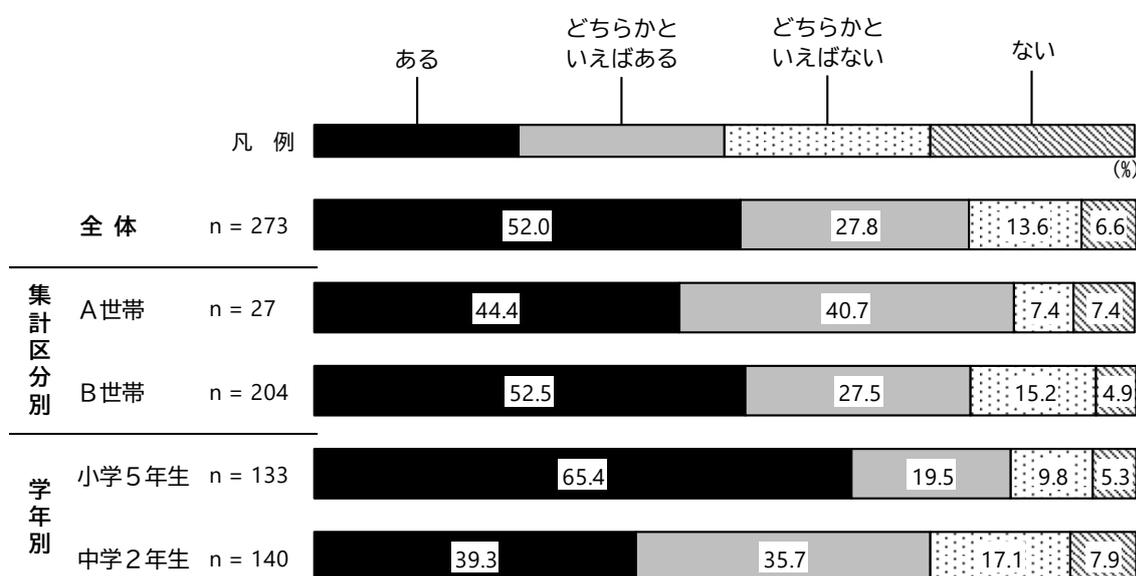
- ▶ 自分には「自分らしさ」があると思うかについては、「そう思う」が44.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(32.6%)、「どちらともいえない」(15.8%)、「どちらかといえばそう思わない」(4.0%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「そう思う」(55.6%)が13.4ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「どちらかといえばそう思う」(40.0%)が15.2ポイント高くなっています。



3-4 将来の夢や目標

問 15 将来の夢や、目標はありますか。

- ▶ 将来の夢や目標については、「ある」が52.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえばある」(27.8%)、「どちらかといえばない」(13.6%)、「ない」(6.6%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえばある」(40.7%)が13.2ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では「ある」(65.4%)が26.1ポイント、『中学2年生』では「どちらかといえばある」(35.7%)が16.2ポイント、もう一方の学年と比べて高くなっています。

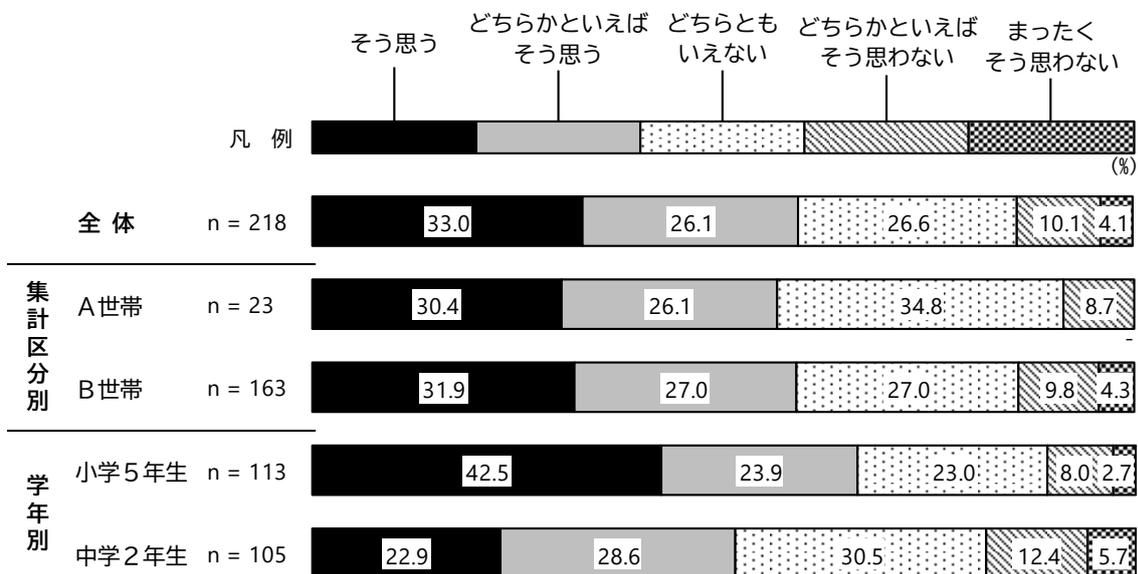


3-5 庄内町は夢や目標をかなえられる場所だと思うか

【問 15 で、「ある」「どちらかといえばある」とお答えになった方にお聞きします。】

問 16 庄内町は、あなたの将来の夢や目標を、かなえられる場所だと思いますか。

- ▶ 庄内町は夢や目標をかなえられる場所だと思うかについては、「そう思う」が 33.0%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」(26.6%)、「どちらかといえばそう思う」(26.1%)、「どちらかといえばそう思わない」(10.1%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらともいえない」(34.8%)がやや高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「そう思う」(42.5%)が 19.6ポイント高くなっています。



3-6 将来の夢や目標がない理由

【問 15 で、「どちらかといえばない」「ない」とお答えになった方にお聞きします。】

問 17 将来の夢や目標が、ない理由を教えてください。

- ▶ 将来の夢や目標がない理由については、「理想のくらしが思いうかばないから」が 34.5% と最も高く、次いで、「好きなことや得意なことがわからないから」(30.9%)、「どんな職業があるかわからないから」(27.3%)、「夢をかなえるのがむずかしいと思うから」(18.2%) となっています。なお、「わからない」が 27.3% となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、調査数に差があることに留意が必要ですが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「理想のくらしが思いうかばないから」(50.0%)、「どんな職業があるかわからないから」(50.0%) が約 13~18 ポイント高くなっています。『A世帯』では『B世帯』で 17.1% となった「夢をかなえるのがむずかしいと思うから」、9.8% となった「今のままで満足だから」、29.3% となった「わからない」は回答がありませんでした。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「理想のくらしが思いうかばないから」(45.7%)、「好きなことや得意なことがわからないから」(42.9%)、「どんな職業があるかわからないから」(37.1%) が約 27~33 ポイント高くなっています。一方、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「わからない」(45.0%) が 27.9 ポイント高くなっています。

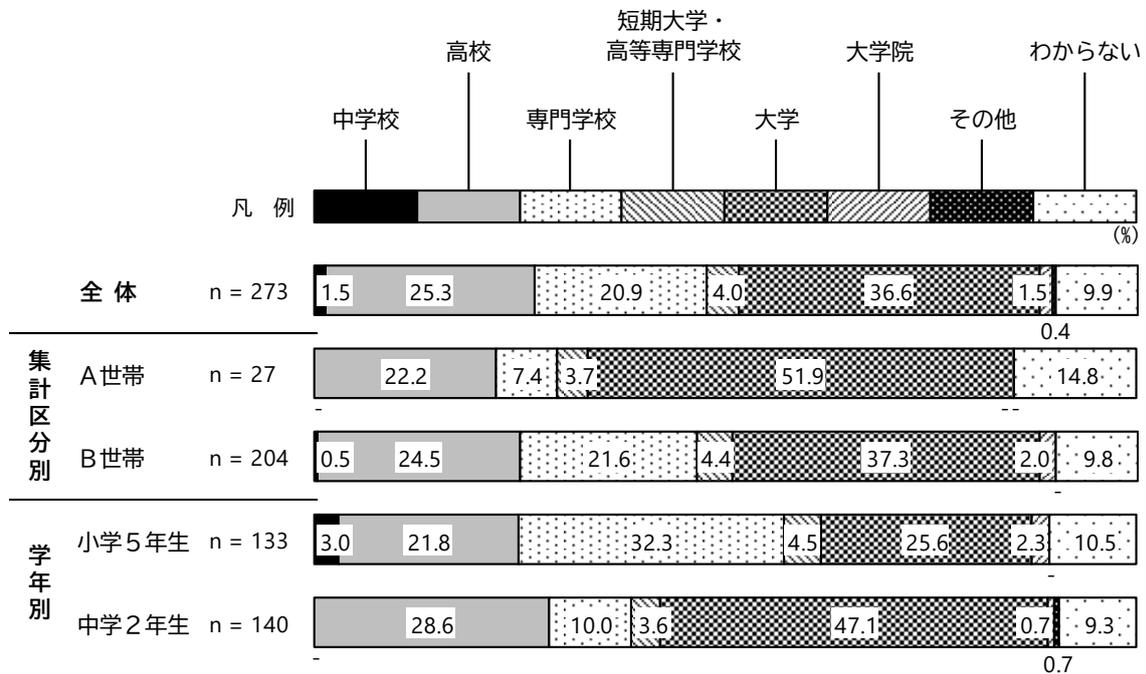
(%)

		n	理想のくらしが思いうかばない	好きなことや得意なことがわからない	どんな職業があるかわからない	夢をかなえるのがむずかしい	今のままで満足だから	わからない
全体		55	34.5	30.9	27.3	18.2	7.3	27.3
区集計 分別	A世帯	4	50.0	25.0	50.0	-	-	-
	B世帯	41	36.6	31.7	31.7	17.1	9.8	29.3
学年別	小学5年生	20	15.0	10.0	10.0	20.0	10.0	45.0
	中学2年生	35	45.7	42.9	37.1	17.1	5.7	17.1

3-7 希望の進学先

問 18 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。

- ▶ 希望の進学先については、「大学」が36.6%と最も高く、次いで、「高校」(25.3%)、「専門学校」(20.9%)、「短期大学・高等専門学校」(4.0%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「大学」(51.9%)が14.6ポイント高く、「専門学校」(7.4%)が14.2ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では「専門学校」(32.3%)が22.3ポイント、『中学2年生』では「大学」(47.1%)が21.5ポイント、もう一方の学年と比べて高くなっています。



3-8 進学先を選んだ理由

問19 あなたが〈問18〉で答えた進学先を、選んだ理由を教えてください。

(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 進学先を選んだ理由については、「希望する学校や職業があるから」が49.5%と最も高く、次いで、「自分の成績に合っていると思うから」(15.0%)、「親がそう言っているから」(9.5%)、「兄・姉がそうしているから」(5.5%)となっています。なお、「とくに理由はない」が26.0%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「自分の成績に合っていると思うから」(25.9%)が12.7ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「希望する学校や職業があるから」(52.9%)、「自分の成績に合っていると思うから」(19.3%)、「親がそう言っているから」(12.1%)がやや高くなっています。一方、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「とくに理由はない」(29.3%)がやや高くなっています。

(%)

		n	希望する学校や職業があるから	自分の成績に合っていると思うから	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	早く働く必要があるから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	その他	とくに理由はない
全体		273	49.5	15.0	9.5	5.5	4.0	2.6	1.8	6.6	26.0
区集 分計	A世帯	27	44.4	25.9	14.8	-	3.7	3.7	3.7	7.4	33.3
	B世帯	204	51.0	13.2	8.3	5.4	3.9	2.5	2.0	5.4	27.5
学 年 別	小学5年生	133	45.9	10.5	6.8	3.0	4.5	0.8	1.5	6.0	29.3
	中学2年生	140	52.9	19.3	12.1	7.9	3.6	4.3	2.1	7.1	22.9

3-9 普段悩んだり不安に感じていること

問 20 あなたは、ふだん、なやんだり、不安を感じたりしていることはありますか。また、それはどのようなことですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 普段悩んだり不安に感じていることについては、「勉強のこと」が31.1%と最も高く、次いで、「友達のこと」(25.3%)、「進学・進路のこと」(22.7%)、「自分の性格のこと」(19.8%)となっています。なお、「とくに、なやみや不安はない」が37.7%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「勉強のこと」(48.1%)、「友達のこと」(37.0%)、「進学・進路のこと」(33.3%)、「自分の性格のこと」(29.6%)が約13~18ポイント高く、「とくに、なやみや不安はない」(25.9%)が12.8ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「勉強のこと」(38.6%)、「進学・進路のこと」(35.0%)、「学校のクラブ活動や部活動のこと」(24.3%)が約15~25ポイント高くなっています。一方、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「とくに、なやみや不安はない」(45.1%)が14.4ポイント高くなっています。

		n	勉強のこと	友達のこと	進学・進路のこと	自分の性格のこと	学校のクラブ活動や部活動のこと	自分の見た目のこと	自分の健康のこと	習い事やスポーツ以外の活動の少年団など	学校の先生のこと	て親が自分の気持ちをわかっていないこと	いとくに、なやみや不安はない
全体		273	31.1	25.3	22.7	19.8	13.6	13.2	9.9	9.5	7.7	5.1	37.7
区 集 分 別	A世帯	27	48.1	37.0	33.3	29.6	7.4	7.4	-	7.4	3.7	3.7	25.9
	B世帯	204	29.9	24.5	20.1	16.2	14.2	12.7	8.8	8.8	8.8	4.4	38.7
学 年 別	小学5年生	133	23.3	24.8	9.8	20.3	2.3	14.3	10.5	9.8	11.3	4.5	45.1
	中学2年生	140	38.6	25.7	35.0	19.3	24.3	12.1	9.3	9.3	4.3	5.7	30.7

※上位10項目および「とくに、なやみや不安はない」を抜粋して掲載しています。

3-10 困ったり悩んでいる時に相談できる相手

問21 あなたに、こまっていることや、なやんでいることがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 困ったり悩んでいる時に相談できる相手については、「友達」が67.0%と最も高く、次いで、「お母さん」(64.5%)、「お父さん」(39.6%)、「学校の先生」(30.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「おじいさん・おばあさん」(37.0%)、「SNSの知り合い」(14.8%)が約10~13ポイント高く、「お母さん」(55.6%)、「友達」(55.6%)が約12~13ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「友達」(72.9%)が12.0ポイント高くなっています。

		(%)										
		n	友達	お母さん	お父さん	学校の先生	おじいさん・おばあさん	兄弟姉妹	保健室の先生	親戚	SNSの知り合い	スクールソーシャルワーカーやス
全体		273	67.0	64.5	39.6	30.4	26.4	26.4	20.1	10.6	7.3	5.5
区 集 分 別	A世帯	27	55.6	55.6	40.7	29.6	37.0	22.2	11.1	3.7	14.8	3.7
	B世帯	204	68.6	67.2	40.2	32.4	24.5	25.5	20.1	10.8	4.4	5.9
学 年 別	小学5年生	133	60.9	69.2	37.6	31.6	27.1	22.6	23.3	12.0	5.3	3.8
	中学2年生	140	72.9	60.0	41.4	29.3	25.7	30.0	17.1	9.3	9.3	7.1

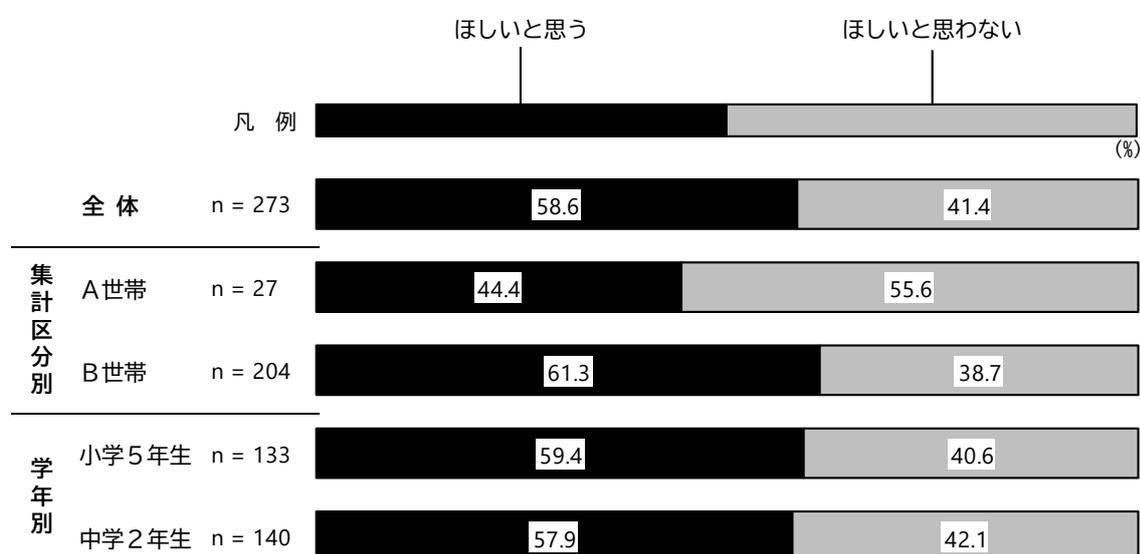
※上位10項目を抜粋して掲載しています。

4 家や学校以外の居場所について

4-1 家や学校以外の居場所が欲しいか

問 22 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ほしいと思いますか。

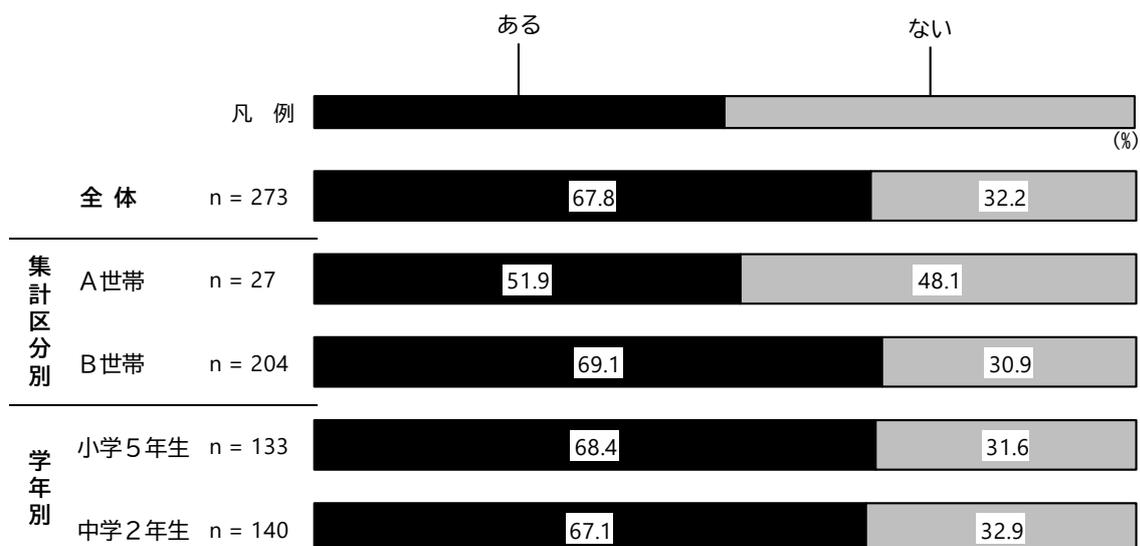
- ▶ 家や学校以外の居場所が欲しいかについては、「ほしいと思う」が58.6%、「ほしいと思わない」が41.4%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ほしいと思わない」(55.6%)が16.9ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



4-2 家や学校以外の居場所があるか

問 23 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ありますか。

- ▶ 家や学校以外の居場所があるかについては、「ある」が 67.8%、「ない」が 32.2%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ない」(48.1%)が 17.2ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



4-3 自分にとっての居場所

【問23で、「ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問24 あなたが「ここに居たい」と感じるような、あなたが居られる場所は、どのような場所ですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 自分にとっての居場所については、「友達の家」が48.1%と最も高く、次いで、「おじいさん・おばあさん・親戚の家」(46.5%)、「公園や、自然の中で遊べる場所」(33.0%)、「図書館やまちづくりセンター、クラッセなど」(23.2%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「おじいさん・おばあさん・親戚の家」(57.1%)、「友達の家」(57.1%)が約12~13ポイント高く、「公園や、自然の中で遊べる場所」(7.1%)、「図書館やまちづくりセンター、クラッセなど」(7.1%)が約17~29ポイント低くなっています。『A世帯』では『B世帯』で15.6%となった「学童保育所や習い事(スポーツ少年団などをふくむ)や塾などの場所」は回答がありませんでした。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「学童保育所や習い事(スポーツ少年団などをふくむ)や塾などの場所」(17.6%)、「学校の中の、教室以外の場所(保健室、図書室など)」(17.6%)が約10~12ポイント高くなっています。

(%)

		n	友達の 家	おじい さん・ おばあ さん・ 親戚 の家	公園や、 自然の 中で遊 べる場 所	ク図書 ツ館や まちは づくり センタ ー、	オンラ インゲ ーム空 間(S NS、 オン	の学少 場童保 所を育 ふ所や くむ習 い事	学校中 の、教 室以外 の場所 (保健 室、図 書室な ど)	ど)ご 飯を無 料か安 く食べ ること が	手助け やオン ライン をふく む)	なやみ ごとの 相談に 乗つた り、	その他
全体		185	48.1	46.5	33.0	23.2	16.2	12.4	11.4	4.9	4.3	8.1	
区 集 分 計	A世帯	14	57.1	57.1	7.1	7.1	14.3	-	7.1	7.1	-	7.1	
	B世帯	141	45.4	44.0	36.2	24.1	16.3	15.6	10.6	5.0	4.3	7.8	
学 年 別	小学5年生	91	49.5	45.1	29.7	25.3	13.2	17.6	17.6	4.4	5.5	8.8	
	中学2年生	94	46.8	47.9	36.2	21.3	19.1	7.4	5.3	5.3	3.2	7.4	

4-4 居場所に求めること

【問 23 で、「ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問 25 あなたは、「ここに居たい」と感じる場所では、どのようなことができればよいと思いますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 居場所に求めることについては、「好きなことをして自由にすごせる」が 66.5%と最も高く、次いで、「いつでも行きたいときに行ける」(58.9%)、「いろいろな人と出会えたり、友達といっしょにすごせたりする」(55.1%)、「一人ですごせたり、何もせずのんびりできる」(45.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「ありのままでいられる、自分を否定されない」(42.9%)が 10.3 ポイント高く、「いつでも行きたいときに行ける」(50.0%)、「好きなことをして自由にすごせる」(42.9%)、「自分の考えや希望を受け入れてもらえる」(14.3%)、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる」(14.3%)が約 10~25 ポイント低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では「好きなことをして自由にすごせる」(72.3%)が 11.9 ポイント、『小学5年生』では「いろいろな人と出会えたり、友達といっしょにすごせたりする」(60.4%)、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる」(34.1%)、「なやみごとの相談にのってもらえたり、いっしょに遊んでくれる大人がいる」(23.1%)が約 10~19 ポイント、もう一方の学年と比べて高くなっています。

		n	好きなことをして自由にすごせる	いつでも行きたいときに行ける	いろいろな人と出会えたり、友達といっしょにすごせたりする	一人ですごせたり、何もせずのんびりできる	ありのままでいられる、自分を否定されない	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	自分の考えや希望を受け入れてもらえる	なやみごとの相談にのってもらえたり、いっしょに遊んでくれる大人がいる	その他
全体		185	66.5	58.9	55.1	45.4	33.0	28.1	24.3	13.5	3.8
区集 分計	A世帯	14	42.9	50.0	64.3	42.9	42.9	14.3	14.3	7.1	7.1
	B世帯	141	67.4	60.3	55.3	44.7	32.6	29.1	27.7	13.5	4.3
学 年 別	小学5年生	91	60.4	56.0	60.4	44.0	33.0	34.1	26.4	23.1	3.3
	中学2年生	94	72.3	61.7	50.0	46.8	33.0	22.3	22.3	4.3	4.3

4-5 家や学校以外に居場所がない理由

【問 23 で、「ない」とお答えになった方にお聞きします。】

問 26 家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ない理由を教えてください。
(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 家や学校以外に居場所がない理由については、「住んでいる地域に、そのような場所がないから・わからないから」が 46.6%と最も高く、次いで、「家や学校（授業や部活動・クラブ活動）以外に、場所がほしいと思わないから」（31.8%）、「（行きたい場所はあるが）行くのに時間がかかるから」（15.9%）、「（行きたい場所はあるが、その場所の）やっている日や時間が合わないから」、「（行きたい場所はあるが）お金がかかるから」（いずれも 6.8%）となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「（行きたい場所はあるが）行くのに時間がかかるから」（7.7%）が約 10 ポイント低く、『B世帯』で 7.9%となった「（行きたい場所はあるが）お金がかかるから」は回答がありませんでした。
『A世帯』における「その他」の具体的な内容としては、「家や学校で満足しているから」などとなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では『小学5年生』と比べて「住んでいる場所に、そのような場所がないから・わからないから」（54.3%）が 16.2 ポイント高くなっています。

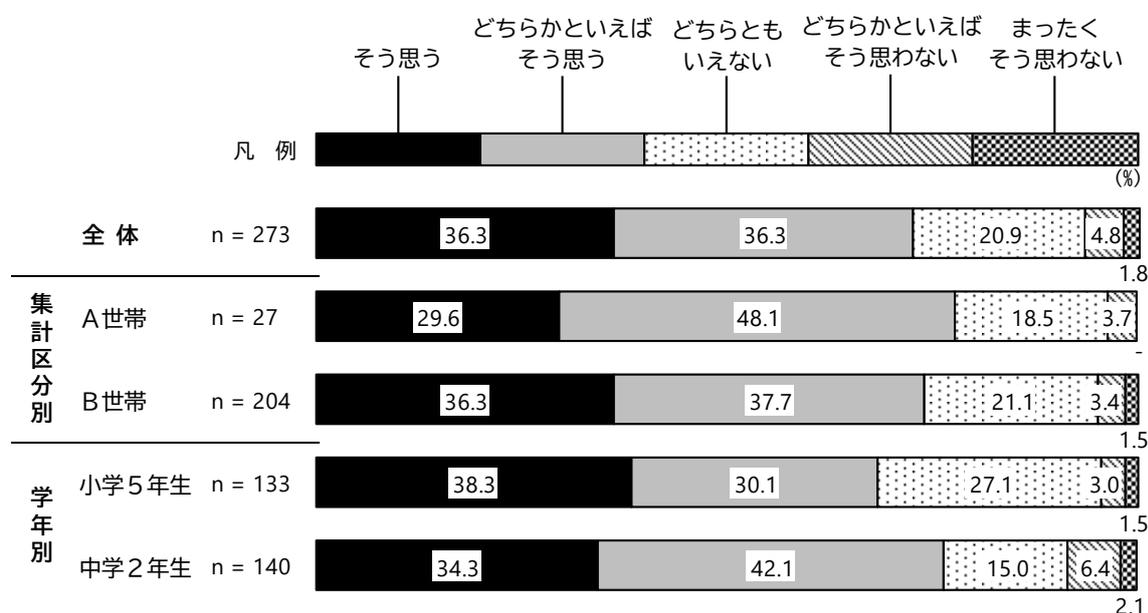
(%)

		n	住んでいる地域に、そのような場所がないから・わからないから	家や学校（授業や部活動・クラブ活動）以外に、場所がほしいと思わないから	（行きたい場所はあるが）行くのに時間がかかるから	（行きたい場所はあるが、その場所の）やっている日や時間が合わないから	（行きたい場所はあるが）お金がかかるから	その他
全体		88	46.6	31.8	15.9	6.8	6.8	9.1
区 集 分 別	A世帯	13	46.2	30.8	7.7	7.7	-	15.4
	B世帯	63	44.4	33.3	17.5	7.9	7.9	9.5
学 年 別	小学5年生	42	38.1	31.0	14.3	4.8	4.8	11.9
	中学2年生	46	54.3	32.6	17.4	8.7	8.7	6.5

4-6 自分が社会人になっても生活していけると思うか

問 27 あなたは、自分が大人になって社会に出ても、生活していけるとおもいますか。

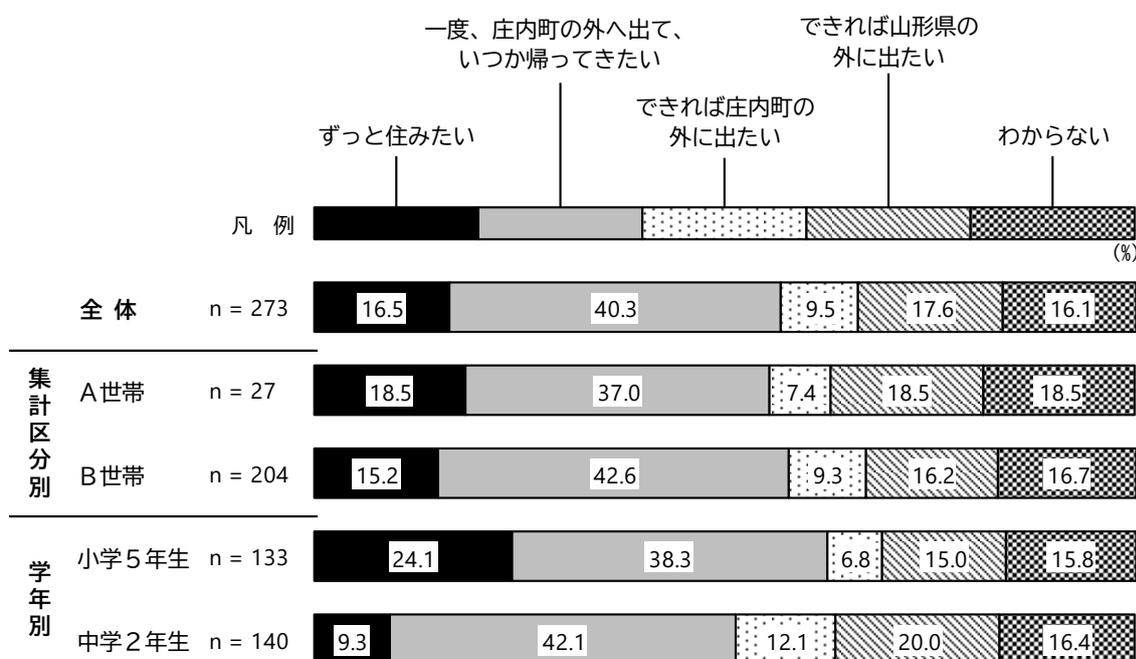
- ▶ 自分が社会人になっても生活していけると思うかについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」がいずれも 36.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」(20.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(4.8%) となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「どちらかといえばそう思う」(48.1%) が10.4ポイント高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『中学2年生』では「どちらかといえばそう思う」(42.1%) が12.0ポイント、『小学5年生』では「どちらともいえない」(27.1%) が12.1ポイント、もう一方の学年と比べて高くなっています。



4-7 将来の定住意向

問 28 あなたは、将来も庄内町で暮らしていきたいと思いませんか。

- ▶ 将来の居住希望については、「一度、庄内町の外へ出て、いつか帰ってきたい」が40.3%と最も高く、次いで、「できれば山形県の外に出たい」(17.6%)、「ずっと住みたい」(16.5%)、「できれば庄内町の外に出たい」(9.5%)となっています。なお、「わからない」が16.1%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「一度、庄内町の外へ出て、いつか帰ってきたい」(37.0%)がやや低くなっています。
- ▶ 学年別にみると、『小学5年生』では『中学2年生』と比べて「ずっと住みたい」(24.1%)が14.8ポイント高くなっています。



5 家族のお世話について

5-1 家族のお世話が必要な人

問 29 あなたのご家族に、次のような人はいますか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ 家族のお世話が必要な人については、「65才以上の人」が53.8%と最も高く、次いで、「赤ちゃんや、小学校に入学する前の人」(13.2%)、「身体が不自由又は認知症(物忘れなど)や寝たきりなどで手助けが必要な人」(7.7%)となっています。なお、「いない」が32.6%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、『A世帯』では『B世帯』と比べて「65才以上の人」(63.0%)、「赤ちゃんや、小学校に入学する前の人」(25.9%)、「身体が不自由又は認知症(物忘れなど)や寝たきりなどで手助けが必要な人」(22.2%)が約10~17ポイント高くなっています。

(%)

		n	65才以上の人	赤ちゃんや、小学校に入学する前の人	身体が不自由又は認知症(物忘れなど)や寝たきりなどで手助けが必要な人	その他	いない	わからない
全体		273	53.8	13.2	7.7	0.4	32.6	6.6
区分別集計	A世帯	27	63.0	25.9	22.2	-	25.9	3.7
	B世帯	204	52.9	8.8	6.4	0.5	34.8	6.4

5-2 自分がお世話をしている人

【問 29 で、いずれかの家族のお世話が必要な人をお答えになった方にお聞きします。】

問 30 あなたが〈問 29〉で選んだご家族のうち、あなたがお世話をしている人はいますか。
(あてはまるものをすべて選んでください)

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人がするような、家事や家族の世話などをする事で、お手伝いとは違います。

- ▶ 自分がお世話をしている人については、「兄弟姉妹」が 11.4%と最も高く、次いで、「お母さん」(9.0%)、「おじいさん・おばあさん」(7.2%)、「お父さん」(5.4%)となっています。なお、「お世話はしていない」が 76.5%となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「お父さん」(10.5%)、「兄弟姉妹」(15.8%)がやや高く、「お世話はしていない」(73.7%)がやや低くなっています。

(%)

		n	兄弟姉妹	お母さん	おじいさん・おばあさん	お父さん	その他	お世話はしていない
全体		166	11.4	9.0	7.2	5.4	1.2	76.5
区 集 分 別 計	A世帯	19	15.8	10.5	5.3	10.5	5.3	73.7
	B世帯	120	6.7	9.2	8.3	4.2	0.8	79.2

5-3 お世話の内容

【問 30 で、いずれかの自分がお世話をしている人をお答えになった方にお聞きします。】

問 31 あなたは、どのようなお世話をしていますか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

- ▶ お世話の内容については、「見守り」が 43.6%と最も高く、次いで、「食事の準備や掃除、洗濯など」(35.9%)、「外出の付きそい(買い物、散歩など)」(25.6%)、「入浴やトイレ、着がえ、食事のお世話など」(20.5%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「外出の付きそい(買い物、散歩など)」(40.0%)が16.0ポイント高く、「食事の準備や掃除、洗濯など」(20.0%)が16.0ポイント低くなっています。

(%)

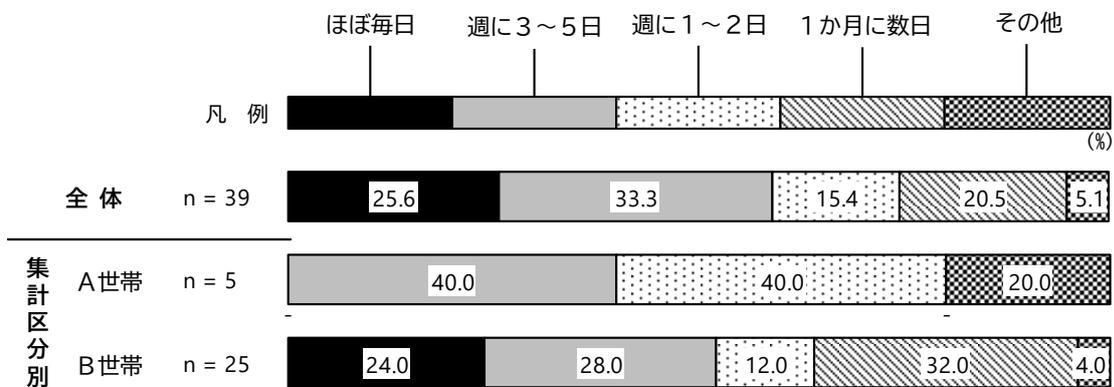
		n	見守り	食事の準備や掃除、洗濯など	外出の付きそい(買い物、散歩など)	入浴やトイレ、着がえ、食事のお世話など	兄弟姉妹の世話や保育所などへの送りむかえなど	なやみや不満を聞く、話し相手になるなど	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	通院の付きそい	薬の管理	その他
全体		39	43.6	35.9	25.6	20.5	12.8	12.8	5.1	2.6	-	-	-
区 分 集 計	A世帯	5	40.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-
	B世帯	25	48.0	36.0	24.0	20.0	8.0	16.0	8.0	4.0	-	-	-

5-4 お世話の頻度

【問 30 で、いずれかの自分がお世話をしている人をお答えになった方にお聞きします。】

問 32 あなたは、ご家族のお世話をどれくらいしていますか。

- ▶ お世話の頻度については、「週に3～5日」が33.3%と最も高く、次いで、「ほぼ毎日」(25.6%)、「1か月に数日」(20.5%)、「週に1～2日」(15.4%)となっています。
- ▶ 集計区分別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『A世帯』では『B世帯』と比べて「週に3～5日」(40.0%)、「週に1～2日」(40.0%)が12～28ポイント高くなっています。『A世帯』では『B世帯』で24.0%となった「ほぼ毎日」、32.0%となった「1か月に数日」は回答がありませんでした。



6 不安や悩み、町に伝えたいことなどについて

6-1 不安や悩み、町に伝えたいことなど（自由意見）

問 35 不安や悩みごと、庄内町に伝えたいことなどがあれば、自由に回答してください。

- ▶ 回答いただいた 110 件について、記述内容に応じて以下の項目に分類したところ、各項目の意見の合計件数は 123 件となりました。
- ▶ 『施設や設備の設置・整備等について』、『商業施設等について』がいずれも 18 件と最も多く、公園などの遊び場や、ショッピングモールなどの商業施設を増やしてほしいという意見が多くなっています。次いで、『学校・勉強について』が 16 件（勉強の心配や学校生活についてなど）、『庄内町について』が 11 件（庄内町の自然の豊かさや美しさについて、活性化に関する意見など）となっています。

項目	件数	
施設や設備の設置・整備等について	18	
商業施設等について	18	
学校・勉強について	16	
庄内町について	11	
自分自身について	6	
人間関係について	4	
家族・家庭について	2	
その他	6	
特になし	42	
意見数計	123	

※2つ以上の項目にまたがる意見はそれぞれの項目に分類しています。

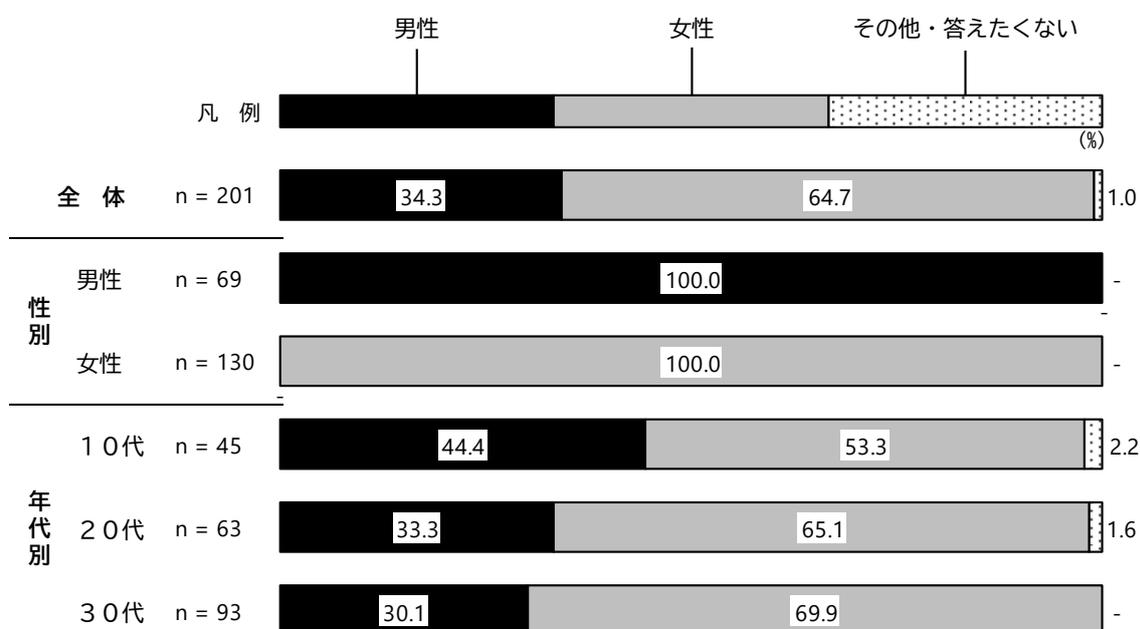
Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

1 あなたご自身について

1-1 性別

問1 あなたの性別をお答えください。

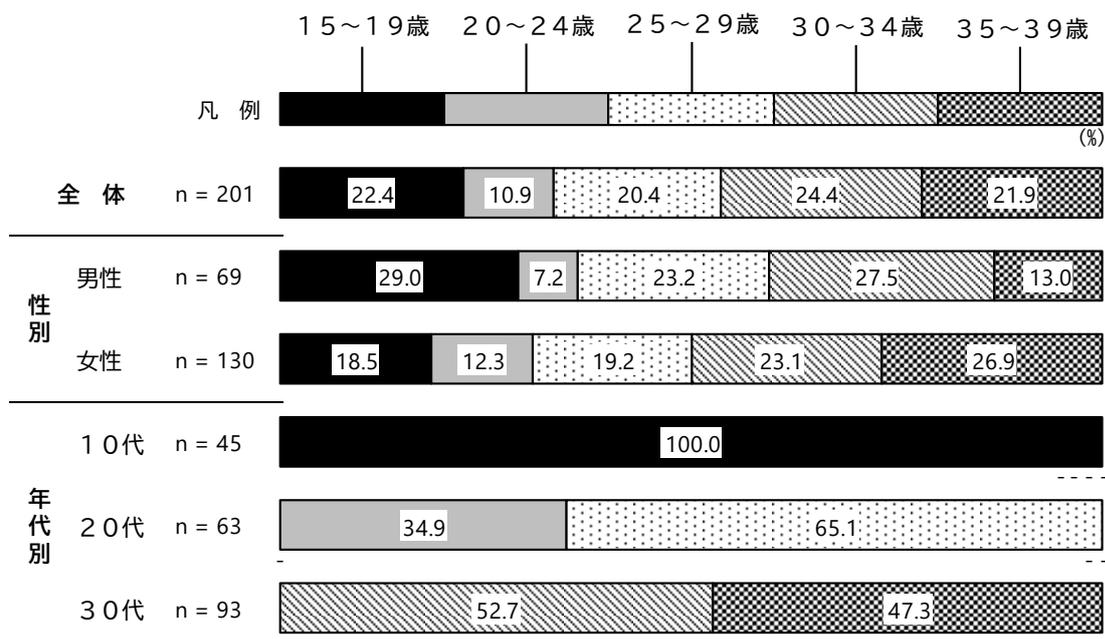
- ▶ 性別については、「男性」が 34.3%、「女性」が 64.7%、「その他・答えたくない」が 1.0% となっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「男性」(44.4%) が約 11~14 ポイント高く、「女性」(53.3%) が約 12~17 ポイント低くなっています。



1-2 年齢

問2 あなたの年齢についてお答えください。(数字を入力)

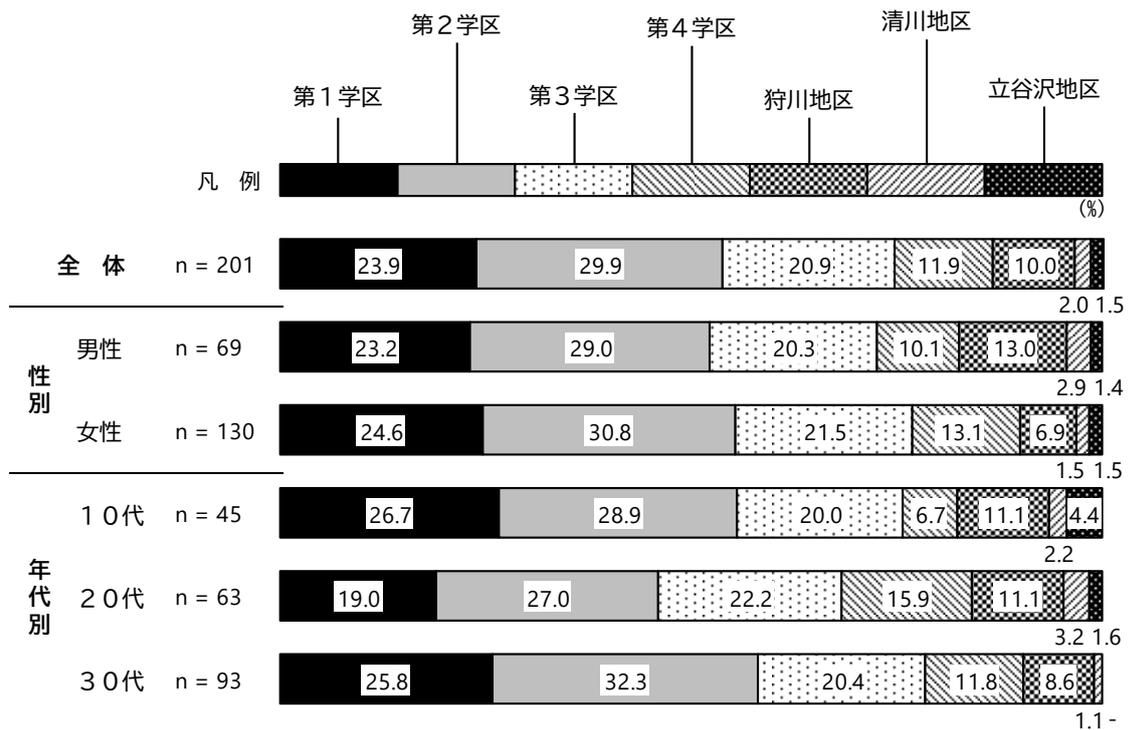
- ▶ 年齢については、「30～34歳」が24.4%と最も高く、次いで、「15～19歳」(22.4%)、「35～39歳」(21.9%)、「25～29歳」(20.4%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「15～19歳」(29.0%)が10.5ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「35～39歳」(26.9%)が13.9ポイント高くなっています。



1-3 居住地区

問3 どちらの地区にお住まいですか。

- ▶ 居住地区については、「第2学区」が29.9%と最も高く、次いで、「第1学区」(23.9%)、「第3学区」(20.9%)、「第4学区」(11.9%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。



1-4 同居の状況

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 同居の状況については、「あなた（または配偶者）の母」が59.7%と最も高く、次いで、「あなた（または配偶者）の父」（53.2%）、「あなたの配偶者」（42.8%）、「あなたの子」（36.3%）となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「あなた（または配偶者）の母」（68.1%）、「あなた（または配偶者）の父」（62.3%）、「あなた（または配偶者）の祖父母」（37.7%）が約12～15ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「あなたの配偶者」（46.9%）、「あなたの子」（40.0%）が約11ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「あなたの配偶者」、「あなたの子」との回答は年代が上がるにつれて高く、「あなた（または配偶者）の母」、「あなた（または配偶者）の父」、「あなた（または配偶者）のきょうだい」、「あなた（または配偶者）の祖父母」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。

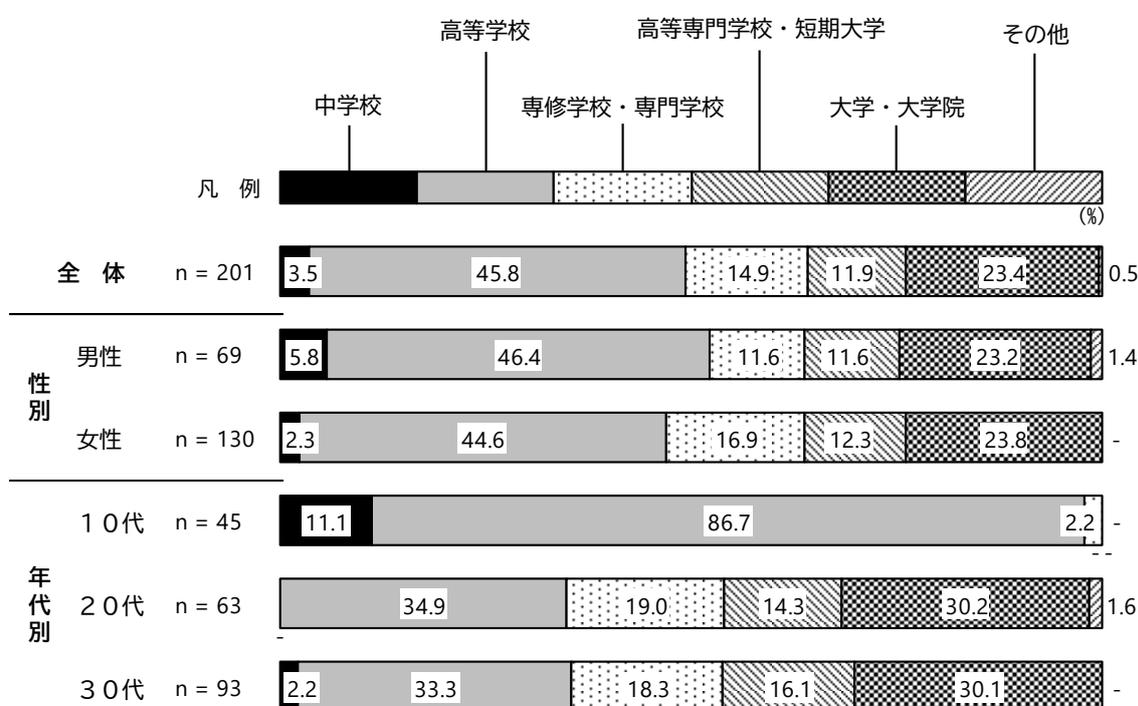
(%)

		n	母 あなた (または 配偶者) の	父 あなた (または 配偶者) の	あなた の 配偶者	あなた の 子	き よ う だ い あなた (または 配偶者) の	祖 父 母 あなた (または 配偶者) の	その 他 の 親 族	その 他	単 身 世 帯
全体		201	59.7	53.2	42.8	36.3	32.3	30.8	3.5	1.0	1.0
性別	男性	69	68.1	62.3	36.2	29.0	36.2	37.7	-	1.4	-
	女性	130	55.4	47.7	46.9	40.0	30.0	26.2	5.4	0.8	1.5
年代別	10代	45	95.6	84.4	-	-	77.8	48.9	6.7	-	2.2
	20代	63	63.5	57.1	33.3	25.4	25.4	44.4	1.6	3.2	1.6
	30代	93	39.8	35.5	69.9	61.3	15.1	12.9	3.2	-	-

1-5 最終学歴または現在の在学状況

問5 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

- ▶ 最終学歴または現在の在学状況については、「高等学校」が45.8%と最も高く、次いで、「大学・大学院」(23.4%)、「専修学校・専門学校」(14.9%)、「高等専門学校・短期大学」(11.9%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。『女性』では『男性』と比べて「専修学校・専門学校」(16.9%)がやや高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「高等学校」(86.7%)が8割以上を占めています。

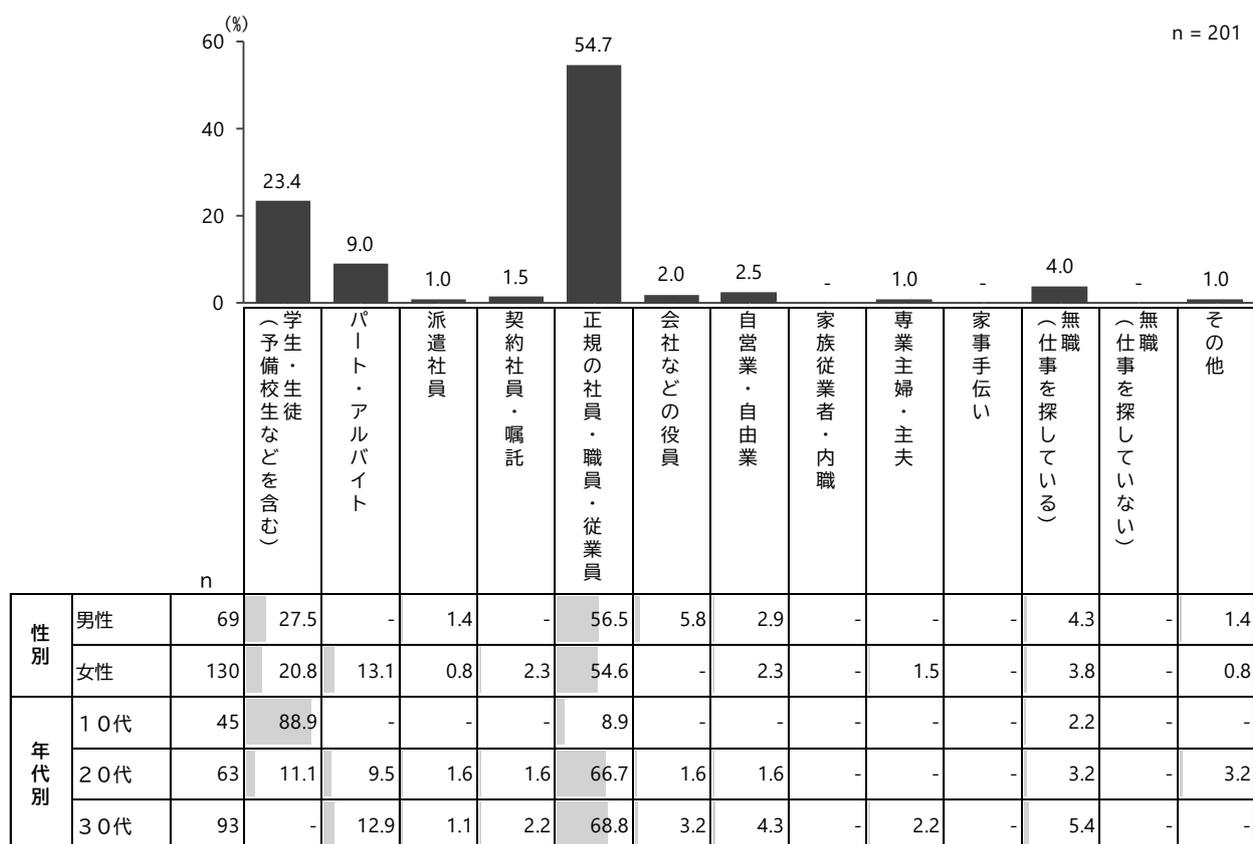


2 就労状況について

2-1 現在の仕事または就学状況

問6 あなたの主な現在の仕事または在学の状況をお答えください。

- ▶ 現在の仕事または就学状況については、「正規の社員・職員・従業員」が54.7%と最も高く、次いで、「学生・生徒（予備校生などを含む）」（23.4%）、「パート・アルバイト」（9.0%）、「無職（仕事を探している）」（4.0%）となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』で13.1%となった「パート・アルバイト」は回答がありませんでした。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では「学生・生徒（予備校生などを含む）」（88.9%）が9割近くを占めており、『20代』、『30代』では「正規の社員・職員・従業員」がいずれも6割以上を占めています。



2-2 現在、働いていない理由

【問6で、「無職（仕事を探している）」「無職（仕事を探していない）」とお答えになった方にお聞きします。】

問7 現在、働いていない理由は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

- ▶ 現在、働いていない理由については、「自分に合う仕事が見つからないから」が37.5%と最も高く、次いで、「心の不調を抱えているから」、「自分が希望する仕事がないから」、「応募しても採用されないから」（いずれも25.0%）となっています。

(%)

		n	自分に 合う仕事 がわから ないから	心の 不調を 抱えて いるか ら	自分 が希望 する 仕事 がな いから	応募 しても 採用 され ない から	人間 関係 ・社 会と の関 わり	身体 に不 調を 抱え てい るか	将来 の目 的に 向け て勉 強・ 訓練 して いる から	働か なく ても 生活 でき るか
全 体		8	37.5	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
性別	男性	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3
	女性	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-
年代別	10代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	20代	2	50.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	30代	5	20.0	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0

※上位10項目を抜粋し、回答が皆無の項目は除いて掲載しています。

※調査数が極めて少ないため、性別・年代別についてのコメントは非掲載としています。

2-3 就労に関して利用してみたい支援

【問6で、「無職（仕事を探している）」「無職（仕事を探していない）」とお答えになった方にお聞きします。】

問8 就労に関して利用してみたい支援をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

- ▶ 就労に関して利用してみたい支援については、「求人情報の照会」が75.0%と最も高く、次いで、「就職に関する悩みや不安の相談」（50.0%）、「気軽に立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供」、「仕事を体験する機会の提供」（いずれも25.0%）となっています。

(%)

		n	求人情報の照会	就職に関する悩みや不安の相談	気軽に立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供	仕事を体験する機会の提供	不規則な生活を整えるための支援	メンタルヘルスに関わる講座	その他
全体		8	75.0	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5
性別	男性	3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3
	女性	5	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-
年代別	10代	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
	20代	2	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-
	30代	5	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※上位10項目を抜粋し、回答が皆無の項目は除いて掲載しています。

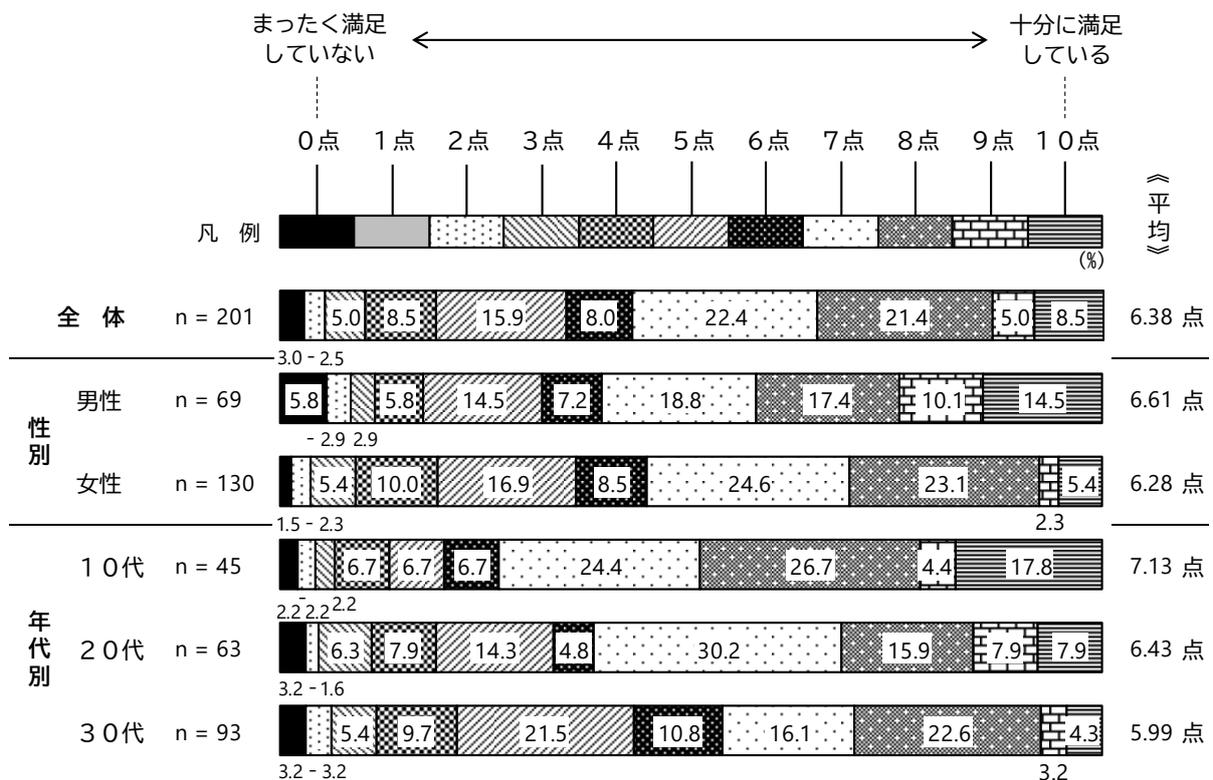
※調査数が極めて少ないため、性別・年代別についてのコメントは非掲載としています。

3 あなたの日頃の意識と生活について

3-1 最近の生活の満足度

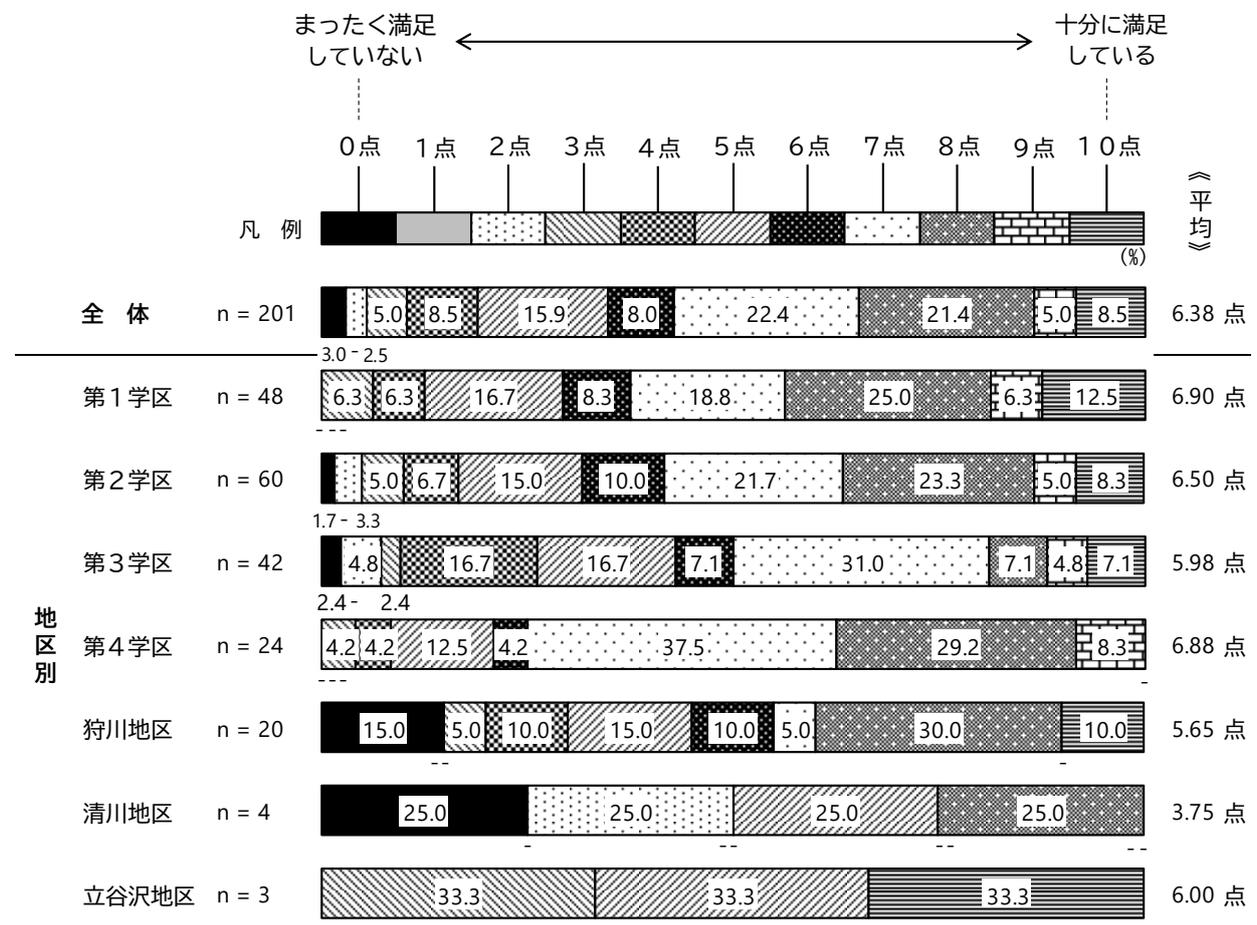
問9 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない) から「10点」(十分に満足している) の数字でお答えください。

- ▶ 最近の生活の満足度については、「7点」が22.4%と最も高く、次いで、「8点」(21.4%)、「5点」(15.9%)、「4点」(8.5%)となっています。なお、平均点は6.38点となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『男性』では『女性』と比べて「9点」(10.1%)、「10点」(14.5%)がやや高く、『女性』では『男性』と比べて「7点」(24.6%)、「8点」(23.1%)がやや高くなっています。平均点については、『男性』が6.61点、『女性』が6.28点となっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、「10点」との回答は年代が上がるにつれて低く、「5点」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。平均点については、年代が上がるにつれて低くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

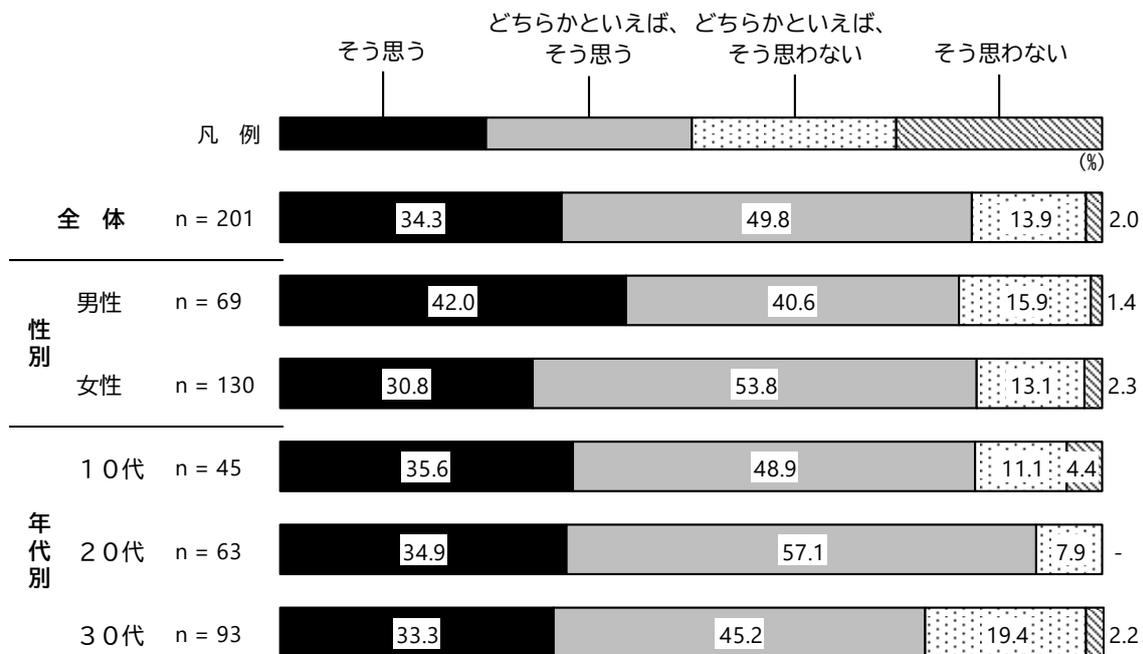
- ▶ 地区別にみると、調査数に差があることに留意が必要ですが、ほとんどの地区では「7点」または「8点」が最も高くなっています。平均点については、ほとんどの地区で5点台後半～6点台後半となっています。



3-2 自分らしさというものがあると思うか

問 10① あなたは、自分には自分らしさというものがあると思いますか。

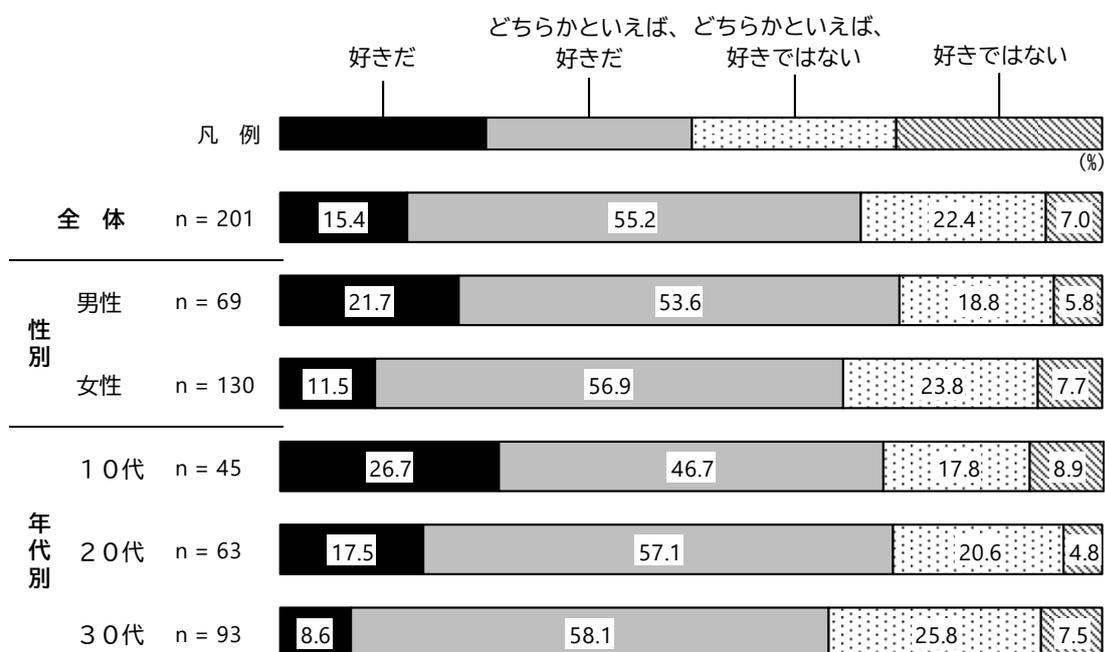
- ▶ 自分らしさというものがあると思うかについては、「どちらかといえば、そう思う」が49.8%と最も高く、次いで、「そう思う」(34.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(13.9%)、「そう思わない」(2.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「そう思う」(42.0%)が11.2ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思う」(53.8%)が13.2ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『20代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思う」(57.1%)がやや高く、『30代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思わない」(19.4%)がやや高くなっています。



3-3 今の自分が好きか

問 10② あなたは、今の自分が好きですか。

- ▶ 今の自分が好きかについては、「どちらかといえば、好きだ」が 55.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、好きではない」(22.4%)、「好きだ」(15.4%)、「好きではない」(7.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「好きだ」(21.7%)が 10.2 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、「好きだ」との回答は年代が上がるにつれて低くなっており、「好きだ」が 26.7%と最も高い『10代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、好きだ」(46.7%)が約 10~11 ポイント低くなっています。



3-4 今、悩んだり困ったりしていること

問11 あなたは今、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。

(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 今、悩んだり困ったりしていることについては、「家計・金銭」が46.3%と最も高く、次いで、「仕事」(41.8%)、「自分の将来」(34.8%)、「自分の外見や性格」(22.4%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「家庭・家族」(23.8%)が13.7ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「自分の将来」(51.1%)、「学業」(37.8%)が約18~37ポイント高くなっています。「学業」、「友人や仲間との関係」との回答は年代が上がるにつれて低く、「家計・金銭」、「仕事」、「家庭・家族」、「健康」、「就職」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。

		n	家計・金銭	仕事	自分の将来	自分の外見や性格	家庭・家族	恋愛・結婚	健康	学業	就職	地域や社会	友人や仲間との関係	性・ジェンダー	その他	悩みや困りことはない
全体		201	46.3	41.8	34.8	22.4	18.9	18.4	16.4	10.9	10.0	9.5	7.5	0.5	2.5	8.5
性別	男性	69	43.5	42.0	36.2	17.4	10.1	17.4	14.5	10.1	7.2	13.0	8.7	-	-	11.6
	女性	130	47.7	41.5	33.8	24.6	23.8	17.7	16.9	10.8	11.5	7.7	6.2	-	3.8	6.9
年代別	10代	45	13.3	6.7	51.1	22.2	8.9	17.8	8.9	37.8	8.9	-	15.6	2.2	2.2	8.9
	20代	63	50.8	41.3	25.4	20.6	11.1	23.8	11.1	6.3	9.5	12.7	6.3	-	-	9.5
	30代	93	59.1	59.1	33.3	23.7	29.0	15.1	23.7	1.1	10.8	11.8	4.3	-	4.3	7.5

3-5 悩みや心配事の相談先

問12 あなたは、悩みや心配事を誰に相談しますか。(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 悩みや心配事の相談先については、「家族」が 68.2%と最も高く、次いで、「友人・恋人」(52.2%)、「職場の上司、先輩、同僚」(21.9%)、「自分が通っている学校の先生」(4.0%)となっています。なお、「誰にも相談しようと思わない」が 12.4%となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「友人・恋人」(56.2%)が 11.3ポイント高くなっています。また、『女性』では『男性』よりほとんどの選択肢で回答割合が高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「家族」(51.1%)が約 22ポイント低くなっています。「職場の上司、先輩、同僚」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。

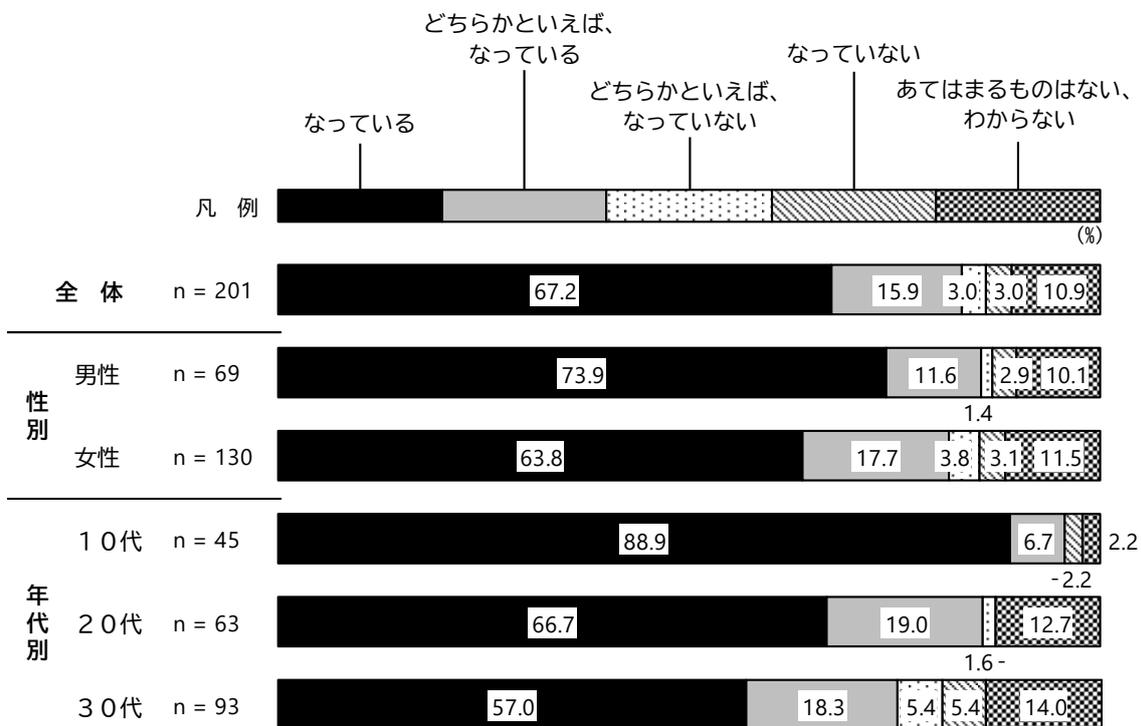
		n	家族	友人・恋人	職場の上司、先輩、同僚	自分が通っている学校の先生	医師やカウンセラー等の専門家	インターネットの相談サイト	地域または近所の人	その他	相談したいが、相談相手がいない	誰にも相談しようと思わない
全体		201	68.2	52.2	21.9	4.0	3.0	2.0	1.0	1.0	2.5	12.4
性別	男性	69	63.8	44.9	17.4	2.9	2.9	1.4	-	1.4	4.3	11.6
	女性	130	71.5	56.2	23.8	4.6	3.1	2.3	1.5	0.8	1.5	13.1
年代別	10代	45	51.1	55.6	2.2	11.1	-	2.2	-	-	2.2	20.0
	20代	63	73.0	57.1	20.6	4.8	4.8	3.2	-	-	-	9.5
	30代	93	73.1	47.3	32.3	-	3.2	1.1	2.2	2.2	4.3	10.8

3-6 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているか

問13 次の場所は、今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっていますか。
(それぞれ1つずつ選択)

■自分の部屋

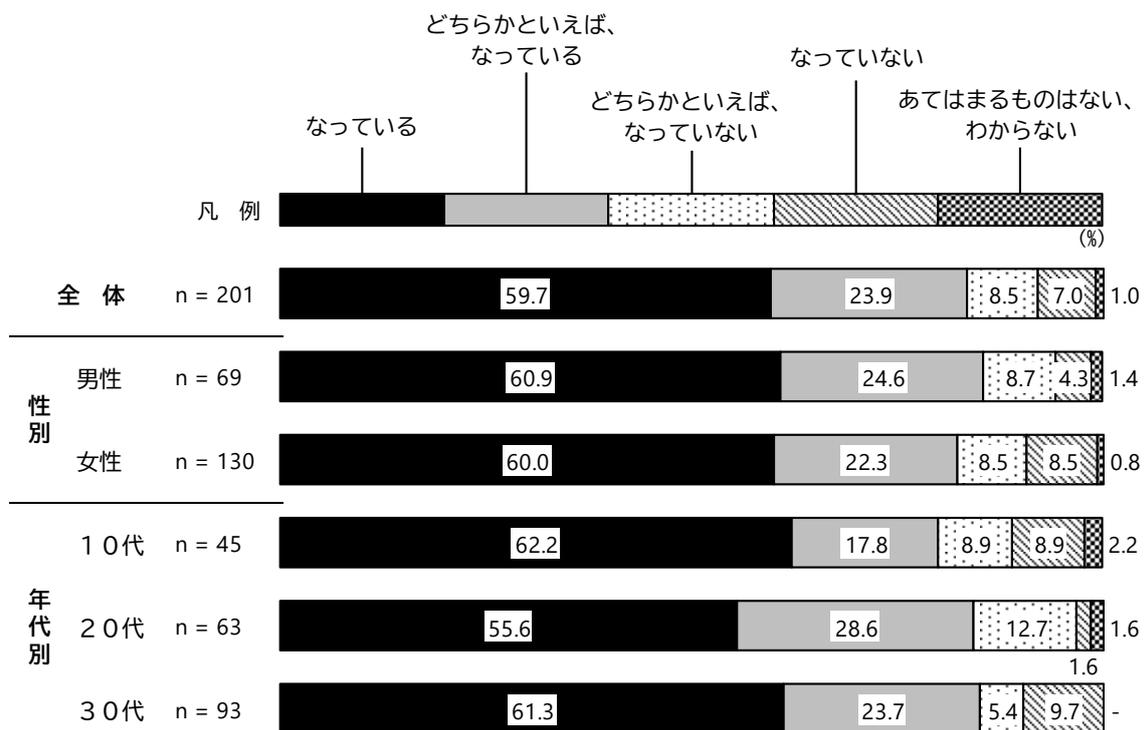
- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【自分の部屋】では、「なっている」が67.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、なっている」(15.9%)、「どちらかといえば、なっていない」、「なっていない」(いずれも3.0%)となっています。なお、「あてはまるものはない、わからない」が10.9%となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「なっている」(73.9%)が10.1ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「なっている」との回答は年代が上がるにつれて低くなっており、「なっている」が88.9%と最も高い『10代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、なっている」(6.7%)が約12ポイント低くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

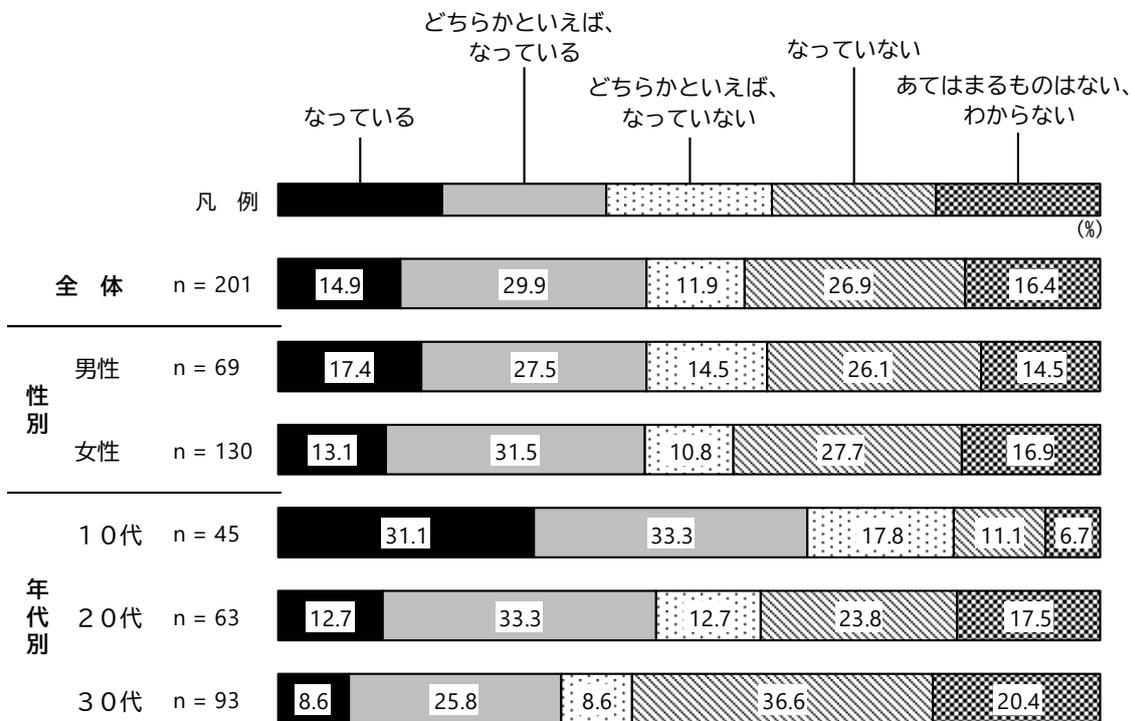
■家庭（実家や親族の家を含む）

- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【家庭】では、「なっている」が59.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、なっている」(23.9%)、「どちらかといえば、なっていない」(8.5%)、「なっていない」(7.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『20代』では他の年代と比べて「なっている」(55.6%)がやや低くなっています。



■学校（卒業した学校を含む）

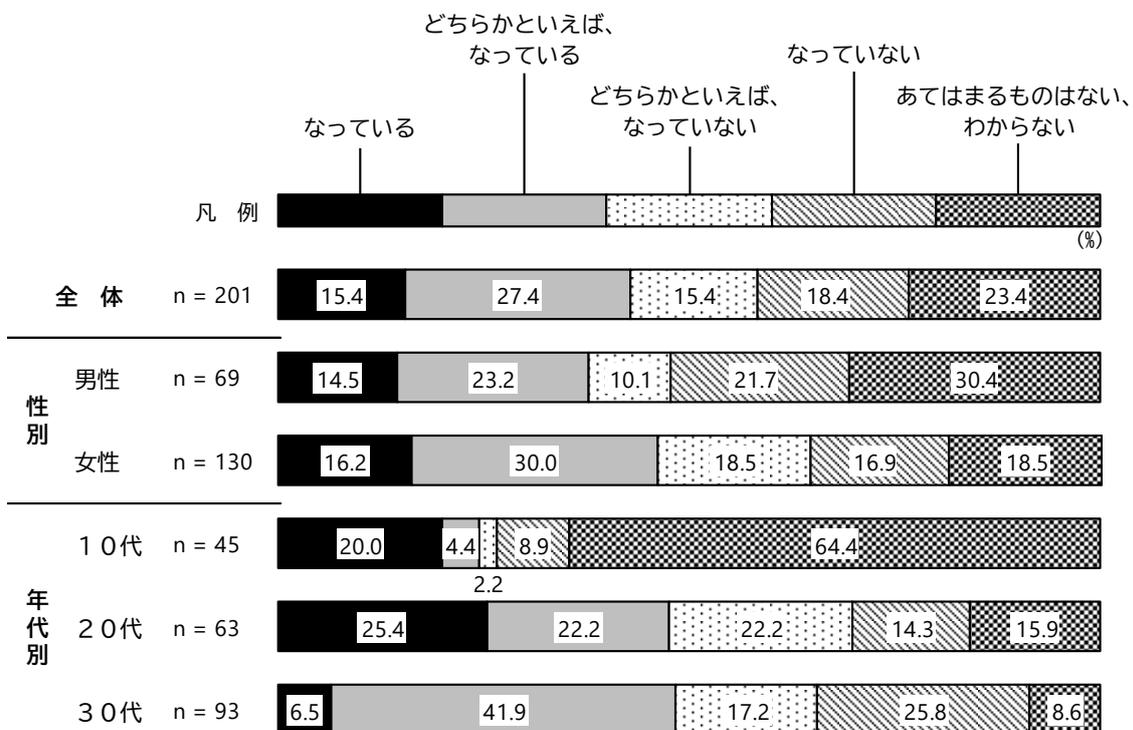
- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【学校】では、「どちらかといえば、なっている」が 29.9%と最も高く、次いで、「なっていない」(26.9%)、「なっている」(14.9%)、「どちらかといえば、なっていない」(11.9%)となっています。なお、「あてはまるものはない、わからない」が 16.4%となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、「なっている」、「どちらかといえば、なっている」、「どちらかといえば、なっていない」との回答は概ね年代が上がるにつれて低く、「なっていない」、「あてはまるものはない、わからない」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

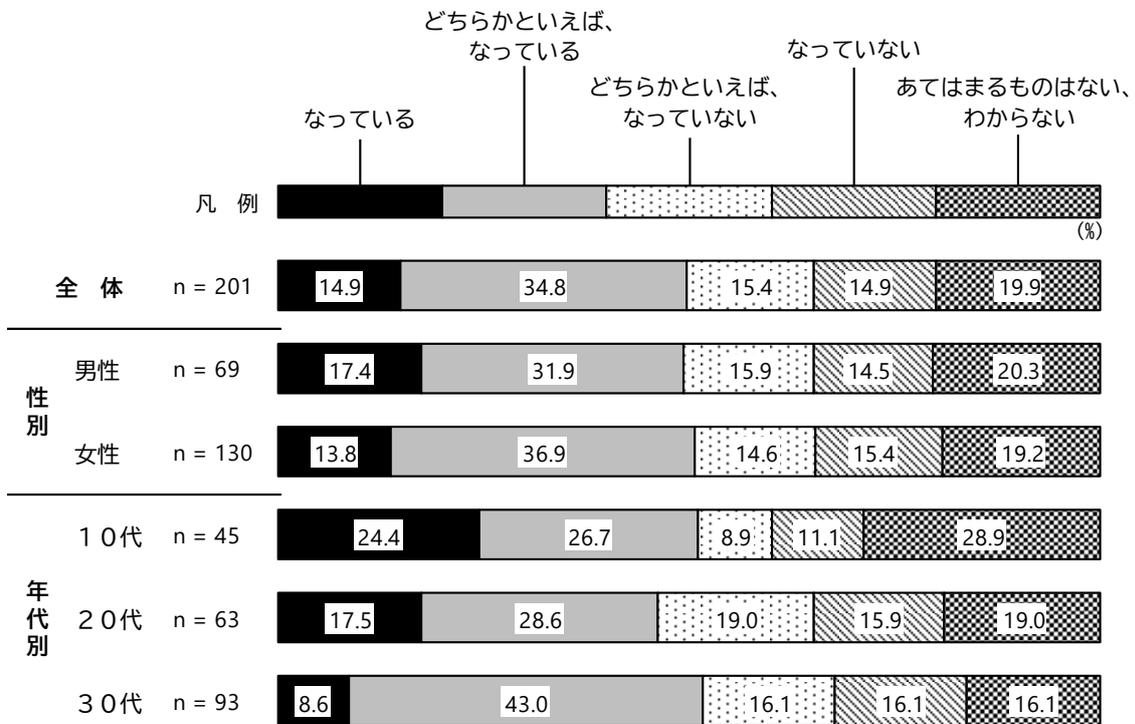
■職場（過去の職場を含む）

- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【職場】では、「どちらかといえば、なっている」が 27.4%と最も高く、次いで、「なっていない」(18.4%)、「なっている」、「どちらかといえば、なっていない」(いずれも 15.4%)となっています。なお、「あてはまるものはない、わからない」が 23.4%となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「あてはまるものはない、わからない」(30.4%) が 11.9 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『30代』では他の年代と比べて「なっている」(6.5%) が約 14~19 ポイント低くなっています。「どちらかといえば、なっている」、「なっていない」との回答は年代が上がるにつれて高く、「あてはまるものはない、わからない」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。



■地域（図書館や公民館、公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物、又は人とのつながりなど）

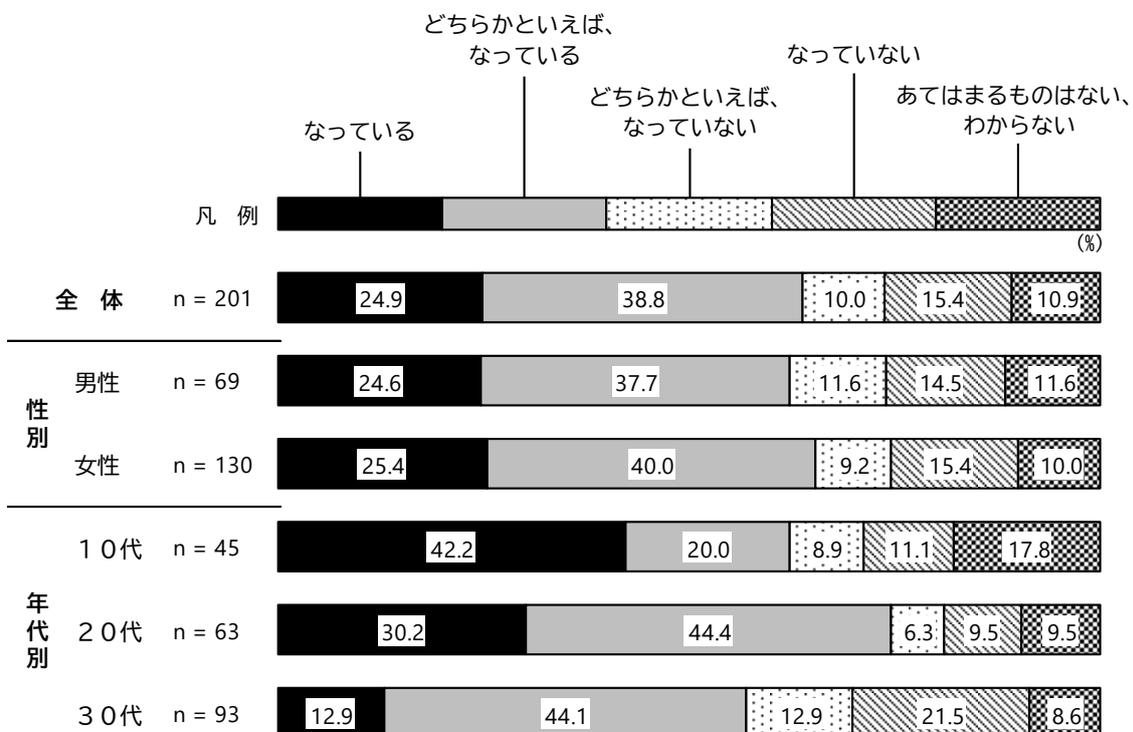
- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【地域】では、「どちらかといえば、なっている」が34.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、なっていない」（15.4%）、「なっている」、「なっていない」（いずれも14.9%）となっています。なお、「あてはまるものはない、わからない」が19.9%となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、なっている」（36.9%）がやや高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「なっている」、「あてはまるものはない、わからない」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。『30代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、なっている」（43.0%）が約14~16ポイント高くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

■インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）

- ▶ 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっているかについて、【インターネット空間】では、「どちらかといえば、なっている」が38.8%と最も高く、次いで、「なっている」(24.9%)、「なっていない」(15.4%)、「どちらかといえば、なっていない」(10.0%)となっています。なお、「あてはまるものはない、わからない」が10.9%となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、「なっている」との回答は年代が上がるにつれて低くなっており、「なっている」が42.2%と最も高い『10代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、なっている」(20.0%)が約24ポイント低くなっています。



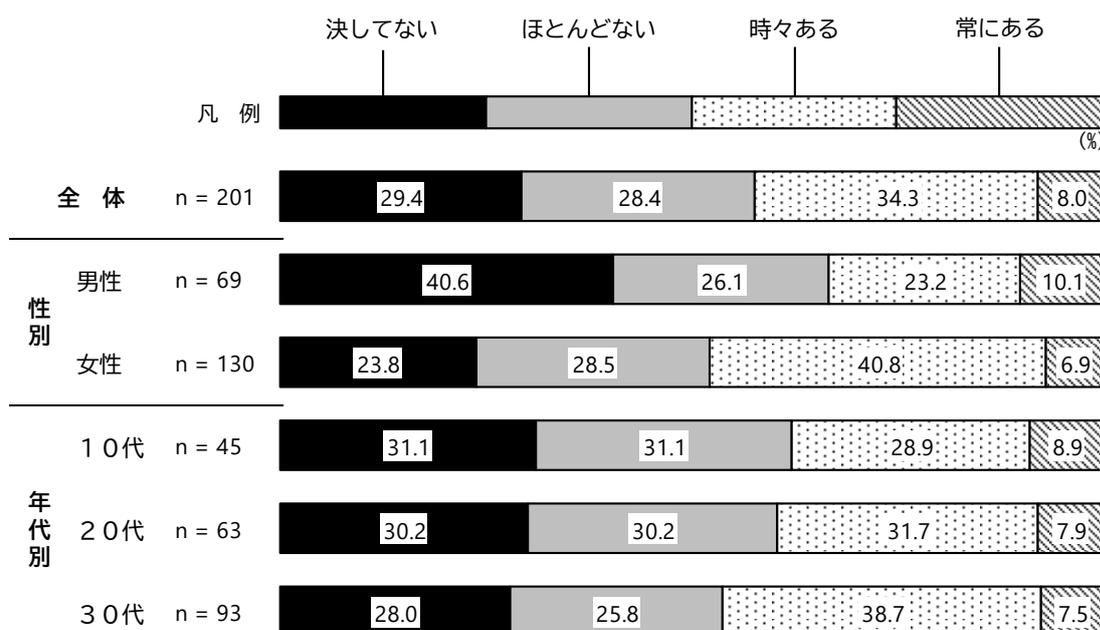
3-7 孤独や孤立を感じる頻度

問14 あなたは、次のように感じる事が、どのくらいありますか。

(それぞれ1つずつ選択)

■自分には人とのつきあいがないと感じる

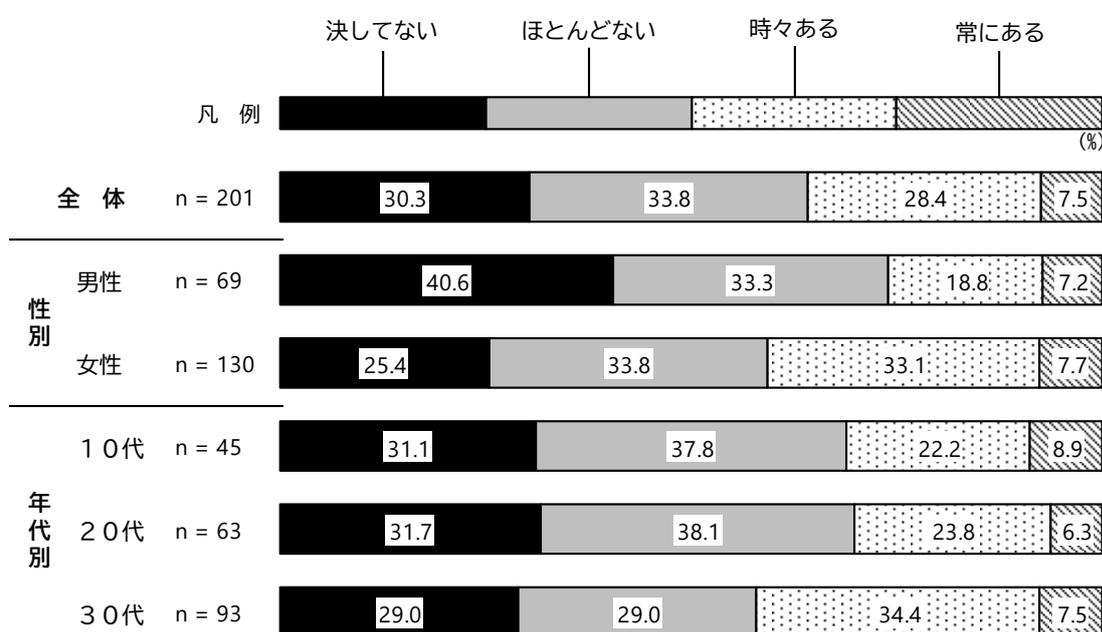
- ▶ 【自分には人とのつきあいがないと感じる】頻度について、「時々ある」が34.3%と最も高く、次いで、「決してない」(29.4%)、「ほとんどない」(28.4%)、「常にある」(8.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「決してない」(40.6%)が16.8ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「時々ある」(40.8%)が17.6ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『30代』では他の年代と比べて「時々ある」(38.7%)がやや高くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

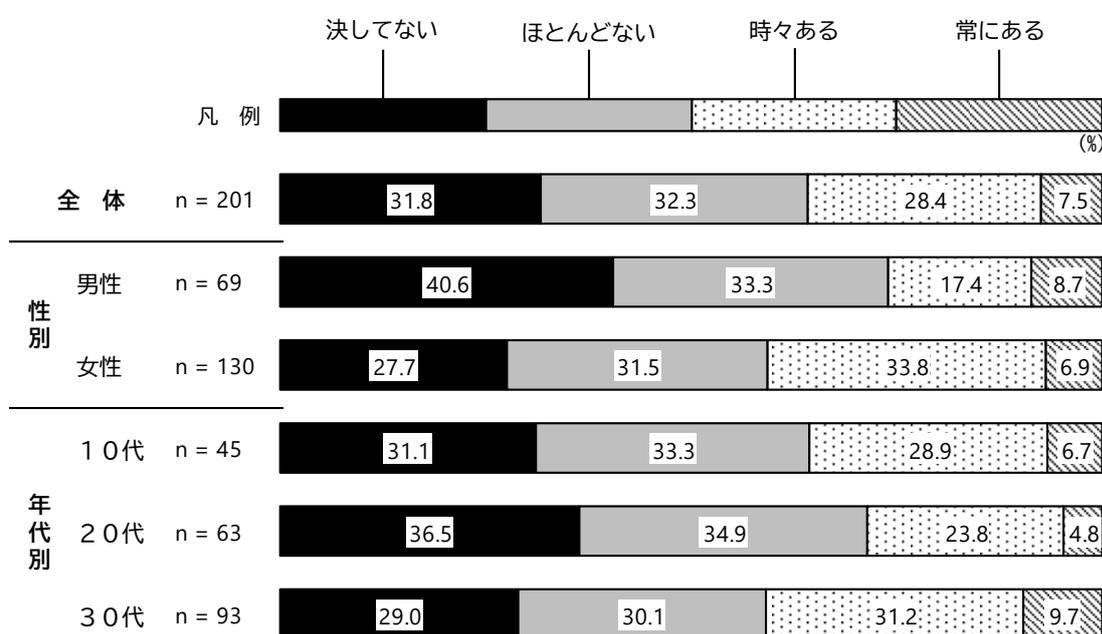
■自分を取り残されていると感じる

- ▶ 【自分を取り残されていると感じる】頻度について、「ほとんどない」が33.8%と最も高く、次いで、「決してない」(30.3%)、「時々ある」(28.4%)、「常にある」(7.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「決してない」(40.6%)が15.2ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「時々ある」(33.1%)が14.3ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『30代』では他の年代と比べて「時々ある」(34.4%)が約11~12ポイント高くなっています。



■自分ほかの人たちから孤立していると感じる

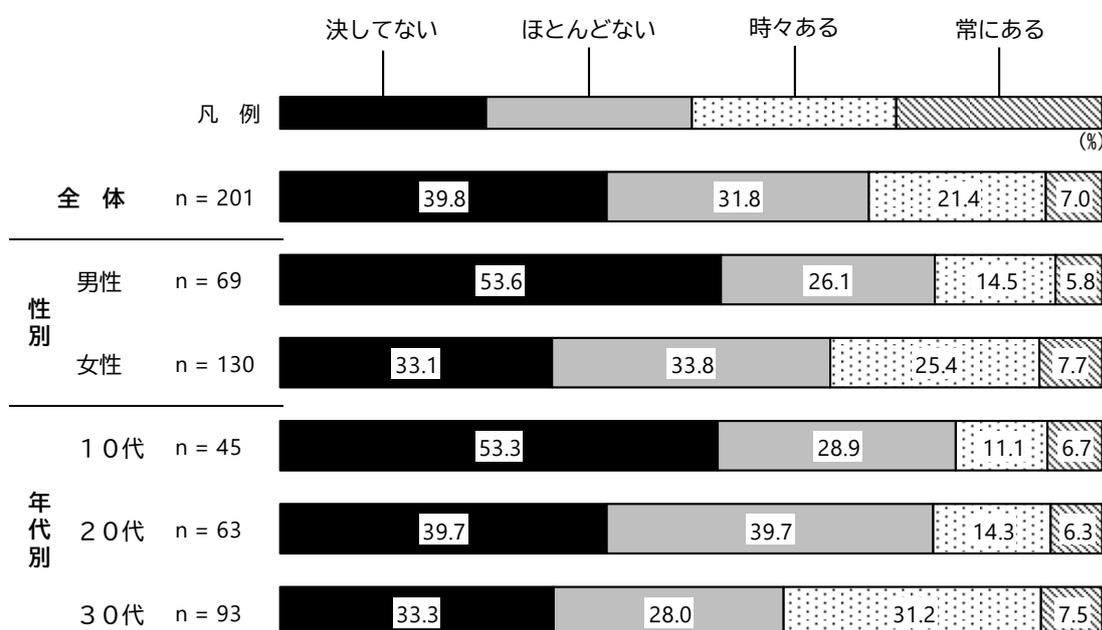
- ▶ 【自分ほかの人たちから孤立していると感じる】頻度について、「ほとんどない」が32.3%と最も高く、次いで、「決してない」(31.8%)、「時々ある」(28.4%)、「常にある」(7.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「決してない」(40.6%)が12.9ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「時々ある」(33.8%)が16.4ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『20代』では他の年代と比べて「決してない」(36.5%)がやや高く、「時々ある」(23.8%)がやや低くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

■孤独であると感じる

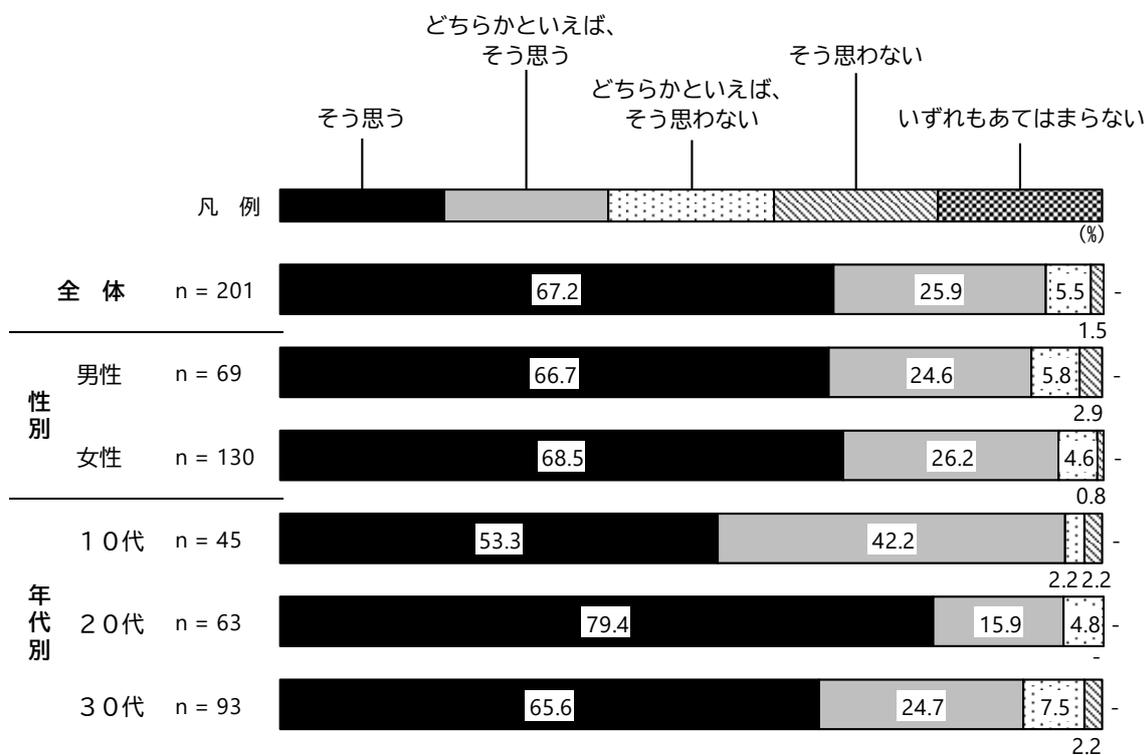
- ▶ 【孤独であると感じる】頻度について、「決してない」が39.8%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(31.8%)、「時々ある」(21.4%)、「常にある」(7.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「決してない」(53.6%)が20.5ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「時々ある」(25.4%)が10.9ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「決してない」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。『20代』では「ほとんどない」(39.7%)が約11~12ポイント、『30代』では「時々ある」(31.2%)が約17~20ポイント、他の年代と比べて高くなっています。



3-8 家族・親族は困ったときに助けてくれるか

問 15 家族・親族は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

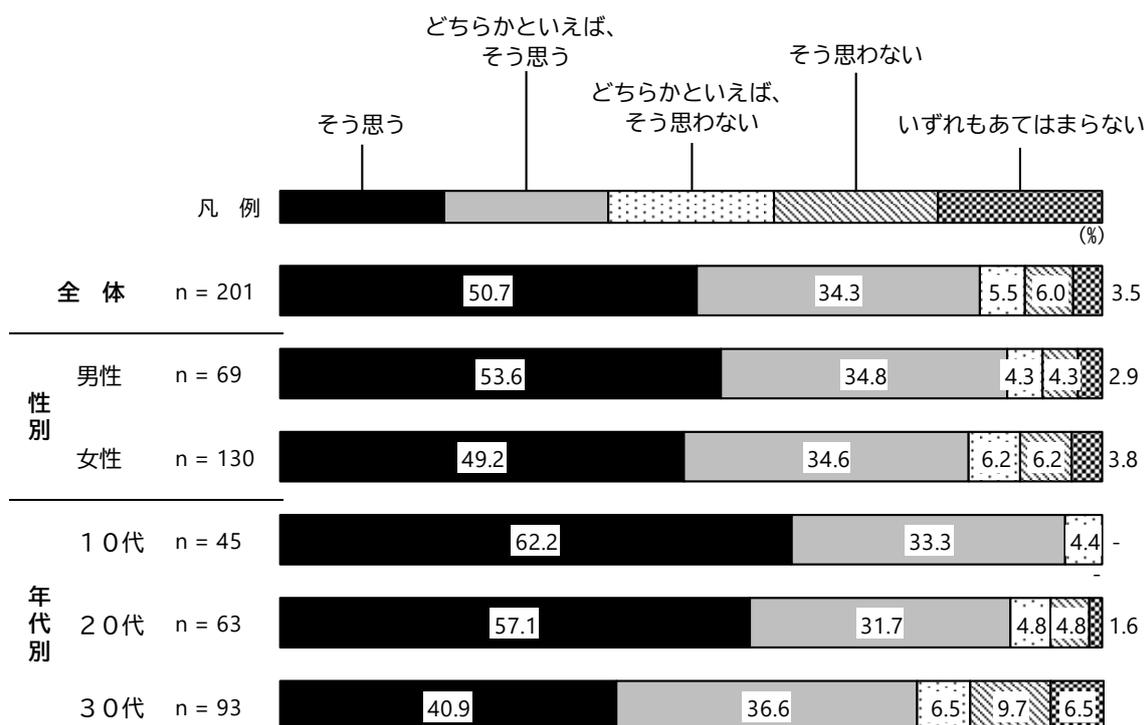
- ▶ 家族・親族は困ったときに助けてくれるかについては、「そう思う」が67.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(25.9%)、「どちらかといえば、そう思わない」(5.5%)、「そう思わない」(1.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、『20代』、『30代』では『10代』と比べて「そう思う」が約12～26ポイント高く、『10代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思う」(42.2%)が約18～26ポイント高くなっています。



3-9 学校で出会った友人は困ったときに助けてくれるか

問16 学校で出会った友人は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

- ▶ 学校で出会った友人は困ったときに助けてくれるかについては、「そう思う」が50.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(34.3%)、「そう思わない」(6.0%)、「どちらかといえば、そう思わない」(5.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、「そう思う」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。

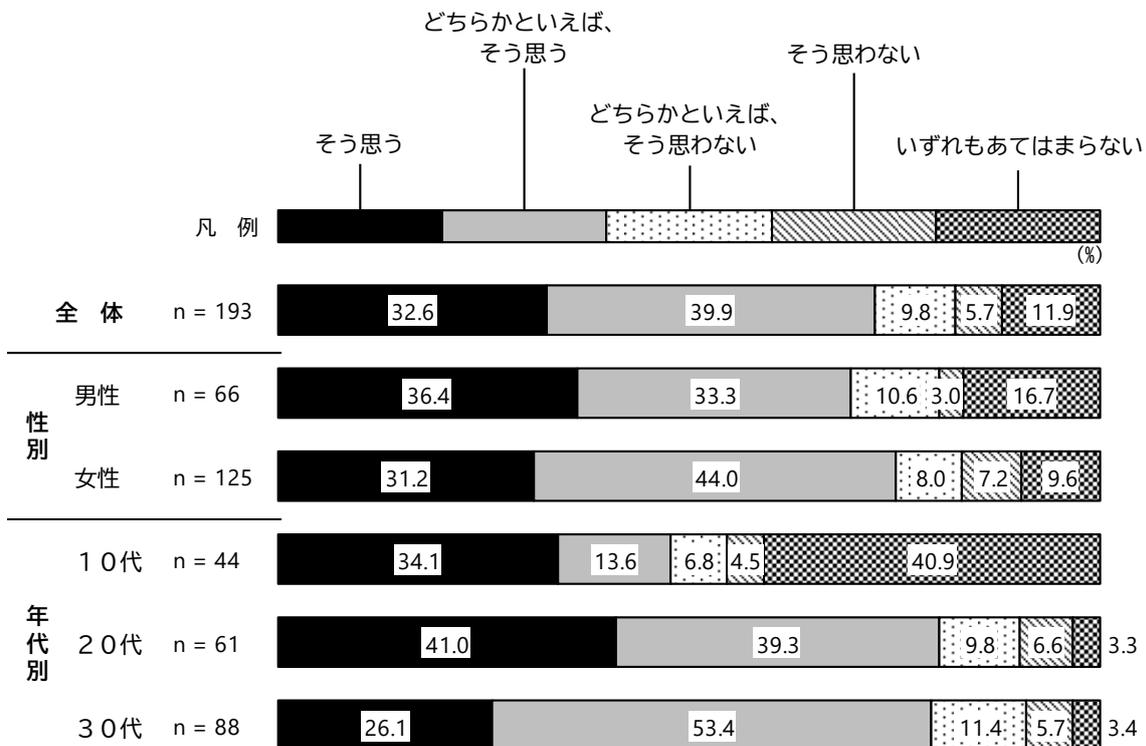


3-10 職場・アルバイト関係の人は困ったときに助けてくれるか

【問6で、学生または就業しているとお答えになった方にお聞きします。】

問17 職場・アルバイト関係の人は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

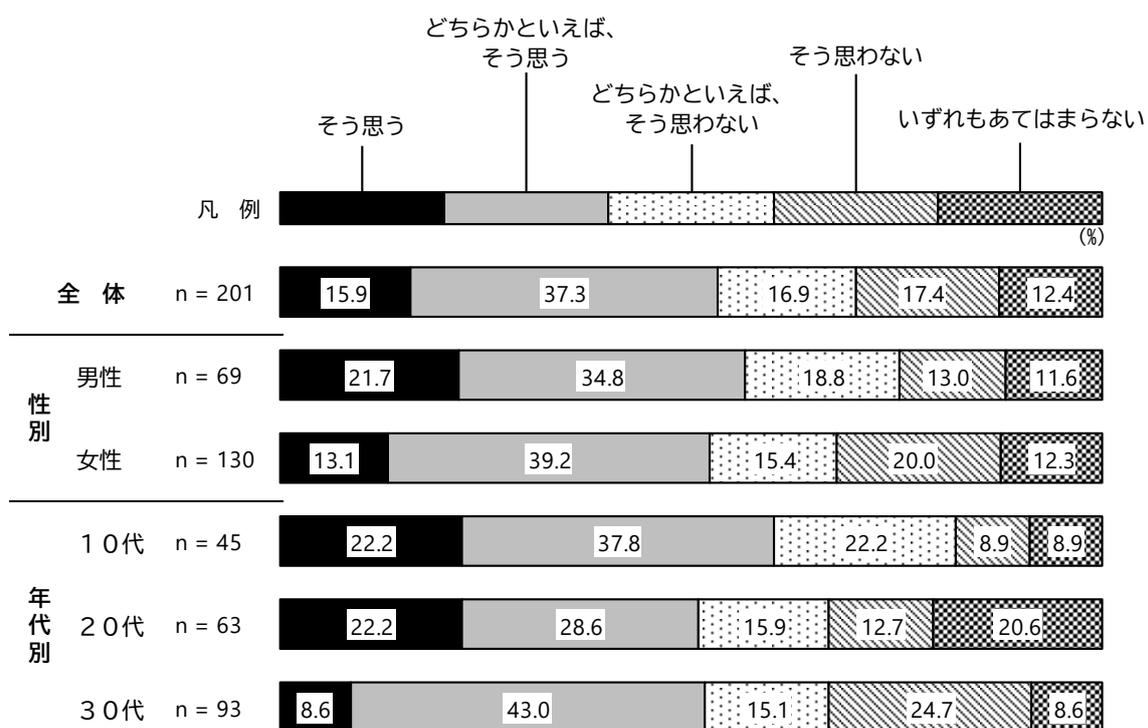
- ▶ 職場・アルバイト関係の人は困ったときに助けてくれるかについては、「どちらかといえば、そう思う」が39.9%と最も高く、次いで、「そう思う」(32.6%)「どちらかといえば、そう思わない」(9.8%)、「そう思わない」(5.7%)となっています。なお、「いずれもあてはまらない」が11.9%となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思う」(44.0%)が10.7ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「いずれもあてはまらない」(40.9%)が約38ポイント高くなっています。



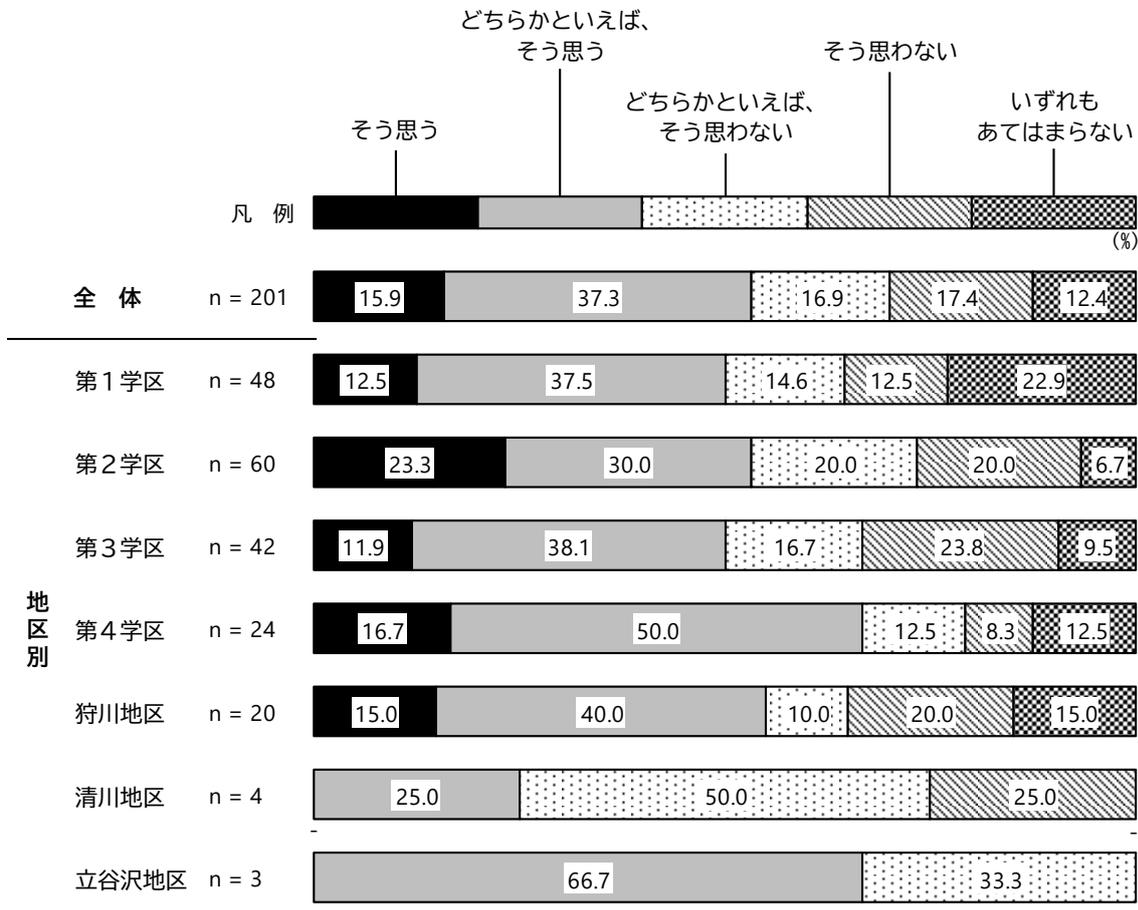
3-11 地域の人困ったときに助けてくれるか

問 18 地域の方は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

- ▶ 地域の方は困ったときに助けてくれるかについては、「どちらかといえば、そう思う」が37.3%と最も高く、次いで、「そう思わない」(17.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(16.9%)、「そう思う」(15.9%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『男性』では『女性』と比べて「そう思う」(21.7%)がやや高く、『女性』では『男性』と比べて「そう思わない」(20.0%)がやや高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『30代』では「そう思わない」(24.7%)が約12~16ポイント、『20代』では「いずれもあてはまらない」(20.6%)が約12ポイント、他の年代と比べて高くなっています。また、『30代』では他の年代と比べて「そう思う」(8.6%)が13.6ポイント低くなっています。



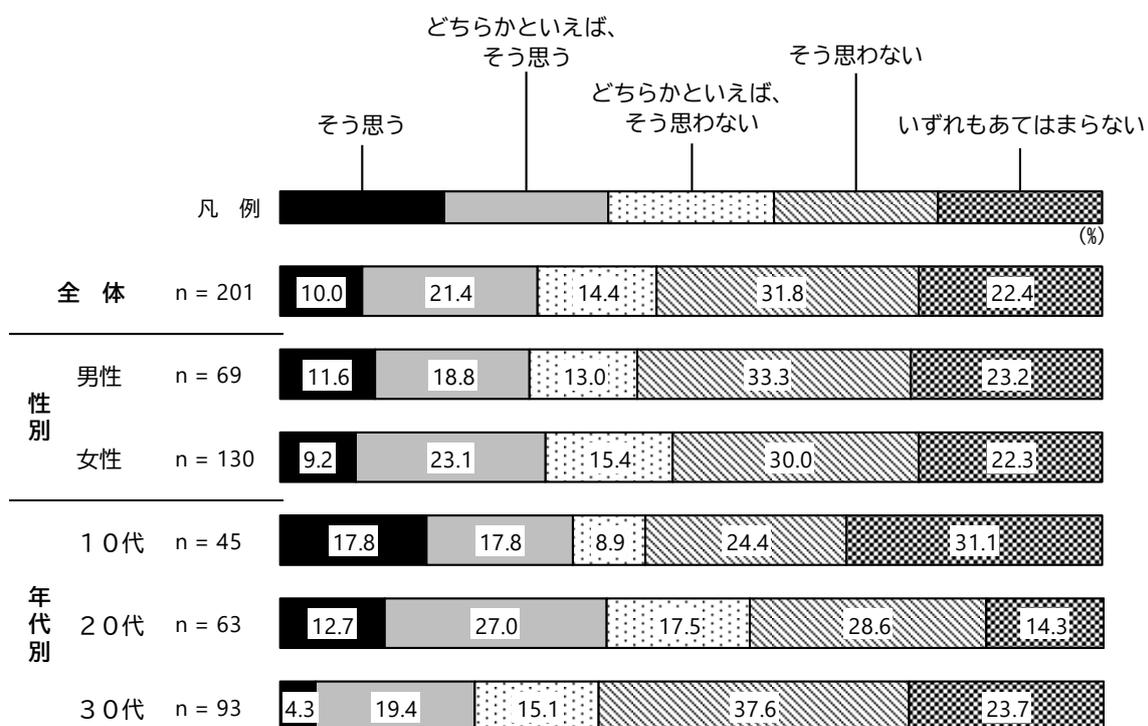
▶ 地区別にみると、調査数に差があることに留意が必要ですが、『第2学区』では他の地区と比べて「そう思う」(23.3%) がやや高くなっています。また、ほとんどの地区では「どちらかといえば、そう思う」が最も高くなっています。



3-12 インターネット上における人やグループは困ったときに助けてくれるか

問 19 インターネット上における人やグループはあなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

- ▶ インターネット上における人やグループは困ったときに助けてくれるかについては、「そう思わない」が 31.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(21.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(14.4%)、「そう思う」(10.0%)となっています。なお、「いずれもあてはまらない」が 22.4%となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、「そう思う」との回答は年代が上がるにつれて低く、「そう思わない」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。

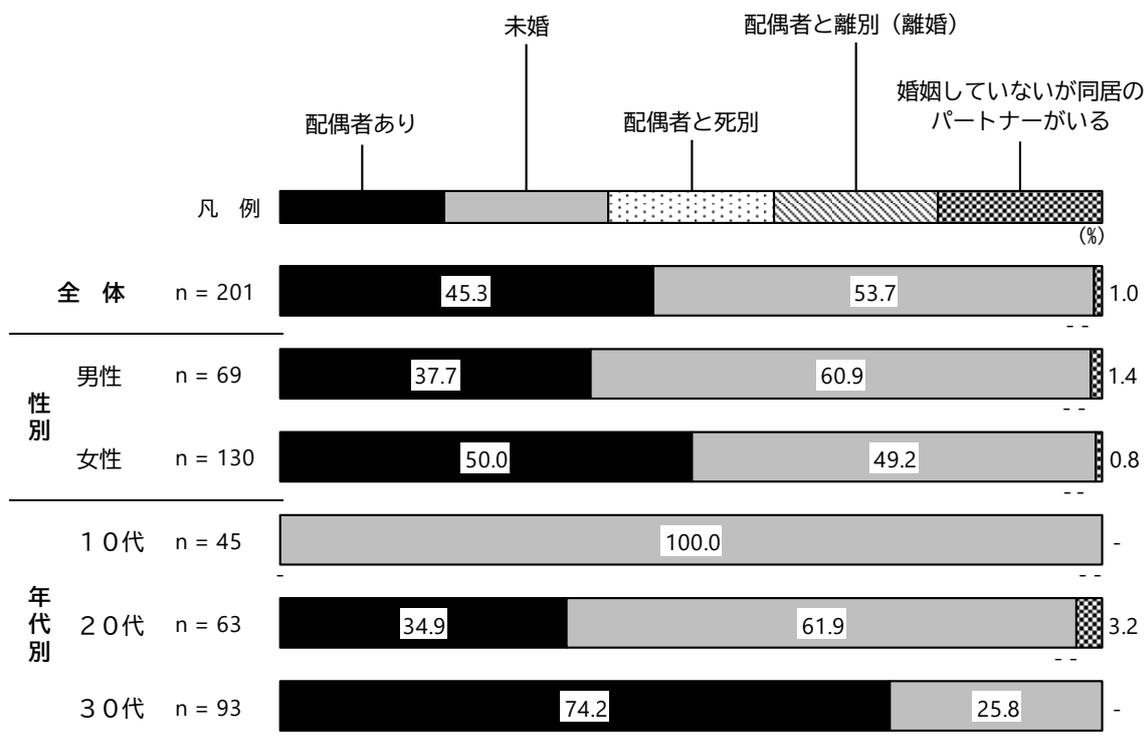


4 結婚について

4-1 結婚状況

問 20 あなたの結婚状況をお答えください。

- ▶ 結婚状況については、「未婚」が53.7%と最も高く、次いで、「配偶者あり」(45.3%)、「婚姻していないが同居のパートナーがいる」(1.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「配偶者あり」(50.0%)が12.3ポイント高く、『男性』では『女性』と比べて「未婚」(60.9%)が11.7ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「配偶者あり」との回答は年代が上がるにつれて高くなっており、『10代』では回答がありませんでした。「未婚」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。

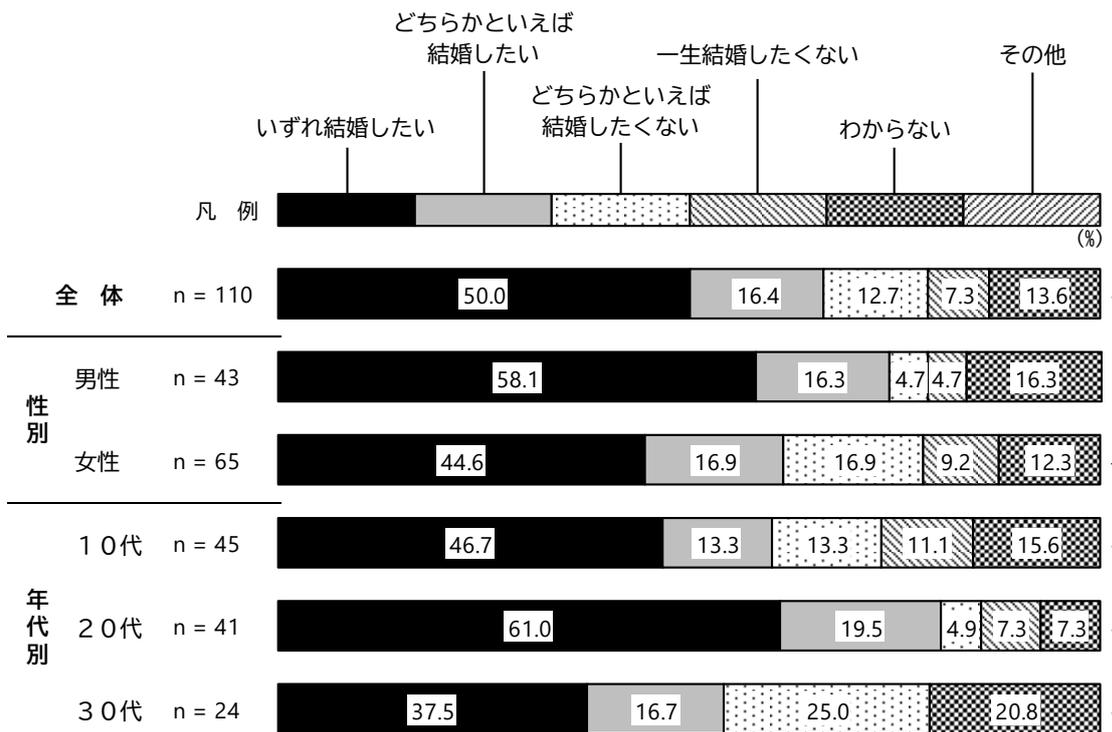


4-2 将来結婚したいと思うか

【問 20 で、配偶者がいないとお答えになった方にお聞きします。】

問 21 あなたは、将来結婚したいと思いますか。

- ▶ 将来結婚したいと思うかについては、「いずれ結婚したい」が 50.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば結婚したい」(16.4%)、「どちらかといえば結婚したくない」(12.7%)、「一生結婚したくない」(7.3%)となっています。なお、「わからない」が 13.6%となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「いずれ結婚したい」(58.1%)が 13.5 ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば結婚したくない」(16.9%)が 12.2 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『20代』では「いずれ結婚したい」(61.0%)が約 14~24 ポイント、『30代』では「どちらかといえば結婚したくない」(25.0%)が約 12~20 ポイント、他の年代と比べて高くなっています。「一生結婚したくない」との回答は年代が上がるにつれて低くなっており、『30代』では回答がありませんでした。



4-3 結婚したくない理由

【問 20 で、「どちらかといえば結婚したくない」「一生結婚したくない」とお答えになった方にお聞きします。】

問 22 結婚したくない理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 結婚したくない理由については、「自分の趣味や娯楽を楽しみたいから」が 68.2%と最も高く、次いで、「1人でも不便を感じないから」、「家族を持つと責任が重くなるから」(いずれも 45.5%)、「結婚までのみちのりが面倒くさいから」(31.8%)となっています。
- ▶ 性別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『男性』では『女性』と比べて「自分の趣味や娯楽を楽しみたいから」(100.0%)、「1人でも不便を感じないから」(75.0%)、「結婚までのみちのりが面倒くさいから」(50.0%) が約 21~41 ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「周囲やマスコミから結婚や出産、子育ては大変だと聞くから」(35.3%)、「配偶者(パートナー)の親や親戚とのつきあいが大変だから」(35.3%) が約 10 ポイント高くなっています。また、『女性』では『男性』で 50.0%となった「仕事に打ち込みたいから」は回答がなく、『男性』では『女性』で 35.3%となった「異性とうまくつきあえないから」は回答がありませんでした。
- ▶ 年代別にみると、調査数が少ないことに留意が必要ですが、『30代』では他の年代と比べて「配偶者(パートナー)の親や親戚とのつきあいが大変だから」(66.7%)、「周囲やマスコミから結婚や出産、子育ては大変だと聞くから」(50.0%)、「異性とうまくつきあえないから」(50.0%) が約 23~49 ポイント高くなっています。一方、『10代』では他の年代と比べて「家族を持つと責任が重くなるから」(36.4%) が約 14~24 ポイント低くなっています。「自分の趣味や娯楽を楽しみたいから」、「1人でも不便を感じないから」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。

		n	自分の趣味や娯楽を楽しみたいから	1人でも不便を感じないから	家族を持つと責任が重くなるから	結婚までのみちのりが面倒くさいから	周囲やマスコミから結婚や出産、子育ては大変だと聞くから	配偶者(パートナー)の親や親戚とのつきあいが大変だから	異性とうまくつきあえないから	経済的に余裕のある暮らしがしたいから	仕事に打ち込みたいから	その他
全体		22	68.2	45.5	45.5	31.8	31.8	31.8	27.3	18.2	9.1	13.6
性別	男性	4	100.0	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0	-
	女性	17	58.8	41.2	41.2	29.4	35.3	35.3	35.3	17.6	-	17.6
年代別	10代	11	90.9	63.6	36.4	27.3	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	9.1
	20代	5	60.0	40.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-
	30代	6	33.3	16.7	50.0	33.3	50.0	66.7	50.0	16.7	-	33.3

※上位 10 項目を抜粋して掲載しています。

4-4 結婚につながると思う出会いのシーン

問 23 あなたにとって、結婚につながると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。
(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 結婚につながると思う出会いのシーンについては、「職場・バイト先」が55.2%と最も高く、次いで、「家族・知人の紹介」、「学校・大学」(いずれも51.7%)、「趣味を共有する場」(39.8%)となっている。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『女性』では『男性』と比べて「家族・知人の紹介」(55.4%)、「学校・大学」(53.8%)、「婚活イベント」(26.9%)がやや高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『20代』では他の年代と比べて「学校・大学」(41.3%)が約11~23ポイント低くなっています。「家族・知人の紹介」、「趣味を共有する場」、「合コン、飲み会」、「マッチングアプリ」、「婚活イベント」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。なお、『10代』では他の年代と比べて「わからない」(22.2%)が約14~18ポイント高くなっています。

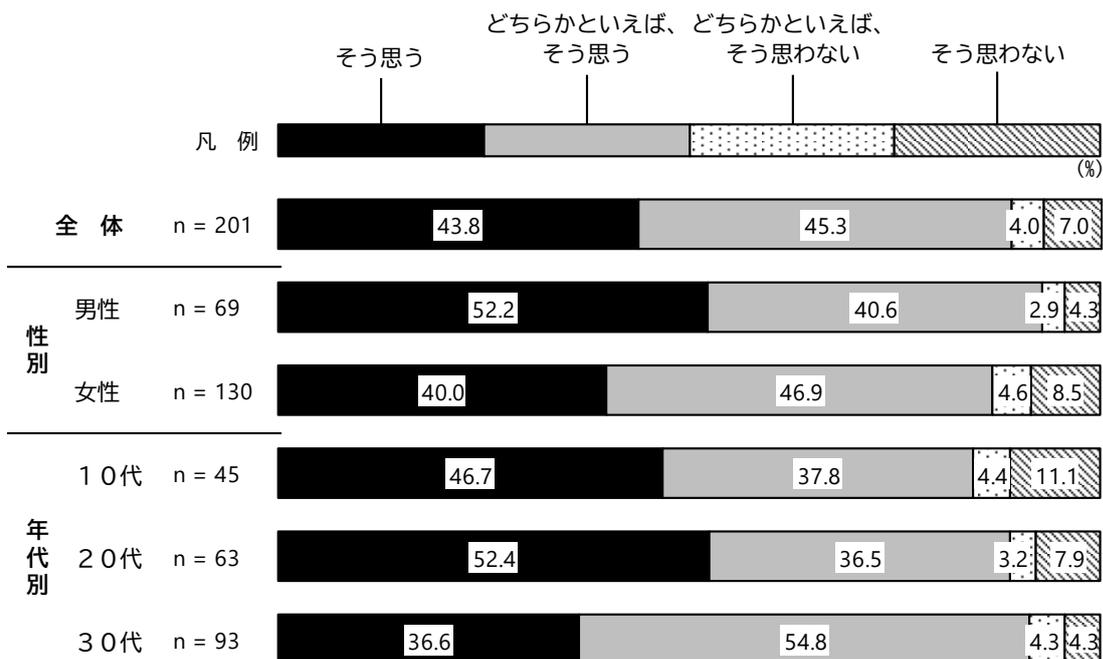
		n	職場・バイト先	家族・知人の紹介	学校・大学	趣味を共有する場	合コン、飲み会	マッチングアプリ	婚活イベント	インターネット、SNS	その他	わからない
全体		201	55.2	51.7	51.7	39.8	34.3	26.4	24.9	17.9	1.0	9.5
性別	男性	69	56.5	46.4	47.8	39.1	31.9	24.6	21.7	17.4	-	11.6
	女性	130	54.6	55.4	53.8	40.0	35.4	27.7	26.9	18.5	1.5	7.7
年代別	10代	45	57.8	22.2	64.4	28.9	28.9	8.9	11.1	13.3	-	22.2
	20代	63	49.2	49.2	41.3	33.3	30.2	28.6	15.9	23.8	-	7.9
	30代	93	58.1	67.7	52.7	49.5	39.8	33.3	37.6	16.1	2.2	4.3

4-5 結婚に対して持っているイメージ

問 24 あなたは結婚に対してどんなイメージや考えを持っていますか。あなたの考えにもっとも近いと思うものをお答えください。(それぞれ1つずつ選択)

■パートナーとの絆を深めるために必要だ

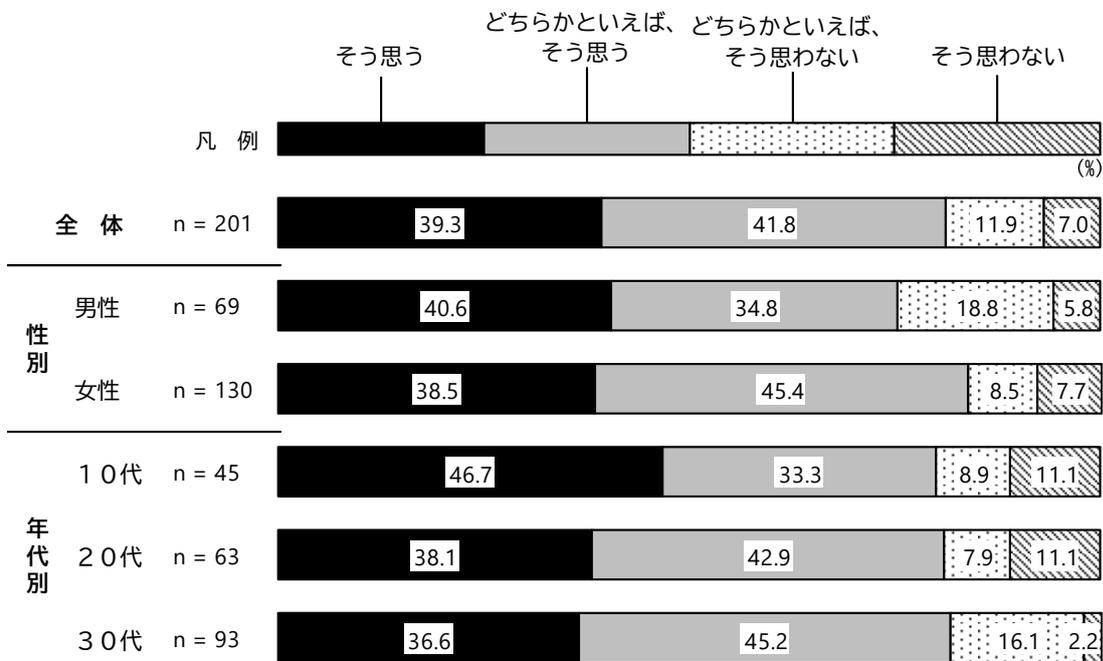
- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【パートナーとの絆を深めるために必要だ】では、「どちらかといえば、そう思う」が 45.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(43.8%)、「そう思わない」(7.0%)、「どちらかといえば、そう思わない」(4.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「そう思う」(52.2%)が 12.2 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『30代』では他の年代と比べて「そう思う」(36.6%)が約 10~16 ポイント低く、「どちらかといえば、そう思う」(54.8%)が約 17~18 ポイント高くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

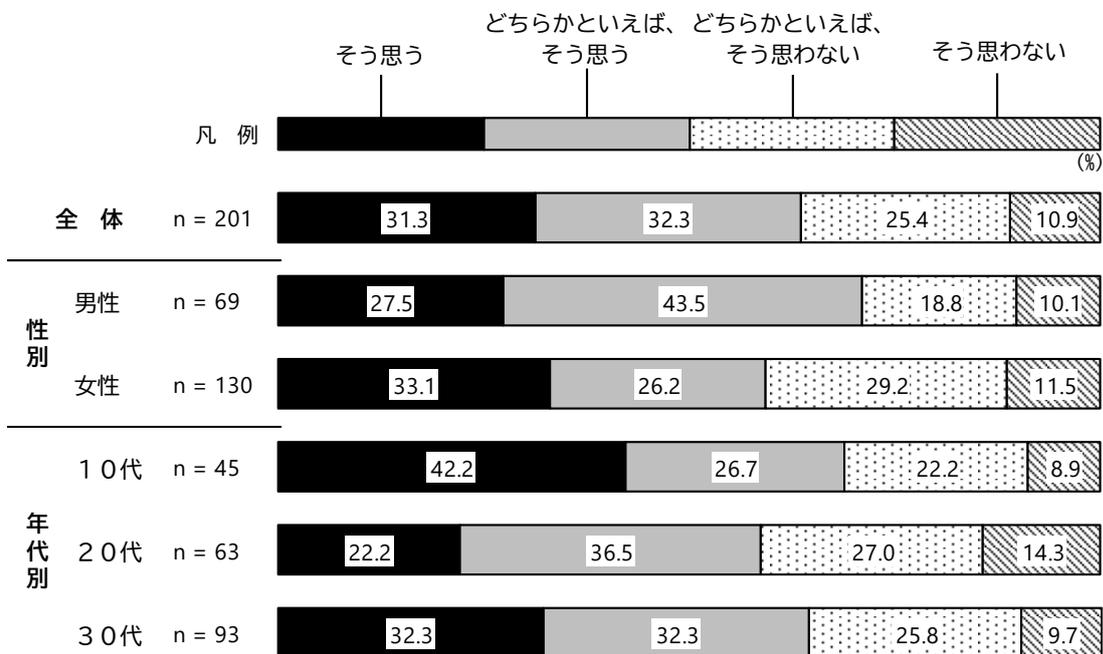
■経済面・心理面で安定した生活を送れる

- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【経済面・心理面で安定した生活を送れる】では、「どちらかといえば、そう思う」が 41.8%と最も高く、次いで、「そう思う」(39.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(11.9%)、「そう思わない」(7.0%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思う」(45.4%)が 10.6 ポイント高く、『男性』では『女性』と比べて「どちらかといえば、そう思わない」(18.8%)が 10.3 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、「そう思う」との回答は年代が上がるにつれて低く、「どちらかといえば、そう思う」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。



■結婚という形にこだわらなくても良い

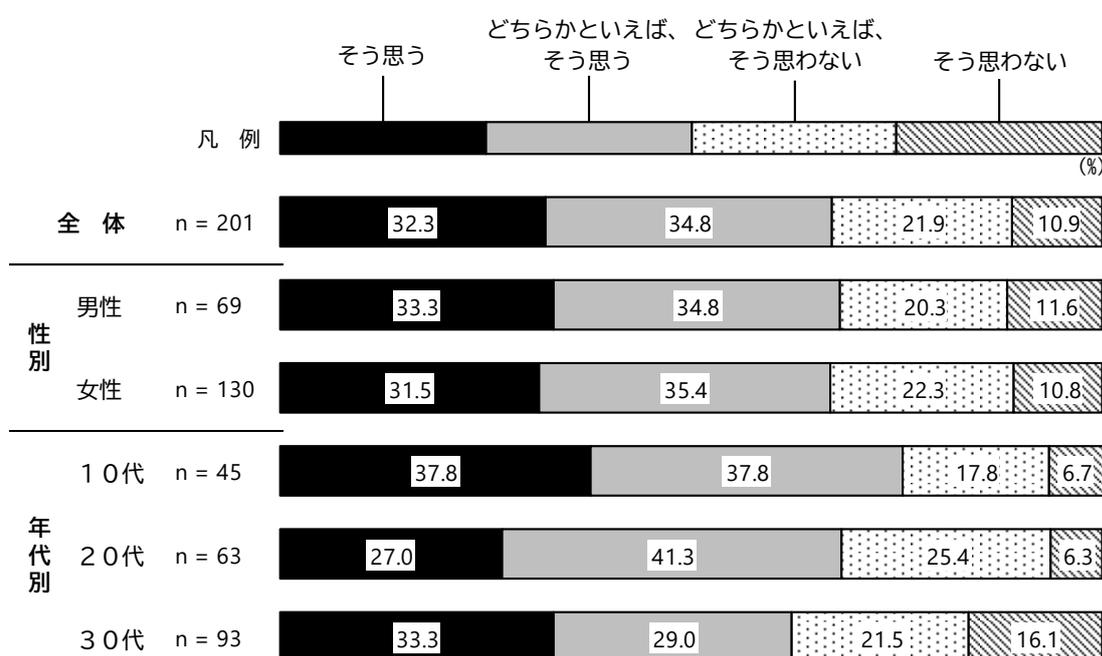
- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【結婚という形にこだわらなくても良い】では、「どちらかといえば、そう思う」が 32.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(31.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(25.4%)、「そう思わない」(10.9%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「どちらかといえば、そう思う」(43.5%)が 17.3 ポイント高く、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思わない」(29.2%)が 10.4 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『20代』では他の年代と比べて「そう思う」(22.2%)が約 10~20 ポイント低くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

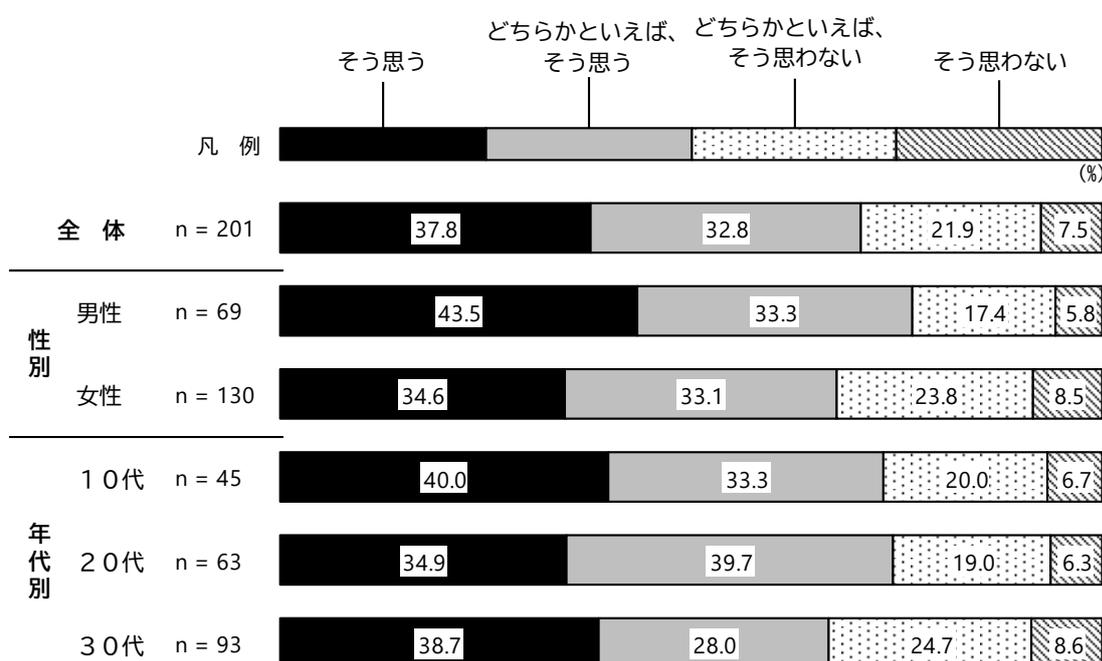
■子育て等の負担が増える

- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【子育て等の負担が増える】では、「どちらかといえば、そう思う」が34.8%と最も高く、次いで、「そう思う」(32.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(21.9%)、「そう思わない」(10.9%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『20代』では他の年代と比べて「そう思う」(27.0%)がやや低くなっています。『30代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思う」(29.0%)がやや低く、「そう思わない」(16.1%)がやや高くなっています。



■社会的責任が重くなる

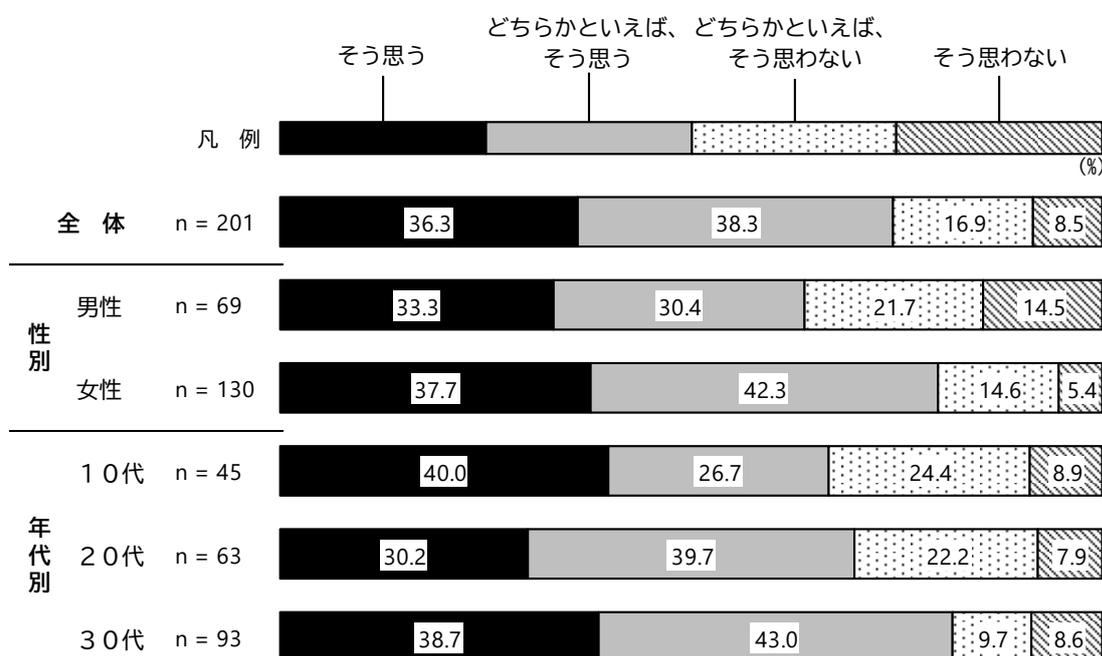
- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【社会的責任が重くなる】では、「そう思う」が37.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(32.8%)、「どちらかといえば、そう思わない」(21.9%)、「そう思わない」(7.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『男性』では『女性』と比べて「そう思う」(43.5%)がやや高く、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思わない」(23.8%)がやや高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『30代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思う」(28.0%)がやや低くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

■親族との付き合いが大変だ

- ▶ 結婚に対して持っているイメージについて、【親族との付き合いが大変だ】では、「どちらかといえば、そう思う」が38.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(36.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(16.9%)、「そう思わない」(8.5%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「どちらかといえば、そう思う」(42.3%)が11.9ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思う」(26.7%)が約13~16ポイント低く、『30代』では他の年代と比べて「どちらかといえば、そう思わない」(9.7%)が約13~15ポイント低くなっています。

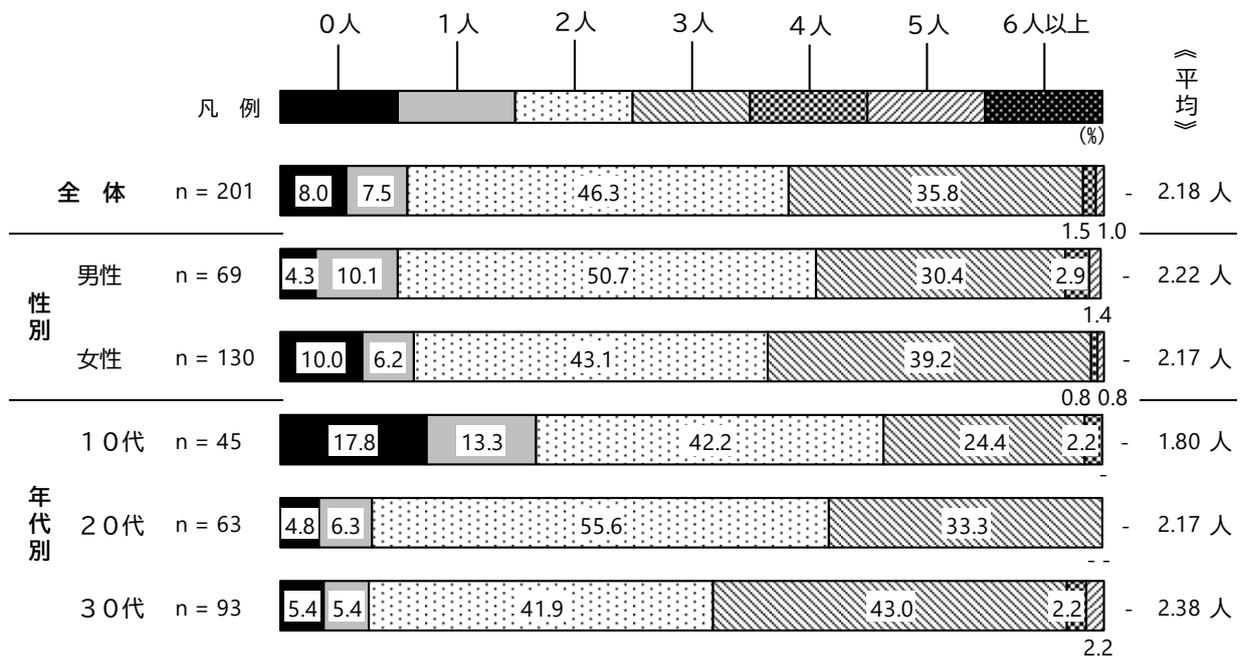


5 子育てや家族のケア等について

5-1 理想的と思うこどもの人数

問 25 あなたにとって理想的な、こどもの人数は何人ですか。(数字を入力)

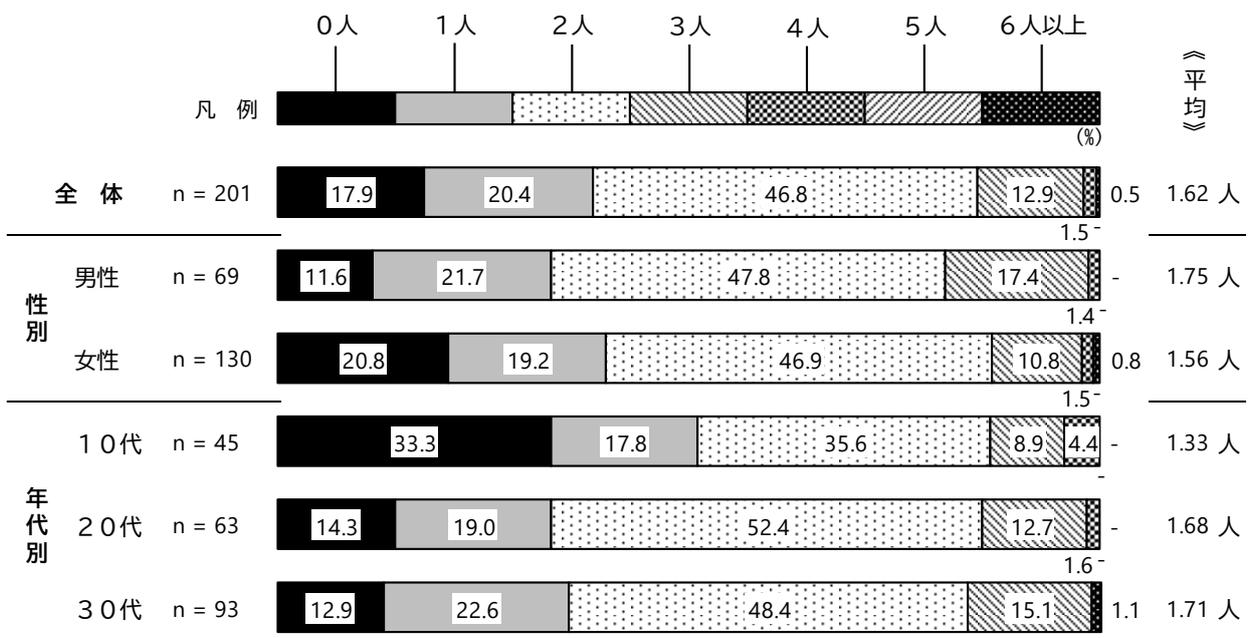
- ▶ 理想的と思うこどもの人数については、「2人」が46.3%と最も高く、次いで、「3人」(35.8%)、「0人」(8.0%)、「1人」(7.5%)となっています。なお、平均人数は2.18人となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『女性』では『男性』と比べて「0人」(10.0%)、「3人」(39.2%)がやや高く、『男性』では『女性』と比べて「2人」(50.7%)がやや高くなっています。平均人数については、『男性』が2.22人、『女性』が2.17人となっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では「0人」(17.8%)が約12~13ポイント、『20代』では「2人」(55.6%)が約13~14ポイント、他の年代と比べて高くなっています。「3人」との回答は年代が上がるにつれて高くなっています。平均人数については、年代が上がるにつれて多くなっています。



5-2 実際に持つと思うこどもの人数

問 26 あなたが実際に持つと思う、こどもの人数は何人ですか。(数字を入力)

- ▶ 実際に持つと思うこどもの人数については、「2人」が46.8%と最も高く、次いで、「1人」(20.4%)、「0人」(17.9%)、「3人」(12.9%)となっています。なお、平均人数は1.62人となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『女性』では『男性』と比べて「0人」(20.8%)がやや高く、『男性』では『女性』と比べて「3人」(17.4%)がやや高くなっています。平均人数については、『男性』が1.75人、『女性』が1.56人となっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「0人」(33.3%)が約19~20ポイント高く、「2人」(35.6%)が約13~17ポイント低くなっています。平均人数については、年代が上がるにつれて多くなっています。



5-3 こどもが欲しくない理由、理想よりも少なくなると思う理由

【問 25・問 26 で「0」と入力した方や、実際持つと思うこどもの人数（問 26）が理想の人数（問 25）と比べて少ない方にお聞きします。】

問 27 こどもが欲しくない理由、または理想よりも少なくなりそうな理由は何ですか。

（あてはまるものをすべて選択）

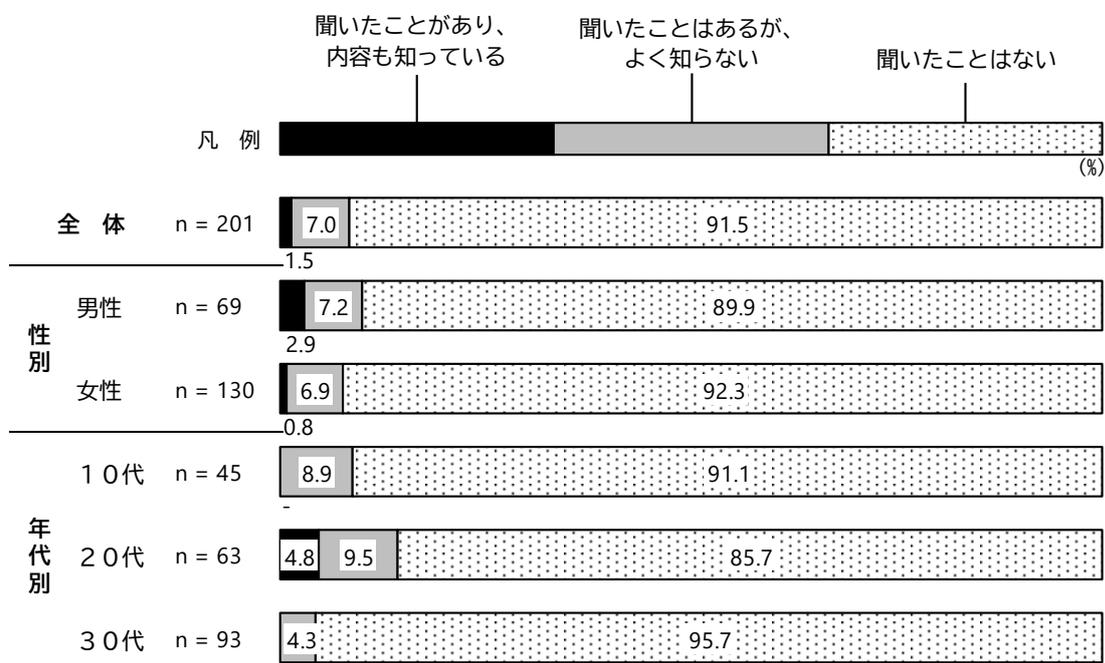
- ▶ こどもが欲しくない理由、理想よりも少なくなると思う理由については、「出産・育児にお金がかかるから」が 64.5%と最も高く、次いで、「育児と仕事の両立が大変だから」（49.1%）、「子育ての精神的・肉体的負担が大きいから」（46.4%）、「自分自身の時間的なゆとりがほしいから」（35.5%）となっています。
- ▶ 性別にみると、『男性』では『女性』と比べて「自分自身の時間的なゆとりがほしいから」（42.9%）、「本人または配偶者・パートナーの健康上・身体上の理由」（21.4%）が約 10 ポイント高く、『女性』で 10.0%となった「その他」は回答がありませんでした。「その他」の具体的な内容としては、「不妊治療や将来のお金の心配があるから」、「保護者との付き合いが大変そうだから」などとなっています。
- ▶ 年代別にみると、『30代』では他の年代と比べて「子育ての精神的・肉体的負担が大きいから」（53.6%）が約 10~18 ポイント高くなっています。一方、『10代』では「出産・育児にお金がかかるから」（52.2%）が約 12~22 ポイント、『20代』では「育児と仕事の両立が大変だから」（35.5%）が約 12~22 ポイント、他の年代と比べて低くなっています。「配偶者・パートナーがいないから」との回答は、年代が上がるにつれて低くなっています。

		n	から出産・育児にお金がかかる	から育児と仕事の両立が大変だ	担子が育ての精神的・肉体的負担が大きいから	が自分自身の時間的なゆとり	い配偶者・パートナーがいない	由ナ一人の健康上配偶者・身体上の理由	住まいが狭いから	もを欲しがらないから	その他	無回答
全体		110	64.5	49.1	46.4	35.5	30.9	13.6	5.5	-	7.3	6.4
性別	男性	28	67.9	53.6	50.0	42.9	32.1	21.4	3.6	-	-	7.1
	女性	80	62.5	48.8	46.3	32.5	30.0	11.3	6.3	-	10.0	6.3
年代別	10代	23	52.2	47.8	43.5	39.1	47.8	13.0	4.3	-	13.0	-
	20代	31	74.2	35.5	35.5	29.0	35.5	12.9	-	-	3.2	9.7
	30代	56	64.3	57.1	53.6	37.5	21.4	14.3	8.9	-	7.1	7.1

5-4 プレコンセプションケアの認知度

問 28 「プレコンセプションケア」（通称「プレコン」）という言葉を知っていますか。

- ▶ プレコンセプションケアの認知度については、「聞いたことはない」が91.5%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、よく知らない」（7.0%）、「聞いたことがあり、内容も知っている」（1.5%）となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『20代』では他の年代と比べて「聞いたことはない」（85.7%）がやや低く、他の年代で回答がない「聞いたことがあり、内容も知っている」が4.8%となっています。



5-5 プレコンセプションケアの認知度を上げるために必要と思うこと

問 29 プレコンセプションケアの認知度を上げるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

※プレコンセプションケアとは、「プレ (Pre)」は「～前の」、「コンセプション (Conception)」は「妊娠・受胎」という意味で、「妊娠前からのケア」を指し、若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うことです。

- ▶ プレコンセプションケアの認知度を上げるために必要と思うことについては、「学校等でのプレコンセプションケアの推進」が 70.1%と最も高く、次いで、「市のホームページやSNSでの周知」(38.3%)、「性教育・健康セミナーの内容の充実」(37.8%)、「リーフレットの製作・配布」(29.4%)となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「リーフレットの製作・配布」(33.8%)が 12.1 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、「市のホームページやSNSでの周知」、「リーフレットの製作・配布」との回答は年代が上がるにつれて高く、「学校等でのプレコンセプションケアの推進」との回答は年代が下がるにつれて低くなっています。『30代』では他の年代と比べて「リーフレットの製作・配布」(41.9%)が約 23~24 ポイント高くなっています。

(%)

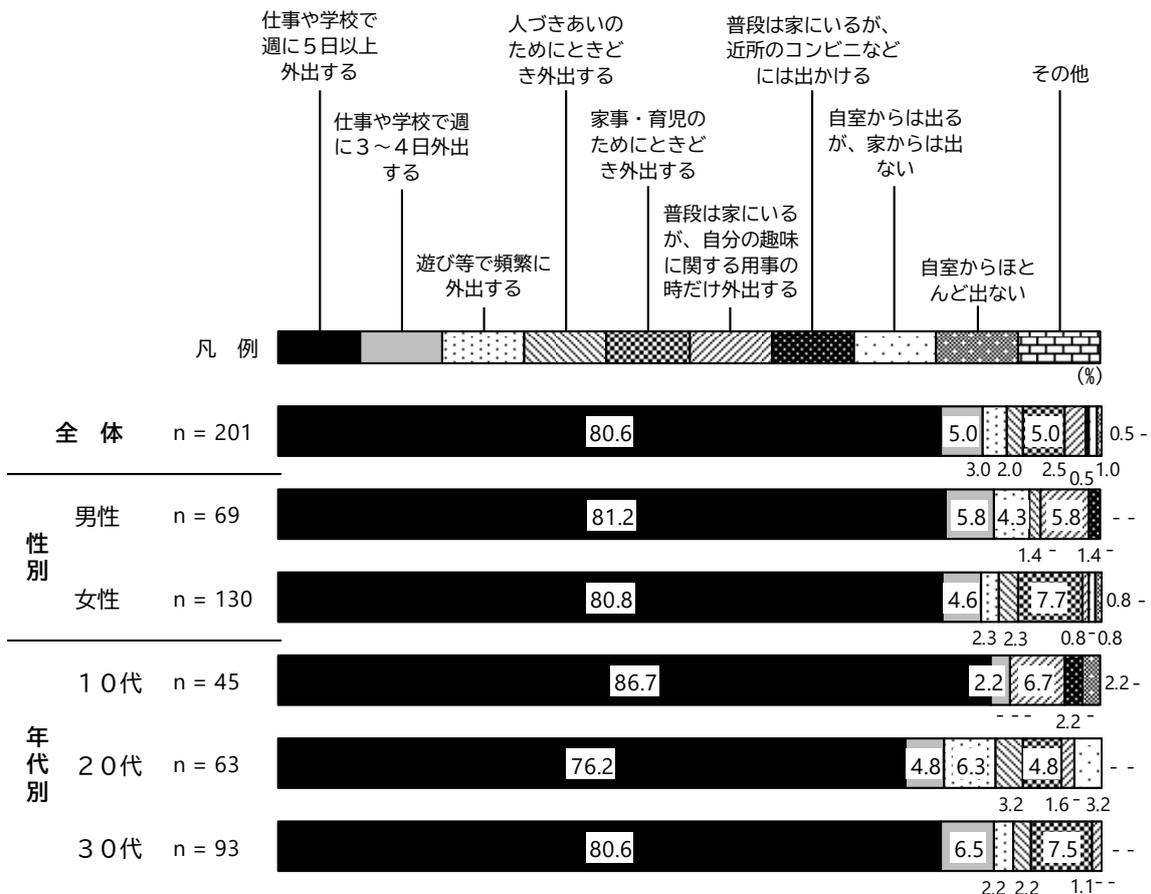
		n	学校等での プレ コン セプ ション ケアの 推 進	市の ホ ー ム ペ ー ジ や S N S の 周 知	性 教 育 ・ 健 康 セ ミ ナ ー の 内 容 の 充 実	リー フ レ ッ ト の 製 作 ・ 配 布	そ の 他
全 体		201	70.1	38.3	37.8	29.4	7.0
性 別	男性	69	72.5	39.1	39.1	21.7	7.2
	女性	130	70.0	38.5	36.9	33.8	6.2
年 代 別	10代	45	75.6	28.9	33.3	17.8	6.7
	20代	63	74.6	33.3	39.7	19.0	9.5
	30代	93	64.5	46.2	38.7	41.9	5.4

6 普段の生活について

6-1 普段の外出頻度

問 30 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

- ▶ 普段の外出頻度については、「仕事や学校で週に5日以上外出する」が80.6%と最も高く、次いで、「仕事や学校で週に3～4日外出する」、「家事・育児のためにときどき外出する」（いずれも5.0%）、「遊び等で頻繁に外出する」（3.0%）となっています。
「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と「自室からは出るが、家からは出ない」と「自室からほとんど出ない」をあわせた、特に外出頻度の低い方は4.5%となっています。
- ▶ 性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『男性』では『女性』と比べて「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」（5.8%）がやや高く、『女性』で7.7%となった「家事・育児のためにときどき外出する」は回答がありませんでした。
- ▶ 年代別にみると、大きな傾向の差はみられませんでした。

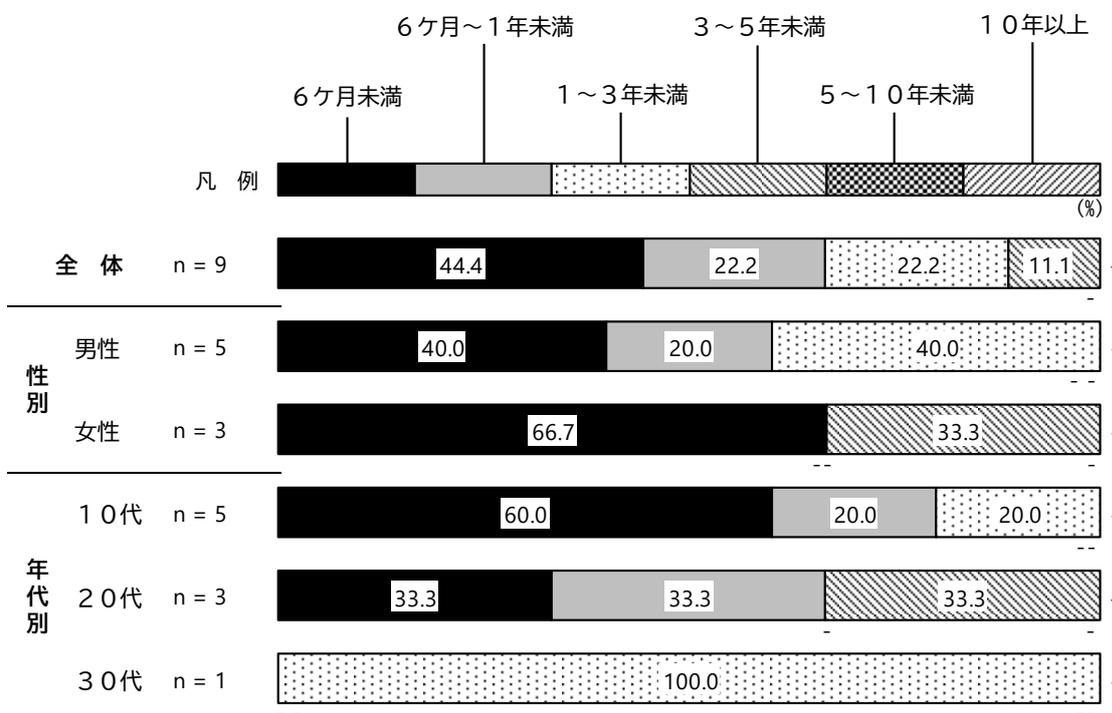


6-2 外出の頻度が現在のようになってからの期間

【問30で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した方にお聞きします。】

問31 あなたの外出の頻度が現在のようになって、どのくらい経ちますか。

- ▶ 外出の頻度が現在のようになってからの期間については、「6ヶ月未満」が44.4%と最も高く、次いで、「6ヶ月～1年未満」、「1～3年未満」（いずれも22.2%）、「3～5年未満」（11.1%）となっています。



※調査数が極めて少ないため、性別・年代別についてのコメントは非掲載としています。

6-3 外出頻度が現在のようになったきっかけ

【問 31 で、外出頻度が現在のようになってから6ヶ月以上と回答した方にお聞きします。】

問 32 あなたの外出の頻度が現在のようになったきっかけは何ですか。

(あてはまるものをすべて選択)

- ▶ 外出頻度が現在のようになったきっかけについては、「在宅で仕事を行うようになったこと」が40.0%と最も高く、次いで、「妊娠したこと」、「退職したこと」(いずれも20.0%)となっています。なお、「特に理由はない」が40.0%となっています。

(%)

		n	な在宅 った たこ こと 仕事 を行 うよ うに	妊 娠 し た こ と	退 職 し た こ と	特 に 理 由 は な い
全 体		5	40.0	20.0	20.0	40.0
性 別	男性	3	33.3	-	33.3	66.7
	女性	1	100.0	-	-	-
年 代 別	10代	2	-	-	-	100.0
	20代	2	50.0	50.0	-	-
	30代	1	100.0	-	100.0	-

※回答が皆無の項目は除いて掲載しています。

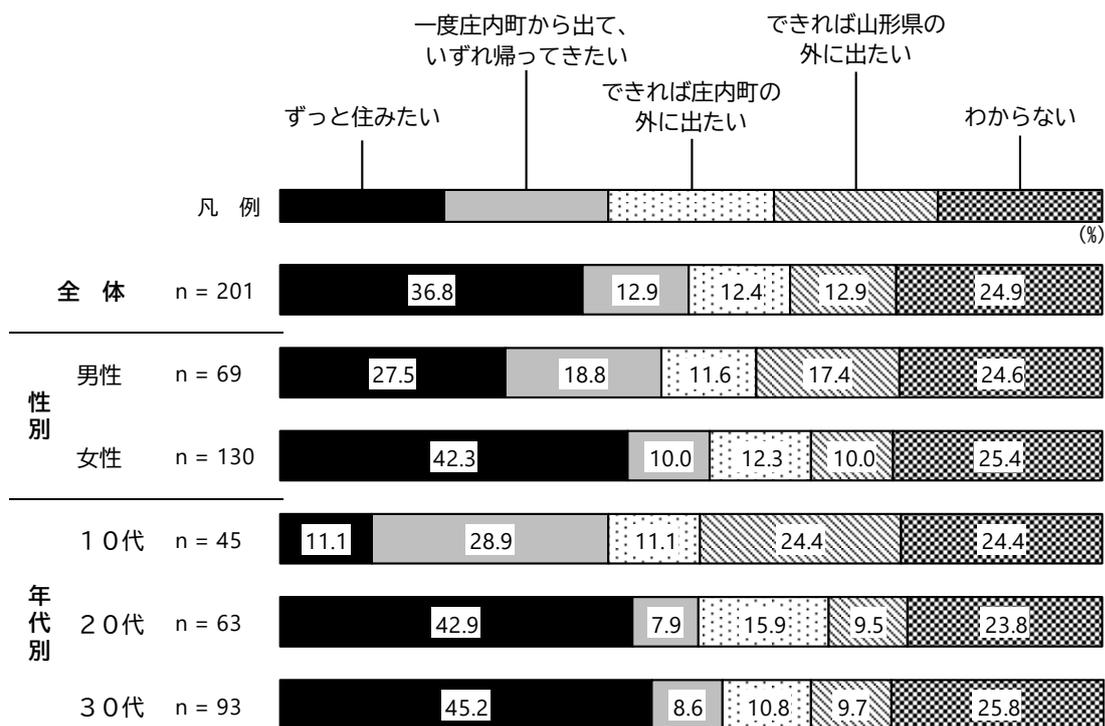
※調査数が極めて少ないため、性別・年代別についてのコメントは非掲載としています。

7 まちや社会について

7-1 庄内町に今後も住みたいと思うか

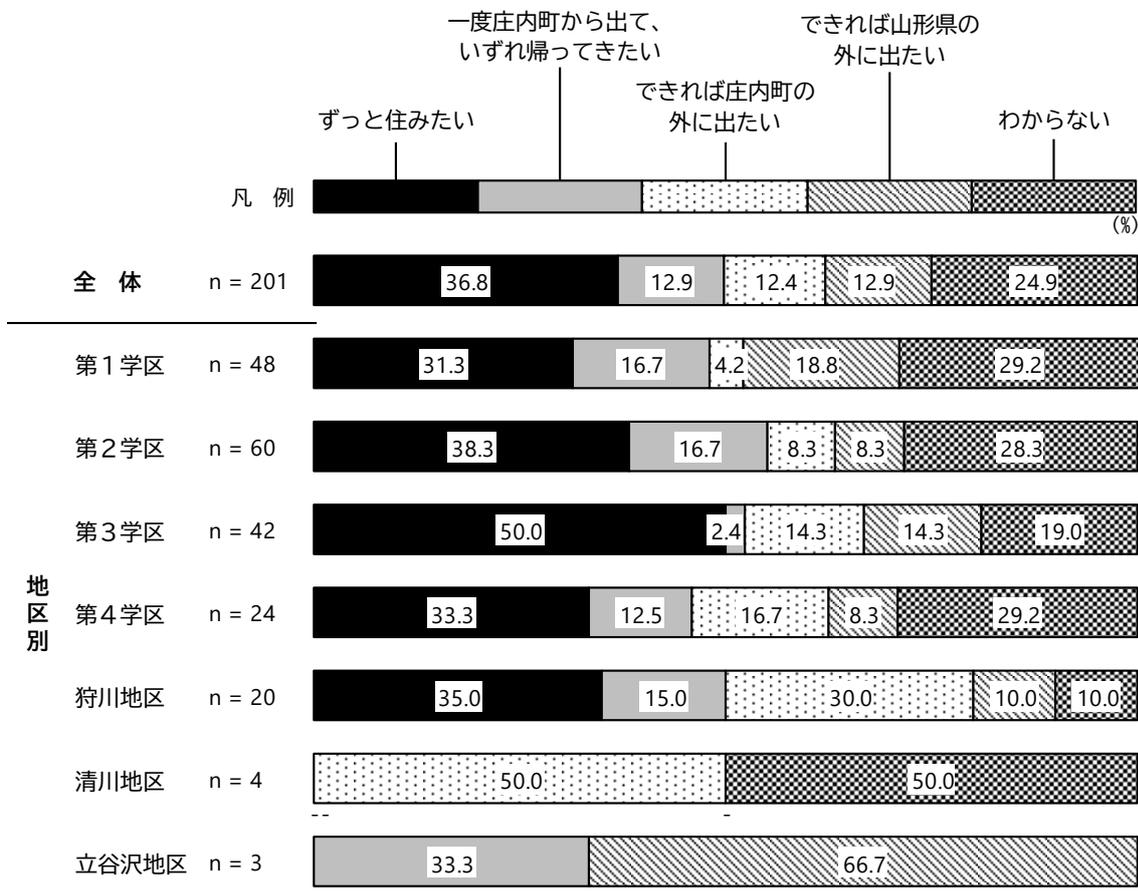
問 33 あなたは庄内町に今後も住みたいと思いますか。

- ▶ 庄内町に今後も住みたいと思うかについては、「ずっと住みたい」が 36.8%と最も高く、次いで、「一度庄内町から出て、いずれ帰ってきたい」、「できれば山形県の外に出たい」（いずれも 12.9%）、「できれば庄内町の外に出たい」（12.4%）となっています。なお、「わからない」が 24.9%となっています。
- ▶ 性別にみると、『女性』では『男性』と比べて「ずっと住みたい」（42.3%）が 14.8 ポイント高くなっています。
- ▶ 年代別にみると、『10代』では他の年代と比べて「ずっと住みたい」（11.1%）が約 32～34 ポイント低く、「一度庄内町から出て、いずれ帰ってきたい」（28.9%）、「できれば山形県の外に出たい」（24.4%）が約 15～21 ポイント高くなっています。



Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

▶ 地区別にみると、調査数に差があることに留意が必要ですが、『第3学区』では他の地区と比べて「ずっと住みたい」(50.0%)が10ポイント以上高くなっています。また、ほとんどの地区では「ずっと住みたい」が最も高くなっています。



7-2 庄内町に住み続けるために重要なこと

問 34 庄内町に今後も住み続けるために重要なことは次のうちどれですか。優先度が高いものの番号を上位3つまで選んでお答えください。

(1番目～3番目について、それぞれ1つずつ選択)

※2番目・3番目は空欄でも構いません。

■ 1番目に重要なこと

- ▶ 庄内町に住み続けるために重要なことについては、1番目に重要なこととしては、「子育て支援のサービス・施策が充実していること」が35.8%と最も高く、次いで、「就職先の選択肢が豊富であること」(20.9%)、「商業施設が充実していること」(13.4%)、「家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること」(8.5%)となっています。
- ▶ 1番目に重要なことを性別にみると、大きな傾向の差はみられませんが、『女性』では『男性』と比べて「子育て支援のサービス・施策が充実していること」(38.5%)がやや高く、『男性』では『女性』と比べて「自然環境が豊かであること」(8.7%)がやや高くなっています。
- ▶ 1番目に重要なことを年代別にみると、「子育て支援のサービス・施策が充実していること」との回答は年代が上がるにつれて高く、「就職先の選択肢が豊富であること」との回答は年代が上がるにつれて低くなっています。

		n	子育て支援のサービス・施策が充実していること	就職先の選択肢が豊富であること	商業施設が充実していること	家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	交通機関が便利であること	楽しく遊べる場所が充実していること	自然環境が豊かであること	医療体制が充実していること	教育・スポーツ・文化施設が充実していること	誰もが望んだ教育や学習を受けられること
全体		201	35.8	20.9	13.4	8.5	4.5	4.0	3.5	3.0	2.5	2.0
性別	男性	69	30.4	23.2	11.6	7.2	5.8	2.9	8.7	-	4.3	4.3
	女性	130	38.5	20.0	13.8	9.2	3.8	4.6	0.8	4.6	1.5	0.8
年代別	10代	45	17.8	28.9	13.3	8.9	4.4	8.9	8.9	4.4	2.2	2.2
	20代	63	38.1	23.8	11.1	7.9	7.9	3.2	3.2	1.6	1.6	1.6
	30代	93	43.0	15.1	15.1	8.6	2.2	2.2	1.1	3.2	3.2	2.2

※上位10項目を抜粋して掲載しています。

Ⅲ 若者の意識に関する調査 調査結果

- ▶ 1番目に重要なことを地区別にみると、調査数に差があることに留意が必要ですが、いずれの地区でも「子育て支援のサービス・施策が充実していること」または「就職先の選択肢が豊富であること」が最も高くなっています。

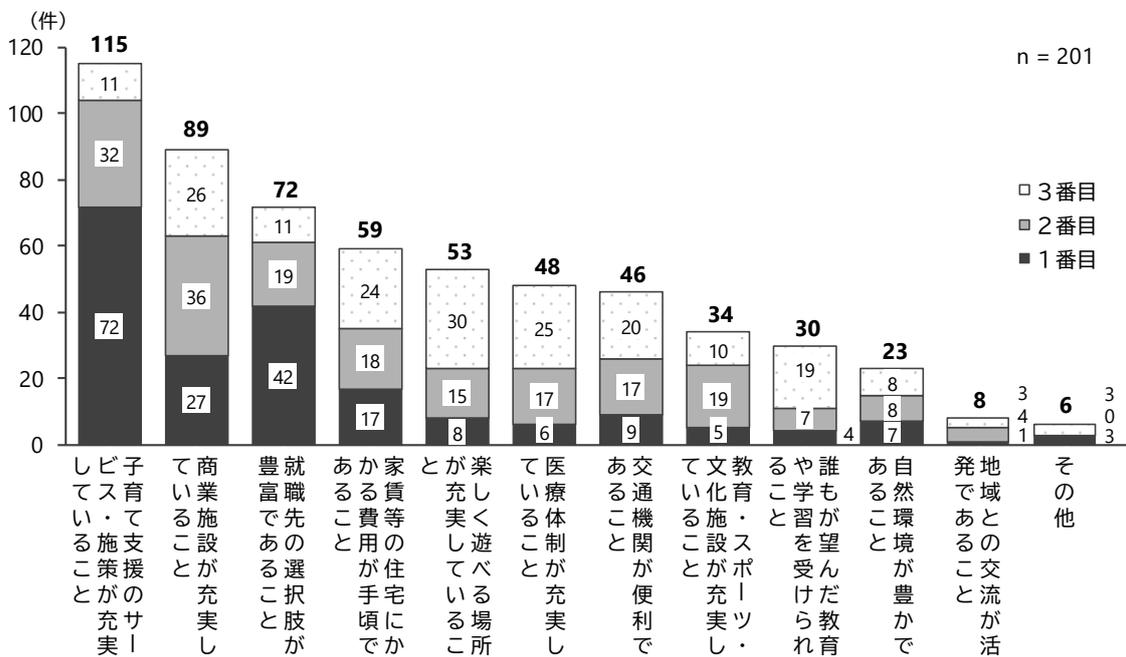
		n	子育て支援のサービス・施策が充実していること	就職先の選択肢が豊富であること	商業施設が充実していること	家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	交通機関が便利であること	楽しく遊べる場所が充実していること	自然環境が豊かであること	医療体制が充実していること	教育・スポーツ・文化施設が充実していること	誰もが望んだ教育や学習を受けられること
全体		201	35.8	20.9	13.4	8.5	4.5	4.0	3.5	3.0	2.5	2.0
地区別	第1学区	48	45.8	14.6	18.8	6.3	-	6.3	2.1	4.2	-	-
	第2学区	60	36.7	16.7	10.0	13.3	5.0	1.7	5.0	3.3	5.0	1.7
	第3学区	42	38.1	16.7	9.5	9.5	4.8	7.1	4.8	2.4	4.8	2.4
	第4学区	24	29.2	20.8	12.5	4.2	8.3	4.2	4.2	-	-	8.3
	狩川地区	20	25.0	35.0	25.0	5.0	5.0	-	-	5.0	-	-
	清川地区	4	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	立谷沢地区	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

※上位10項目を抜粋して掲載しています。

■ 1番目から3番目に重要なことの回答件数合計

- ▶ 1番目から3番目の回答件数を合計すると、「子育て支援のサービス・施策が充実していること」が115件と最も多く、次いで、「商業施設が充実していること」(89件)、「就職先の選択肢が豊富であること」(72件)となっています。
- ▶ 回答の優先度順に1番目を3点、2番目を2点、3番目を1点として合計点数を算出しても、「子育て支援のサービス・施策が充実していること」が291点と最も高く、次いで、「商業施設が充実していること」(179点)、「就職先の選択肢が豊富であること」(175点)となっています。

【件数】



【点数化集計】

住み続けるために重要なこと	(点)			合計点数	(%)
	1番目	2番目	3番目		
子育て支援のサービス・施策が充実していること	216	64	11	291	57.2
商業施設が充実していること	81	72	26	179	44.3
就職先の選択肢が豊富であること	126	38	11	175	35.8
家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	51	36	24	111	29.4
楽しく遊べる場所が充実していること	24	30	30	84	26.4
交通機関が便利であること	27	34	20	81	22.9
医療体制が充実していること	18	34	25	77	23.9
教育・スポーツ・文化施設が充実していること	15	38	10	63	16.9
自然環境が豊かであること	21	16	8	45	11.4
誰もが望んだ教育や学習を受けられること	12	14	19	45	14.9
地域との交流が活発であること	3	8	3	14	4.0
その他	9	0	3	12	3.0

7-3 日頃感じていることなど（自由意見）

問 35 このアンケートでおうかがいしたことに関して、日頃お感じになっていることなどがありましたら、ご自由にお答えください。

- ▶ 回答いただいた 50 件について、記述内容に応じて以下の項目に分類したところ、各項目の意見の合計件数は 68 件となりました。
- ▶ 『施設・設備について』が 15 件と最も多く、こどもの遊び場や商業施設を増やしてほしいという意見が多くなっています。次いで、『子育て・教育について』が 13 件（既存の支援を評価する意見、学費や保育費、学童にかかる費用の支援を求める意見など）、『町の住みやすさ・まちづくり全般について』が 12 件（自然環境や住みやすさを評価する意見、広報の充実を求める意見など）となっています。

項目	件数	
施設・設備について	15	
子育て・教育について	13	
町の住みやすさ・まちづくり全般について	12	
若者支援全般について	9	
家計について	5	
交通について	4	
仕事・就職について	2	
その他	6	
特にない	2	
意見数計	68	

※2 つ以上の項目にまたがる意見はそれぞれの項目に分類しています。

IV 資料編

1

使用した調査票（こどもの生活実態に関する調査／保護者）

庄内町 こどもの生活に関するアンケート

日頃より、町政にご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

庄内町では、こども基本法に基づき、令和8年度に「庄内町こども計画」を策定する予定です。この計画の策定にあたり、こどもの生活や、子育て世帯の生活状況等を把握するため、アンケート調査を実施いたします。

本調査は、小学5年生と中学2年生のお子さんのいらっしゃる保護者の方を対象に行います。調査の性質上、ご家庭の収入等、プライベートなことについてもおうかがいしておりますが、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理します。個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは、一切ありませんのでご安心ください。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年9月 庄内町

ご回答にあたってのお願い

- このアンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。
- このアンケートは、無記名（氏名や住所の記入をしない）でお答えください。

回答方法

1. 次の2つのうち、**どちらか1つの方法**でご回答をお願いします。

① インターネット（スマートフォン・パソコン等）で回答

- ▶ 右の二次元コードまたは下記 URL より回答画面にアクセスし、「回答用番号（数字5ケタ）」を入力してログインのうえ、画面の指示に従ってご回答ください。



URL https://src2.webcas.net/form/pub/src1/shonai_kodomo2

回答用番号

② アンケート調査票（この冊子）に直接記入し回答

- ▶ 黒か青のボールペンまたはえんぴつ（シャープペン）でご記入ください。「○印は1つ」「あてはまるものすべてに○印」等の表記に従って、該当する番号に○をつけてください。一部、数字等をご記入いただく質問もございます。
- ▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

2. あなたが回答される方法について、以下にご回答ください。

私は（ ①インターネットで ・ ②この冊子に直接 ）回答します。

3. ①・②いずれの回答方法でも、本調査票はもとの封筒に戻し、**9月24日（水）**までにお子さんを通じて学校にご提出ください。

どちらかに○をつけてください

この調査に関するお問い合わせ先

庄内町 子育て応援課 子育て支援係 TEL：0234-42-0171

※この調査は町が行うもので、学校は配布・回収のみのご協力です。

1. 初めに、あなたの世帯のことについてお聞かせください。

※このアンケートでは、回答される方のことを「あなた」と表記しています。

また、「お子さん」とは、特に注釈がない限り、アンケートをお配りした小学5年生または中学2年生の方を指しています。

問1 この調査はどなたが回答されていますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

(○印は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1 母親（継母を含む） | 2 父親（継父を含む） |
| 3 祖父母 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 その他（ ） | |

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。

ご家族の人数

人

※生計が同一であれば、同居していない方
(例: 学業等で世帯を離れているお子さんなど)も人数に含めてください。
※あなたとお子さんを含めた家族の人数を回答してください。

問3 問2で回答したご家族の人数には、お子さんから見てどの関係の人が含まれますか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1 母親（継母を含む） | 2 父親（継父を含む） |
| 3 祖父母 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 その他（ ） | |

問4 問2で回答したご家族の人数のうち、令和7年4月1日現在、17歳以下の人の人数をお答えください。

17歳以下の人数

人

※調査票をお配りしたお子さんを含めた人数を回答してください。

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。

(○印は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 結婚している（再婚や事実婚を含む） | 2 離婚 |
| 3 死別 | 4 未婚 |
| 5 わからない | 6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親はいない |

2. 保護者の就労状況等についてお聞かせください。

問6 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。

(ア、イそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	正社員・正規職員・ 会社役員	嘱託・契約社員・ 派遣職員	パート・アルバイト・ 日雇い・非常勤職員	自営業(家族従業者、 内職、自由業、 フリーランスを含む)	働いていない (専業主婦/主夫を 含む)	わからない	いない
※記入例	1	2	3	4	5	6	7
ア 母親	1	2	3	4	5	6	7
イ 父親	1	2	3	4	5	6	7

【問6で、母親・父親のいずれかが「5 働いていない」とお答えになった方にお聞きします。それ以外の方は問8にお進みください】

問7 働いていない最も主な理由をお答えください。

(ア、イそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	働きたいが、希望する 条件の仕事がないため	子育てを優先したため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障がいの ため	通学しているため	その他の理由
※記入例	1	2	3	4	5	6
ア 母親	1	2	3	4	5	6
イ 父親	1	2	3	4	5	6

3. お子さんとの関わり、教育についてお聞かせください。

問8 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(ア～オそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、 あてはまる	あてはまらない どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
※記入例	1	2	3	4
ア テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
イ お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
ウ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
エ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
オ お子さんとはよく話をしている	1	2	3	4

問9 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。
(ア～オそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	している	していない			
		よる 家庭の 方針に	よる 経済的 な事情 による	よる 仕事の 都合に	よる その 他の 理由 による
※記入例	1	2	3	4	5
ア 毎月又は必要な時におこづかいを渡す	1	2	3	4	5
イ 毎年新しい服や靴を買う	1	2	3	4	5
ウ 塾や習い事に通わせる	1	2	3	4	5
エ 一緒に買い物に行く	1	2	3	4	5
オ 家族旅行に行く（過去1年程度の間）	1	2	3	4	5

問 10 あなたは、お子さんにどの程度まで進学してほしいと考えていますか。あなた自身の考えにもっとも近いものをお答えください。(○印は1つ)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 中学校 | 2 高等学校 |
| 3 専門学校 | 4 短期大学・高等専門学校 |
| 5 大学 | 6 大学院 |
| 7 その他 () | |

問 11 問 10 で回答した学校まで進学してほしい主な理由は何ですか。(○印は1つ)

- | | |
|-------------------|--|
| 1 お子さんがそう希望しているから | |
| 2 一般的な進路だと思うから | |
| 3 お子さんの学力から考えて | |
| 4 家庭の経済的な状況から考えて | |
| 5 その他 () | |
| 6 特に理由はない | |

問 12 お子さんの進学について心配なことはありますか。(○印は1つ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1 お子さんの学力不足 | |
| 2 学費等の確保 | |
| 3 お子さんの希望との相違 | |
| 4 家庭の事情(家族の世話や家業の後継など) | |
| 5 その他 () | |
| 6 特に心配はない | |

問 13 お子さんが困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人はだれですか。
(あてはまるものすべてに○印)

1 母親	2 父親
3 祖父母	4 兄弟姉妹
5 親戚	6 友達
7 学校の先生	8 保健室の先生
9 スクールカウンセラーや スクールソーシャルワーカー	10 学童保育所の先生
11 学習塾や習い事、スポーツ少年団 などの先生	12 SNSの知り合い
13 こども用相談電話	14 その他 ()
15 相談できる相手がないと思う	16 相談せずに自分で解決すると思う

問 14 次に挙げる事柄について、あなたが頼っている人はだれですか。
(ア～ウそれぞれについてあてはまるものすべてに○印)

	家族・ 親族	友人・ 知人	近所 の人	職 場 の 人	公 的 な 相 談 窓 口	そ の 他	い な い	そ の こ と で は 人 に 頼 ら な い
※記入例	1	2	3	4	5	6	7	8
ア 子育てに関する相談	1	2	3	4	5	6	7	8
イ 重要な事柄の相談	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ いざという時のお金の援助	1	2	3	4	5	6	7	8

4. 暮らしや家計の状況についてお聞かせください。

問 15 現在の暮らしの状況を、どのように感じていますか。(○印は1つ)

- | | | |
|------------|----------|-------|
| 1 苦しい | 2 やや苦しい | 3 ふつう |
| 4 ややゆとりがある | 5 ゆとりがある | |

問 16 昨年(令和6年1月～12月)の世帯全体の年間収入(税金や社会保険料等を差し引いた、いわゆる手取り収入)はどのくらいですか。

なお、ここでいう収入には仕事で得た収入のほか、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的な手当・給付金、養育費等を含みます。(○印は1つ)

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1 収入はない | 2 50万円未満 | 3 50～100万円未満 |
| 4 100～150万円未満 | 5 150～200万円未満 | 6 200～250万円未満 |
| 7 250～300万円未満 | 8 300～350万円未満 | 9 350～400万円未満 |
| 10 400～450万円未満 | 11 450～500万円未満 | 12 500～550万円未満 |
| 13 550～600万円未満 | 14 600～650万円未満 | 15 650～700万円未満 |
| 16 700～750万円未満 | 17 750～800万円未満 | 18 800～850万円未満 |
| 19 850～900万円未満 | 20 900～950万円未満 | 21 950～1,000万円未満 |
| 22 1,000～1,100万円未満 | 23 1,100～1,200万円未満 | 24 1,200～1,300万円未満 |
| 25 1,300～1,400万円未満 | 26 1,400～1,500万円未満 | 27 1,500万円以上 |

問 17 家計の支出の中で、特に負担が大きいと感じるものは何ですか。3つまで選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 食費 |
| 2 衣類など身の回りの物の購入費 |
| 3 家賃や光熱水費等、住居にかかる費用 |
| 4 医療費 |
| 5 保育料、授業料、教材費及び給食費など、学校等にかかる費用 |
| 6 学校の部活動にかかる費用 |
| 7 学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用 |
| 8 趣味やレジャー等の遊興費 |
| 9 その他 () |
| 10 特に大きな負担は感じない |

問 18 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(○印は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった |
| 3 あまりなかった | 4 まったくなかった |

問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(○印は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった |
| 3 あまりなかった | 4 まったくなかった |

問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払い又は出来なかったことがありましたか。(ア～キそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった
※記入例	1	2	3	4
ア 電気料金又はガス料金・水道料金を滞納した	1	2	3	4
イ 電話料金やインターネット等の通信料金を滞納した	1	2	3	4
ウ 家賃や住宅ローンを滞納した	1	2	3	4
エ 保険料や授業料を滞納した	1	2	3	4
オ 給食費を滞納した	1	2	3	4
カ こどもの文房具等が買えなかった	1	2	3	4
キ こどもを塾や習い事に通わせられなかった	1	2	3	4

問 21 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない)から「10点」(十分に満足している)の数字でお答えください。(○印は1つ)

0点：まったく満足していない ←-----→ 10点：十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

5. 支援制度等の利用状況についてお聞かせください。

問 22 あなたの世帯では、以下の公的支援制度を利用したことがありますか。また、「2.利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

※各制度の概要については、次のページをご覧ください。

(ア～キそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	ア 就学援助	イ 生活保護	ウ 生活困窮者 自立支援制度	エ 児童扶養手当	オ 母子父子寡婦 福祉資金貸付	カ 生活福祉資金貸付	キ フードバンク
支援制度の利用状況							
※記入例	1	1	1	1	1	1	1
利用したことがある	1	1	1	1	1	1	1
利用したことがない	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない理由 ※特に該当するもの1つに○をつけてください							
※記入例	1	1	1	1	1	1	1
利用する必要がなかった	1	1	1	1	1	1	1
利用したかったが要件に該当しなかった	2	2	2	2	2	2	2
利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	3	3	3	3	3	3	3
利用するのがためらわれた	4	4	4	4	4	4	4
制度のことを知らなかった	5	5	5	5	5	5	5
その他の理由	6	6	6	6	6	6	6

■問 22 の公的支援制度について

- ※**就学援助**：経済的に困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを支給する制度。
- ※**生活保護**：病気や失業のため、生活費に困ったり、生活の維持が困難になった場合に援助する制度。
- ※**生活困窮者自立支援制度**：生活保護に至る前の生活困窮者に対し、自立相談支援の窓口設置、住宅確保給付金の支給や就労準備支援、家計相談支援、学習支援等を実施する制度。
- ※**児童扶養手当**：父母の離婚などにより父又は母のいない児童の父母、または父母に代わってその児童を養育している方などに対して山形県から支給される手当。
- ※**母子父子寡婦福祉資金貸付**：母子家庭や父子家庭のお子さんの進学のための就学資金をはじめ、お母さんやお父さんの自立のための技能習得資金や就職支度資金等を無利子または低利で貸し付ける制度。
- ※**生活福祉資金貸付**：低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上を図る制度。
- ※**フードバンク**：家庭で余っている食べ物を持ち寄り、地域の福祉団体や、フードバンク（まだ十分食べられるのに余っている食品を寄贈してもらい、食べ物を必要としている人のもとへ届ける活動および団体）等へ寄付すること。

問 23 あなたは、子育て支援や生活支援について、どのようなことが必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○印）

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1 児童手当の拡充 | 2 出産等の経済負担の軽減 |
| 3 医療費等の負担軽減 | 4 大学進学にかかる費用の負担軽減 |
| 5 進学のための奨学金等の充実 | 6 就学援助の充実 |
| 7 住宅支援の充実 | 8 妊娠期からの切れ目のない支援 |
| 9 幼児教育・保育の質の向上 | 10 仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実 |
| 11 病児・病後児保育の充実 | 12 就労要件を問わない通園制度の充実 |
| 13 相談窓口の充実 | 14 カウンセラーなどの専門的知識・経験を有する者による相談の機会の充実 |
| 15 同じ悩みを持つ保護者との交流の機会の充実 | 16 こどもの居場所の充実 |
| 17 こどもの就職支援の充実 | 18 教育訓練給付等の学び直しへの支援 |
| 19 保護者の就職支援の充実 | 20 職場の理解促進 |
| 21 男性育休の取得促進 | 22 その他() |
| 23 特にない | 24 わからない |

問 24 現在のこどもの人数をお答えください。

現在のこどもの人数 人

※生計を同一にしていないこどもを含めた人数を回答してください。

問 25 あなたにとっての、理想のこどもの人数をお答えください。

理想のこどもの人数 人

【現在のこどもの人数（問 24）が理想のこどもの人数（問 25）よりも少ない方にお聞きします。それ以外の方は問 27 にお進みください】

問 26 現在のこどもの人数と、理想のこどもの人数の差を解消するために、どのようなサポートが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

- 1 家庭内での男性の子育て参加
- 2 自分の時間がとれるような子育てへの手助け支援の充実
- 3 隣居、近居のための住宅への支援
- 4 職場の理解（フレックスタイム導入・こどもが病気の時に休暇を取得しやすい等）や子育てに柔軟な働き方の促進
- 5 子育てや教育に関する経済的負担の解決
- 6 気軽に遊べる場所の充実
- 7 健康上の理由や年齢の問題で持てない
- 8 その他（ ）

問 27 あなたのご家庭では、夫婦で以下のような家事はどのように役割分担されていますか。
※ご家庭の状況により、回答が難しい場合は空欄のままで差し支えありません。

(ア～クそれぞれについてあてはまるもの1つに○印)

	主に夫	どちらかといえは夫	夫婦同じ程度	どちらかといえは妻	主に妻
※記入例	1	2	3	4	5
ア 朝食づくり	1	2	3	4	5
イ 昼食づくり (弁当含む)	1	2	3	4	5
ウ 夕食づくり	1	2	3	4	5
エ 食事の片付け、食器洗い	1	2	3	4	5
オ 洗濯	1	2	3	4	5
カ お風呂の準備・掃除	1	2	3	4	5
キ ゴミ出し	1	2	3	4	5
ク 屋内の掃除	1	2	3	4	5

問 28 子育てに関する不安や悩みごとなど、ご意見がございましたら自由にご記入ください。

調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、記入もれがないかもう一度ご確認ください。

この調査票は、表紙に回答方法をご記入の上、もとの封筒に戻し、封をして、
令和7年9月24日(水)までに、お子さんを通じて学校に
ご提出ください。

2

WEB調査画面（こどもの生活実態に関する調査／こども）

庄内町 こどもの生活に関するアンケート (小学5年生・中学2年生の方向け)

注意

- (1) 学校で配られたオレンジ色の用紙に、「回答用番号」が書かれています。下にある四角い回答らんに入力してから、次の画面に進んでください。
- (2) 「その他」を選んだときは、四角い回答らんの中にあなたの考えを入力してください。
- (3) ★マークがついている質問は、回答しないと次の画面に進めません。必ず答えるようにしてください。
- (4) 答えを一度保存すれば、続きから答えることができます。画面の下のほうにある「あとで回答する」ボタンを押して、画面の言葉の通りに操作してください。
- (5) このアンケートには、約15分かかります。

9月30日（火）までに回答をお願いします

かいとうようばんごう
回答用番号 ★

アンケートを開始

あとで回答する

1. 初めに、あなたのことについてお聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。★

- 男
- 女
- その他・答えたくない

問2 あなたが、いっしょに住んでいる人はだれですか。(あてはまるものをすべて選んでください)★

- お母さん
- お父さん
- おじいさん・おばあさん
- 兄弟姉妹
- その他

問3 あなたの学区はどこですか。★

- 第1学区
- 第2学区
- 第3学区
- 第4学区
- 狩川地区
- 清川地区
- 立谷沢地区
- わからない

進捗率 1/6



戻る

次へ

あとで回答する

2. ふだんの生活や勉強についてお聞きします

問4 あなたは学校がある日（月～金曜日）、学校の授業^{じゅぎょう}以外で、1日にどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾^{じゅく}などでの勉強時間もふくみます。★

- まったくしない
- 30分より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 3時間以上

問5 あなたは、学校の授業^{じゅぎょう}がわからないことはありますか。★

- じゅうぶん理解（りかい）できている
- まあまあ理解できている
- あまり理解できていない
- ほとんど理解できていない

問6 1週間のうち、朝食を食べる日は何日くらいありますか。★

- 毎日食べる（週7日）
- 週5～6日
- 週3～4日
- 週1～2日
- まったく食べない

問7 1週間のうち、朝食を食べない日がある理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- 食べる時間がないから
- おなかがすいていないから
- ダイエットをしているから
- 朝食が用意されていないから
- 食べる習慣（しゅうかん）がないから
- その他
- わからない

問8 1週間のうち、こどもだけで食事（朝食・夕食など）をする回数は何回くらいありますか。 ★

- こどもだけで食べることはない
- 1～2回
- 3～4回
- 5～6回
- 7回以上

問9 1週間のうち、こどもだけで食事をする日がある理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- 大人が仕事などで家にいないから
- 大人がほかの家事や仕事でいそがしく、いっしょに食べる時間がないから
- 自分が塾（じゅく）や習い事、または部活動やスポーツ少年団などで帰りがおそくなるから
- 他の人といっしょに食事をしたくないから
- その他
- わからない

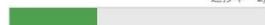
問10 あなたはふだん、ご家族（いっしょに住んでいる人）とどれくらい会話をしますか。★

- とてもよく話をしている
- よく話をしている
- あまり話をしない
- まったく話をしない
- わからない

問11 あなたは、自分には仲が良い友達がいると思いますか。★

- いる
- いない
- どちらともいえない

進捗率 2/6



戻る

次へ

あとで回答する

3. あなたがふだん考えていることについてお聞きます

問12 あなたは最近の生活に、どれくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない)から「10点」(十分に満足している)の間で、あてはまる数字を選んでください。★

- 0点 (まったく満足していない)
- 1点
- 2点
- 3点
- 4点
- 5点
- 6点
- 7点
- 8点
- 9点
- 10点 (十分に満足している)

問13 あなたは、今の自分を好きだと思いますか。★

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問14 あなたは、あなたに「自分らしさ」があると思いますか。★

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問15 しょうらい ゆめ 将来の夢や、目標はありますか。 ★

- ある
- どちらかといえばある
- どちらかといえばない
- ない

問16 しょうらい ゆめ 庄内町は、あなたの将来の夢や目標を、かなえられる場所だと思いますか。 ★

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問17 しょうらい ゆめ 将来の夢や目標が、ない理由を教えてください。 ★

- 今のままで満足だから
- 好きなことや得意（とくい）なことがわからないから
- 理想のくらしが思いうかばないから
- どんな職業（しよくぎょう）があるかわからないから
- 夢をかなえるのがむずかしいと思うから
- わからない

問18 あなたは、^{しょうらい}将来、どの学校まで進学したいですか。★

- 中学校
- 高校
- 専門学校（せんもんがっこう）
- 短期大学・高等専門学校（こうとうせんもんがっこう）
- 大学
- 大学院
- その他
- わからない

「その他」の内容について、くわしく教えてください。

問19 あなたが〈問18〉で答えた進学先を、選んだ理由を教えてください。（あてはまるものをすべて選んでください）★

- 希望する学校や職業（しょくぎょう）があるから
- 自分の成績（せいせき）に合っていると思うから
- 親がそう言っているから
- 兄・姉がそうしているから
- まわりの先輩（せんぱい）や友達がそうしているから
- 家にお金がないと思うから
- 早く働く必要があるから
- その他
- とくに理由はない

問20 あなたは、ふだん、なやんだり、不安を感じたりしていることはありますか。また、それはどのようなことですか。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- 友達のこと
- 勉強のこと
- 学校の先生のこと
- 学校のクラブ活動や部活動のこと
- 習い事やスポーツ少年団など、学校以外の活動のこと
- 進学・進路のこと
- 自分の健康のこと
- 自分の性格（せいかく）のこと
- 自分の見た目のこと
- 親どうしの仲が良くないこと
- 親が自分の気持ちをわかってくれないこと
- 筆記用具やドリルなど、勉強に必要なものが足りないこと
- 体の成長や季節に合った服や、くつが足りないこと
- 食事を十分に食べられないこと
- 家の中が散らかっていること
- 自分の部屋がないこと
- 家にお金がないこと
- 家族のお世話をしていること
- その他
- とくに、なやみや不安はない

問21 あなたに、こまっていることや、なやんでいることがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- お母さん
- お父さん
- おじいさん・おばあさん
- 兄弟姉妹
- 親戚（しんせき）
- 友達
- 学校の先生
- 保健室（ほけんしつ）の先生
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
- 学童保育所の支援員
- 学習塾（じゅく）や習い事、スポーツ少年団などの先生
- SNSの知り合い
- 子ども用相談電話
- その他
- 相談できる相手がいない
- 相談しないで、自分で何とかする

「その他」の内容について、くわしく教えてください。

進捗率 3/6



戻る

次へ

あとで回答する

4. 家や学校以外の「居場所」についてお聞きます

問22 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ほしいと思いますか。★

- ほしいと思う
 ほしいと思わない

問23 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ありますか。★

- ある
 ない

問24 あなたが「ここに居たい」と感じるような、あなたが居られる場所は、どのような場所ですか。（あてはまるものをすべて選んでください）★

- おじいさん・おばあさん・親戚（しんせき）の家
 友達の家
 学童保育所や習い事（スポーツ少年団などをふくむ）や塾（じゅく）などの場所
 学校の中の、教室以外の場所（保健室、図書室など）
 公園や、自然の中で遊べる場所
 図書館やまちづくりセンター、クラッセなど
 ご飯を無料か安く食べることができる場所（にここ食堂など）
 なやみごとの相談に乗ったり、手助けしたりしてくれる場所（電話やオンラインをふくむ）
 オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）
 その他

問25 あなたは、「ここに居たい」と感じる場所では、どのようなことができればよいと思いますか。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- いつでも行きたいときに行ける
- 一人ですごせたり、何もせずのんびりできる
- ありのままにいられる、自分を否定(ひてい)されない
- 好きなことをして自由にすごせる
- 自分の考えや希望を受け入れてもらえる
- 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる
- なやみごとの相談にのってもらえたり、いっしょに遊んでくれる大人がいる
- いろんな人と出会えたり、友達といっしょにすごせたりする
- その他

問26 家や学校以外に「ここに居たい」と感じるような場所が、ない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- 住んでいる地域(ちいき)に、そのような場所がないから・わからないから
- (行きたい場所はあるが) 行くのに時間がかかるから
- (行きたい場所はあるが、その場所の) やっている日や時間が合わないから
- (行きたい場所はあるが) お金がかかるから
- 家や学校(授業(じゅぎょう)や部活動・クラブ活動)以外に、場所がほしいと思わないから
- その他

問27 あなたは、自分が大人になって社会に出ても、生活していけると思えますか。 ★

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問28 あなたは、^{しょうらい}将来も^く庄内町で暮らしていきたいと思えますか。 ★

- ずっと住みたい
- 一度、庄内町の外へ出て、いつか帰ってきたい
- できれば庄内町の外に出たい
- できれば山形県の外に出たい
- わからない

進捗率 4/6



戻る

次へ

あとで回答する

5. 家族のお世話についてお聞きします

問29 あなたのご家族に、次のような人はいますか。(あてはまるものをすべて選んでください)



- 65歳以上の人
- 赤ちゃんや、小学校に入学する前の人
- 身体が不自由又は認知症（物忘れなど）や寝たきりなどで手助けが必要な人
- その他
- いない
- わからない

「その他」についてくわしく教えてください。

問30 あなたが〈問29〉で選んだご家族のうち、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人がするような、家事や家族の世話などをすることで、お手伝いとは違います。



- お母さん
- お父さん
- おじいさん・おばあさん
- 兄弟姉妹
- その他
- お世話はしていない

問31 あなたは、どのようなお世話をしていますか。(あてはまるものをすべて選んでください)



- 食事の準備（じゅんび）や掃除（そうじ）、洗濯（せんたく）など
- 兄弟姉妹の世話や保育所などへの送りむかえなど
- 入浴やトイレ、着がえ、食事のお世話など
- 外出の付きそい（買い物、散歩など）
- 通院の付きそい
- なやみや不満を聞く、話し相手になるなど
- 見守り
- 通訳（つうやく）（日本語や手話など）
- お金の管理
- 薬の管理

その他

問32 あなたは、ご家族のお世話をどれくらいしていますか。 ★

- ほぼ毎日
- 週に3～5日
- 週に1～2日
- 1か月に数日
- その他

問33 あなたが、ご家族のお世話をしていることによって、「やりたいけど、できないこと」や「やりたくないけど、していること」はありますか。(あてはまるものをすべて選んでください)



- 自分の時間が取れない
- 進路を変えるかどうか考えなければならない、もしくは進路を変えた
- 部活や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった
- 友達と遊ぶことができない
- ねる時間が十分に取れない
- 宿題や勉強をする時間が取れない
- 学校におくれたり、早く帰ったりしなければならない
- 学校に行きたくても行けないことがある

その他

とくにない

問34 あなたが、ご家族のお世話をしていることについて、学校の先生やまわりの大人にしてほしいと思うことはありますか。(あてはまるものをすべて選んでください) ★

- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障(しょう)がい、お世話のしかたなどについて、わかりやすく説明してほしい
- 自分がしているお世話の、全部をだれかに代わってほしい
- 自分がしているお世話の、一部をだれかに代わってほしい
- 自由に使える時間がほしい
- 自由にすごせる場所がほしい
- 勉強を教えてほしい
- 進路や仕事など将来(しょうらい)の相談にのってほしい
- お金の面で助けてほしい
- その他
- とくにない
- わからない

「その他」についてくわしく教えてください。

もしよければ、あなたの学校・学年・クラス・出席番号・氏名を教えてください。

学校

学年・クラス

出席番号

氏名

進捗率 5/6



戻る

次へ

あとで回答する

6. 最後に、不安や悩み、町に伝えたいことなどについてお聞きます

問35 不安や悩みごと、庄内町に伝えたいことなどがあれば、自由に回答してください。

進捗率 6/6



戻る

入力したことを見直す

あとで回答する

3

WEB調査画面（若者の意識に関する調査）

庄内町 こども計画策定に係るアンケート調査 (15～39歳の方向け)

- ▶ 郵送した挨拶状に記載の回答用番号（数字4ケタ）を入力いただき、「アンケートを開始」ボタンを押して、その後は画面の指示に従ってご回答ください。
- ▶ 回答は一時保存することで、途中から再開することが可能です。画面下部にある一時保存ボタンを押して、その後の指示に従ってください。
- ▶ 回答途中で画面を閉じるなどすると回答は送信されません。必ず最後の「回答を送信しました。調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。」まで進んでください。
- ▶ 調査の所要時間は約10分です。
- ▶ 本アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で20名様に謝礼（QUOカード1,000円分）を郵送いたします。ご希望の方は、アンケート最後の「謝礼発送のため、以下の項目をご入力ください」の欄にご入力ください。なお、当選者の発表は、謝礼品の発送をもって代えさせていただきます。

9月24日（水）までに回答をお願いします

回答用番号 ※ 必須

アンケートを開始

一時保存

1. 初めに、あなたご自身についておうかがいします

問1 あなたの性別をお答えください。 ※ 必須

- 男
- 女
- その他・答えたくない

問2 あなたの年齢についてお答えください。(数字を入力) ※ 必須

半角数字 歳

問3 どちらの地区にお住まいですか。 ※ 必須

- 第1学区
- 第2学区
- 第3学区
- 第4学区
- 狩川地区
- 清川地区
- 立谷沢地区

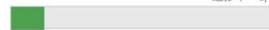
問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまるものをすべて選択) ※ 必須

- あなた(または配偶者)の父
- あなた(または配偶者)の母
- あなた(または配偶者)のきょうだい
- あなた(または配偶者)の祖父母
- あなたの配偶者
- あなたの子
- その他の親族
- その他
- 単身世帯

問5 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。 ※ 必須

- 中学校
- 高等学校
- 専修高校・専門学校
- 高等専門学校・短期大学
- 大学・大学院
- その他

進捗率 1/8



戻る

次へ

一時保存

2. 就労状況についておうかがいします

問6 あなたの主な現在の仕事または在学の状況をお答えください。 ※必須

- 学生・生徒（予備校生などを含む）
- パート・アルバイト
- 派遣社員
- 契約社員・嘱託
- 正規の社員・職員・従業員
- 会社などの役員
- 自営業・自由業
- 家族従業者・内職
- 専業主婦・主夫
- 家事手伝い
- 無職（仕事を探している）
- 無職（仕事を探していない）
- その他

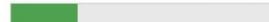
問7 現在、働いていない理由は何ですか。（あてはまるものをすべて選択） ※必須

- 人間関係・社会との関わりに不安があるから
- 自分に合う仕事が見つからないから
- 基礎的なスキルがなく自信がないから
- 就職活動に失敗して以降、就職に踏み出せないから
- 心の不調を抱えているから
- 身体に不調を抱えているから
- 自分が希望する仕事がないから
- 将来の目的に向けて勉強・訓練しているから
- 働かなくても生活できるから
- 応募しても採用されないから
- その他

問8 就労に関して利用してみたい支援をお答えください。(あてはまるものをすべて選択) **※必須**

- 不規則な生活を整えるための支援
- 気軽に立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供
- 就職に関する悩みや不安の相談
- 個人の状態やペースに寄り添った伴走型の相談支援
- メンタルヘルスに関わる講座
- キャリアカウンセリングや進路決定の情報提供
- コミュニケーションやビジネスマナーの講座
- 仕事を体験する機会の提供
- 面接などの練習
- 求人情報の紹介
- その他
- 特にない

進捗率 2/8



戻る

次へ

一時保存

3. あなたの日頃の意識と生活についておうかがいします

問9 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0点」(まったく満足していない)から「10点」(十分に満足している)の数字でお答えください。 ※必須

- 0点 (まったく満足していない)
- 1点
- 2点
- 3点
- 4点
- 5点
- 6点
- 7点
- 8点
- 9点
- 10点 (十分に満足している)

問10① あなたは、自分には自分らしさというものがあると思いますか。 ※必須

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない

問10② あなたは、今の自分が好きですか。 ※必須

- 好きだ
- どちらかといえば、好きだ
- どちらかといえば、好きではない
- 好きではない

問11 あなたは今、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(あてはまるものをすべて選択) ※必須

- 仕事
- 就職
- 家計・金銭
- 学業
- 家庭・家族
- 友人や仲間との関係
- 恋愛・結婚
- 自分の外見や性格
- 自分の将来
- 性・ジェンダー
- 健康
- 地域や社会
- その他
- 悩みや困りごとはない

「その他」の内容（悩みや・困りごと）を教えてください。

問12 あなたは、悩みや心配事を誰に相談しますか。(あてはまるものをすべて選択) ※必須

- 家族
- 友人・恋人
- 職場の上司、先輩、同僚
- 自分が通っている学校の先生
- 医師やカウンセラー等の専門家
- インターネットの相談サイト・SNSの仲間
- 地域または近所の人
- その他
- 相談したいが、相談相手がない
- 誰にも相談しようと思わない

「その他」の内容（悩みや心配事の相談先）を教えてください。

問13 次の場所は、今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる場所になっていますか。（それぞれ1つずつ選択） **※必須**

	なっている	ど ぶ ら か と い え ば、 な っ て い る	ど ぶ ら か と い え ば、 な っ て い な い	な っ て い な い	あ て は ま る も の は な い、 わ か ら な い
自分の部屋	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家庭（実家や親族の家を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校（卒業した学校を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場（過去の職場を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域（図書館や公民館、公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物、又は人とのつながりなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問14 あなたは、次のように感じる事が、どのくらいありますか。(それぞれ1つずつ選択)

※必須

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
自分には人とのつきあいがないと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分は取り残されていると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分はほかの人たちから孤立していると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
孤独であると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問15 家族・親族は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。 ※必須

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- いずれもあてはまらない

問16 学校で出会った友人は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。 ※必須

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- いずれもあてはまらない

問17 職場・アルバイト関係の人は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。 **※必須**

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- いずれもあてはまらない

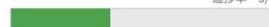
問18 地域の人は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。 **※必須**

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- いずれもあてはまらない

問19 インターネット上における人やグループはあなたが困ったときに助けてくれると思いますか。 **※必須**

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- いずれもあてはまらない

進捗率 3/8



戻る

次へ

一時保存

4. 結婚についておうかがいします

問20 あなたの結婚状況をお答えください。 ※必須

- 配偶者あり
- 未婚
- 配偶者と死別
- 配偶者と離別（離婚）
- 婚姻していないが同居のパートナーがいる

問21 あなたは、将来結婚したいと思いますか。 ※必須

- いずれ結婚したい
- どちらかといえば結婚したい
- どちらかといえば結婚したくない
- 一生結婚したくない
- わからない
- その他

問22 結婚したくない理由は何ですか。（あてはまるものをすべて選択） ※必須

- 仕事に打ち込みたいから
- 経済的に余裕のある暮らしがしたいから
- 自分の趣味や娯楽を楽しみたいから
- 1人でも不便を感じないから
- 異性とうまくつきあえないから
- 家族を持つと責任が重くなるから
- 結婚までのみちのりが面倒くさいから
- 周囲の人やマスコミから、結婚や出産、子育ては大変だと聞くことが多いから
- 配偶者（事実婚のパートナーを含む）の親や親戚とのつきあいが大変だから
- その他
- わからない

問23 あなたにとって、結婚につながると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。(あてはまるものをすべて選択) ※必須

- 職場・バイト先
- 家族・知人の紹介
- 学校・大学
- 趣味を共有する場
- 合コン、飲み会
- 婚活イベント
- インターネット、SNS
- マッチングアプリ

その他

わからない

問24 あなたは結婚に対してどんなイメージや考えを持っていますか。あなたの考えにもっとも近いと思うものをお答えください。(それぞれ1つずつ選択) ※必須

	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない
パートナーとの絆を深めるために必要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経済面・心理面で安定した生活が送れる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
結婚という形にこだわらなくても良い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子育て等の負担が増える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会的責任が重くなる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
親族との付き合いが大変だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

進捗率 4/8



戻る

次へ

一時保存

5. 子育てや家族のケア等についておうかがいします

問25 あなたにとって理想的な、こどもの人数は何人ですか。(数字を入力) ※必須

半角数字 人

問26 あなたが実際に持つと思う、こどもの人数は何人ですか。(数字を入力) ※必須

半角数字 人

《問25・問26で「0」と入力した方や、実際持つと思うこどもの人数（問26）が理想の人数（問25）に比べて少ない方におうかがいします》

問27 こどもが欲しくない理由、または理想よりも少なくなりそうな理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

- 配偶者・パートナーがいないから
- 育児と仕事の両立が大変だから
- 自分自身の時間的なゆとりがほしいから
- 本人または配偶者・パートナーの、健康上・身体上の都合で妊娠・出産が困難だから
- 子育ての精神的・肉体的負担が大きいため
- 住まいが狭いから
- 出産・育児にお金がかかるから
- 配偶者・パートナーがこどもを欲しがらないから
- その他

問28 「プレコンセプションケア」（通称「プレコン」）という言葉を知っていますか。 ※必須

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

問29 プレコンセプションケアの認知度を上げるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

※プレコンセプションケアとは、「プレ (Pre)」は「～前の」、「コンセプション (Conception)」は「妊娠・受胎」という意味で、「妊娠前からのケア」を指し、若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うことです。 ※必須

学校等でのプレコンセプションケアの推進

性教育・健康セミナーの内容の充実

市のホームページやSNSでの周知

リーフレットの製作・配布

その他

進捗率 5/8



戻る

次へ

一時保存

6. ふだんの生活についておうかがいします

問30 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。 ※必須

- 仕事や学校で週に5日以上外出する
- 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 遊び等で頻繁に外出する
- 人づきあいのためにときどき外出する
- 家事・育児のためにときどき外出する
- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する
- 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない
- その他

「その他」の内容（外出についての現状）を教えてください。

問31 あなたの外出の頻度が現在のようになって、どのくらい経ちますか。 ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1年未満
- 1～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10年以上

問32 あなたの外出の頻度が現在のようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものをすべて選択) ※必須

- 学校になじめなかったこと
- 小学校時代の不登校
- 中学校時代の不登校
- 高校時代の不登校
- 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校
- 受験に失敗したこと
- 就職活動がうまくいかなかったこと
- 職場になじめなかったこと
- 人間関係がうまくいかなかったこと
- 病気
- 妊娠したこと
- 退職したこと
- 介護・看護を担うことになったこと
- 新型コロナウイルス感染症が流行したこと
- 在宅で仕事を行うようになったこと
- その他
- 特に理由はない
- わからない

「その他」の内容（外出頻度が現在のようになったきっかけ）を教えてください。

進捗率 6/8



戻る

次へ

一時保存

7. まちや社会についておうかがいします

問33 あなたは庄内町に今後も住みたいと思いますか。 ※必須

- ずっと住みたい
- 一度、庄内町から出て、いずれ帰ってきたい
- できれば庄内町の外に出たい
- できれば山形県の外に出たい
- わからない

問34 庄内町に今後も住み続けるために重要なことは次のうちどれですか。優先度が高いもの番号を上位3つまで選んでお答えください。(1番目～3番目について、それぞれ1つずつ選択)
※2番目・3番目は空欄でも構いません。

1. 就職先の選択肢が豊富であること
2. 子育て支援のサービス・施策が充実していること
3. 自然環境が豊かであること
4. 商業施設が充実していること
5. 教育・スポーツ・文化施設が充実していること
6. 楽しく遊べる場所が充実していること
7. 交通機関が便利であること
8. 家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること
9. 地域との交流が活発であること
10. 医療体制が充実していること
11. 誰もが望んだ教育や学習を受けられること
12. その他

1番目 ※必須

2番目

3番目

問35 このアンケートでおうかがいしたことに関して、日頃お感じになっていることなどがありましたら、ご自由にお答えください。

進捗率 7/8



戻る

次へ

一時保存

あと少しで回答完了です

ここまでアンケートにご協力いただきありがとうございます。
アンケートの内容は以上です。次のページで回答を確認後、画面右下の『送信』ボタンを押すと、回答完了となります。

謝礼について

本アンケートでは、ご協力いただいたお礼として、回答していただいた方の中から抽選で20名様にQUOカード1,000円分をお送りいたします。

謝礼の抽選に応募されますか。
※「はい」を選択した方には、住所等の情報をご入力いただきます。

- はい
 いいえ

以下の「謝礼品に関する重要なお知らせ」および「このページでご入力いただいた個人情報の取り扱いについて」をよくお読みいただき、同意いただける方は、必要事項をご入力ください。

謝礼品に関する重要なお知らせ

- ・当選者は、本アンケートに1回のみご回答いただいた方から選出いたします。回答を複数回送信することがないように、ご注意ください。
- ・各項目のご回答は任意ですが、未入力や誤りがある場合は、謝礼品をお送りすることができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・当選者の発表は、謝礼品の発送をもって代えさせていただきます。

このページでご入力いただいた個人情報の取り扱いについて

■使用目的

ご入力いただいた郵便番号・住所・氏名は、謝礼品の発送のみに使用し、その他の目的で使用することはありません。

■第三者への提供

本調査では回答者様ご本人の同意なく、第三者に開示・提供することは致しません。ただし、ご本人の同意がある場合や、法令等により開示を求められた場合には、その個人情報を開示・提供することがあります。

謝礼発送のため、以下の項目をご入力ください

郵便番号

住所検索

住所

氏名

姓

名

進捗率 8/8



戻る

確認

一時保存

庄内町こども計画策定に係るアンケート調査

－調査結果報告書－

発行年月：令和8年3月

発行：庄内町役場 子育て応援課

〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字町 132-1

電話 0234-42-0171

調査委託：株式会社サーベイリサーチセンター